萩市
子ども・子育て支援に関する
利用ニーズ調査報告書

令和６年９月

萩市

目　次

Ⅰ 調査概要 1

1.調査の目的 2

2.調査実施方法 2

3.結果にあたっての注意点 3

Ⅱ 就学前児童調査結果 4

1.対象者および保護者の特性 5

2.気軽に相談できる人 7

3.祖父母などに預かってもらっている状況 9

4.保護者の就労状況について 12

5.定期的な教育・保護事業の利用状況 18

6.病児・病後児保育について 29

7.平日の定期的な教育・保育事業の利用希望 31

8.休日の定期的な教育・保育事業の利用希望 35

9.一時預かりについて 39

１０.小学校就学後の放課後の過ごし方について 42

１１.育児休業制度等の利用状況 46

１２.「子育てセンター」等の利用状況 52

１３.子育て支援サービスの認知状況・利用状況 54

１４. 子育て支援策に対する満足度・重要度 55

１５.土日や休日の過ごし方 56

１６.幼児教育・保育の無償化について 60

１７.**子ども・子育て**施策について 61

Ⅲ 小学生児童調査結果 63

１.対象者および保護者の特性 64

２.気軽に相談できる人 67

３.祖父母などに預かってもらっている状況 69

４.保護者の就労状況について 72

５.病児・病後児保育について 78

６.一時預かりについて 80

７.放課後児童クラブについて 83

８.子育て支援サービスの認知状況、利用状況 103

９.子育て支援策に対する満足度・重要度 104

１０.土日や休日の過ごし方 105

１１.**子ども・子育て**施策について 108

Ⅰ 調査概要

1.調査の目的

本調査は、令和７年度を初年度とする「萩市こども計画」の策定にあたって、市民の子育てに関する生活実態やご意見・ご要望などを把握することを目的として実施しました。

2.調査実施方法

調査は以下の方法にて実施しました。

区分	就学前児童調査	小学生児童調査
1.調査対象	就学前児童の保護者を対象とし、住民基本台帳より無作為抽出しました。 なお、就学前児童が2人以上いる場合は、年齢の低い児童を抽出しました。	小学生の保護者を対象とし、住民基本台帳より無作為抽出しました。 なお、小学生が2人以上いる場合は、年齢の低い児童を抽出しました。
2.調査方法	①就園児の保護者については、各就園施設での配布・回収 ②未就園児の保護者については、郵送による配布・回収 なお、いずれもWEB（インターネット）回答併用	各学校での配布・回収 WEB（インターネット）回答併用
3.調査期間	令和6年3月	令和6年3月
4.回収状況	配布数　500 回収数　395 回収率　79.0%	配布数　500 回収数　416 回収率　83.2%

３.結果にあたっての注意点

１）結果（グラフおよび数表）は、パーセントで示しています。表示している「n」は、「number」の略であり、パーセントを計算するときの母数（回答者数）を示しています。

２）算出されたパーセントは、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合があります。 また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は100.0%を超えます。

３）回答された回答者や該当者がいない場合（0.0%）、数表では「－」と表記し、グラフでは数字表記を割愛しています。

４）回答者数が少ない調査結果については、掲載を割愛している場合があります。

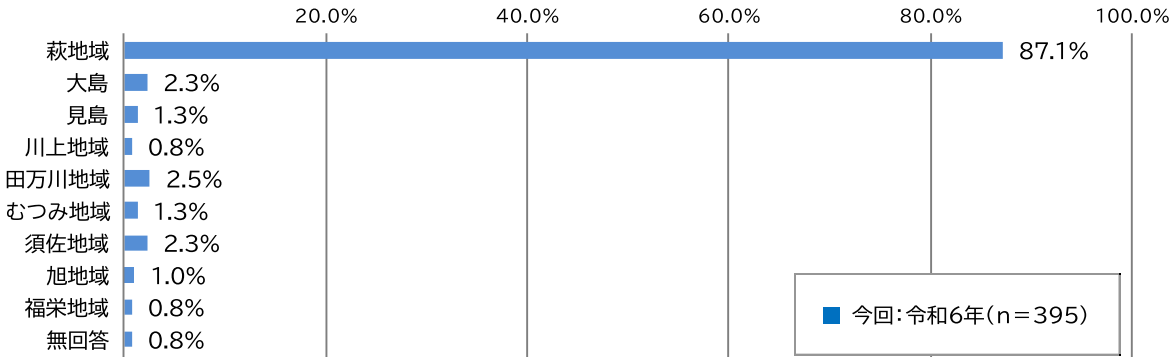
５）一部の質問で、前回調査との比較分析を行っていますが、特に大きな差異が見られない場合はコメントを控えています。また、前回と同じ質問であっても、選択肢が大きく異なる場合や、無回答者の割合が大きく異なる場合は、前回調査との比較は行っておりません。

６）質問及び回答結果などを記載していますが、これらの質問内容や選択肢には、紙面の都合上、調査票の原文を要約している箇所があります。なお、原文については、別添の各種調査票を参照してください。

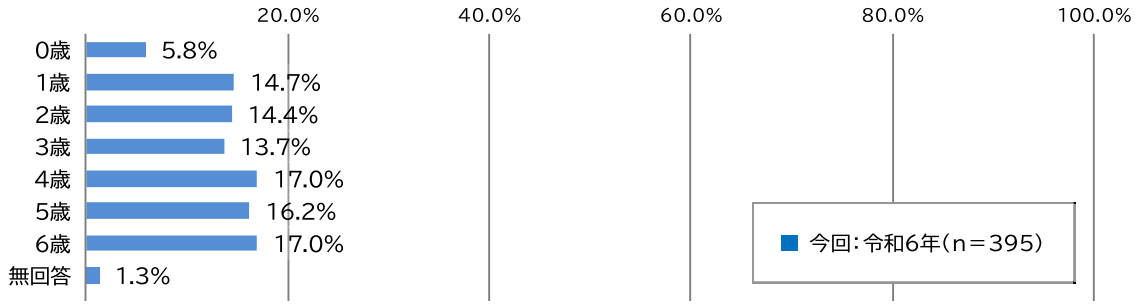
Ⅱ 就学前児童調査結果

1.対象者および保護者の特性

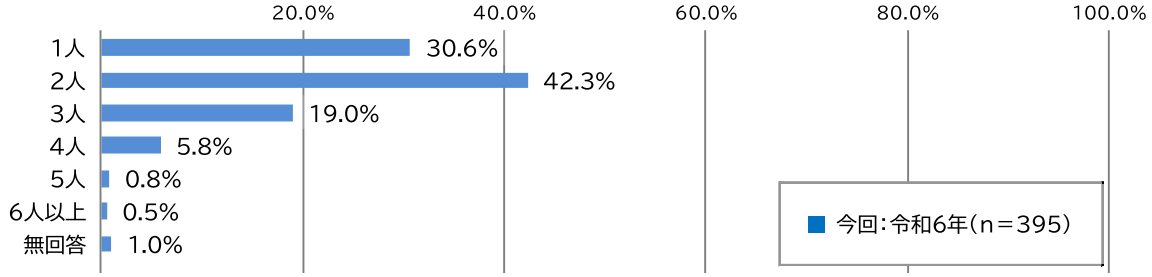
問1. お住まいの小学校区を教えてください。(1つに〇)



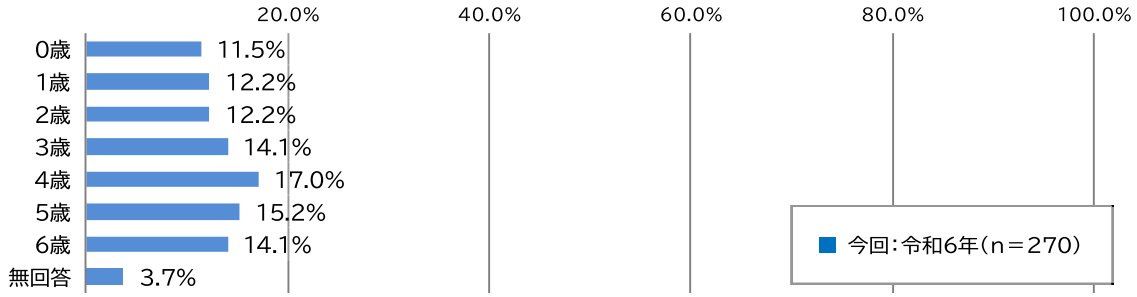
問2. あて名のお子さんの年齢をお答えください。(1つに〇) ※生年月より算出(令和6年3月時点)



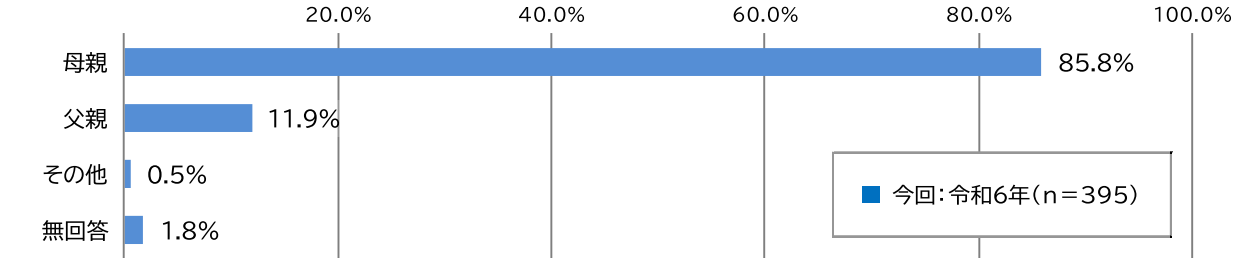
問3. あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。



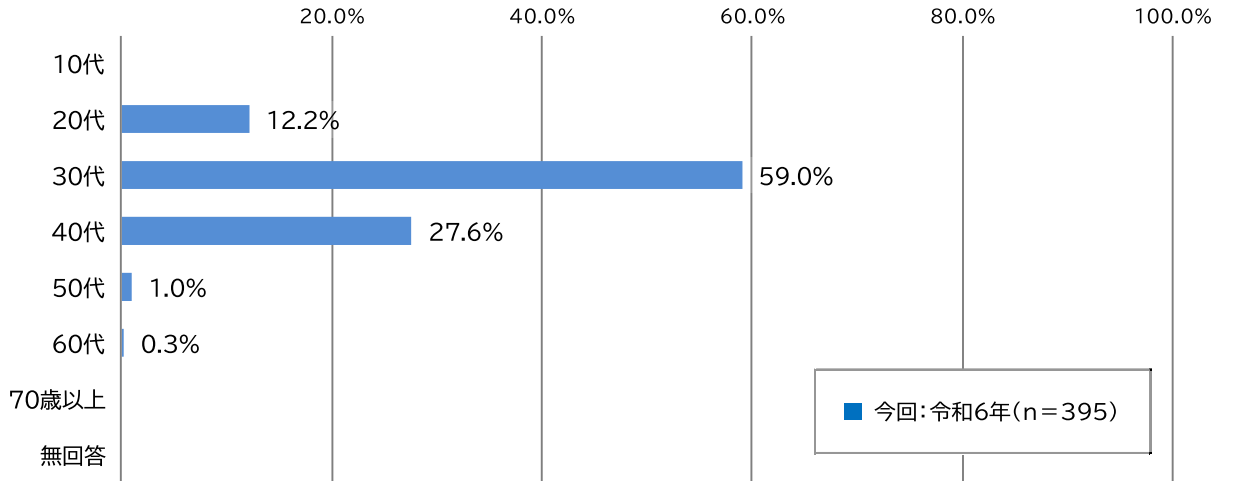
問3-1. お子さんが2人以上おられる場合、末子の年齢をお答えください。



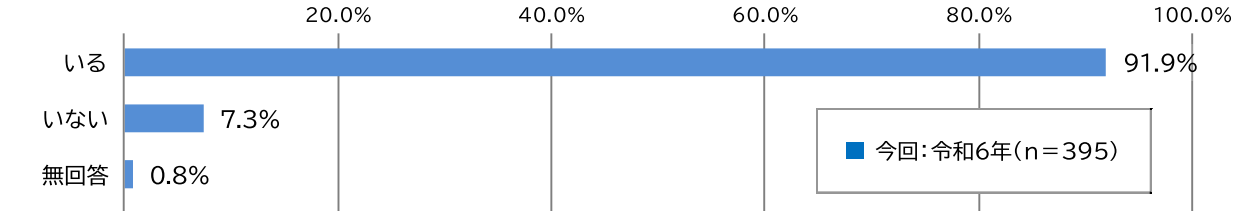
問4. あて名のお子さんからみて、あなたの続柄は何ですか。(1つに○)



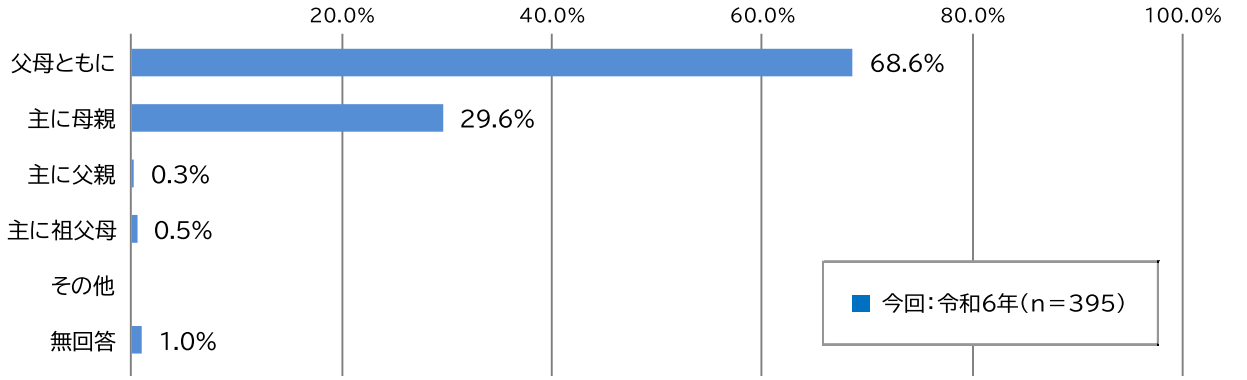
問5. あなたの年齢をお答えください。(1つに○)



問6. あなたに配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



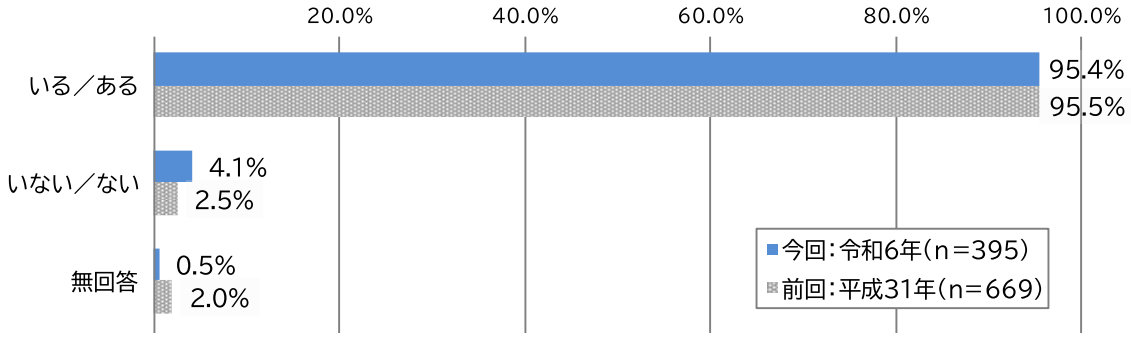
問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)



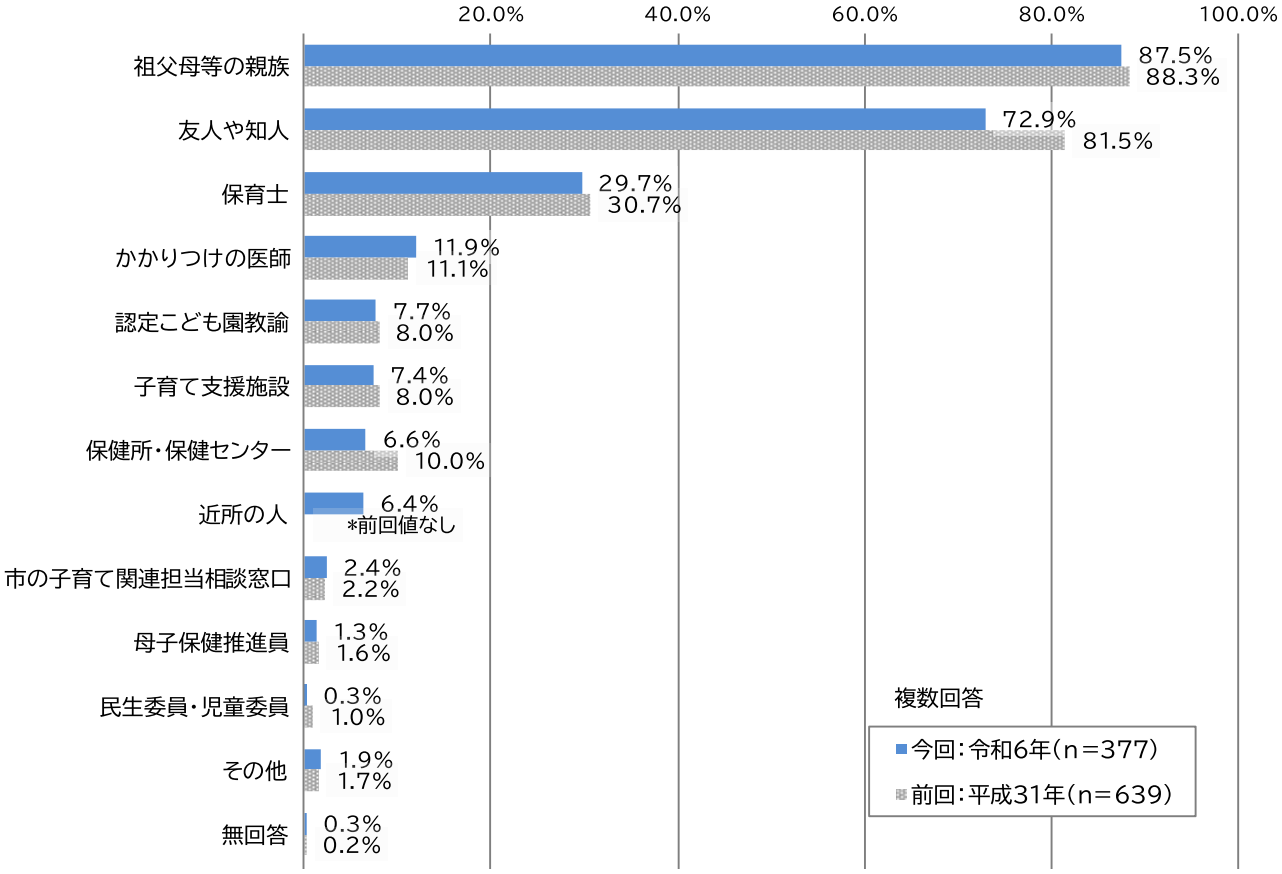
2.気軽に相談できる人

子育てをする上で、気軽に相談できる人がいる保護者は95.4%となり、前回同様、大多数の保護者が「いる/ある」と答えています。その相談先としては、「祖父母等の親族（87.5%）」、「友人や知人（72.9%）」が主となりますが。前回と比較して、「友人や知人」が減少しています。

問8. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。（1つに○）



問8で「いる/ある」に回答した方にお伺いします。
問8－1. お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまるものすべてに○）



問8－1. ＜こどもの年齢別＞

横%

［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

		(n)	祖父母等の親族	友人や知人	保育士	かかりつけの医師	認定こども園教諭	子育て支援施設	保健所・保健センター	近所の人	市の子育て関連担当相談窓口	母子保健推進員	民生委員・児童委員	その他	無回答
	全 体	(377)	87.5	72.9	29.7	11.9	7.7	7.4	6.6	6.4	2.4	1.3	0.3	1.9	0.3
こども年齢別	0歳	(21)	90.5	66.7	4.8	19.0	-	28.6	9.5	4.8	-	9.5	-	-	-
	1歳	(54)	90.7	79.6	27.8	13.0	3.7	3.7	7.4	5.6	1.9	1.9	-	-	-
	2歳	(56)	89.3	71.4	42.9	5.4	5.4	8.9	10.7	7.1	1.8	-	-	1.8	-
	3歳	(50)	94.0	72.0	34.0	12.0	10.0	6.0	10.0	2.0	2.0	-	-	4.0	-
	4歳	(64)	82.8	67.2	32.8	15.6	9.4	9.4	4.7	4.7	1.6	-	-	4.7	-
	5歳以上	(127)	84.3	74.8	26.8	11.8	10.2	3.9	3.9	7.9	3.9	1.6	0.8	0.8	0.8

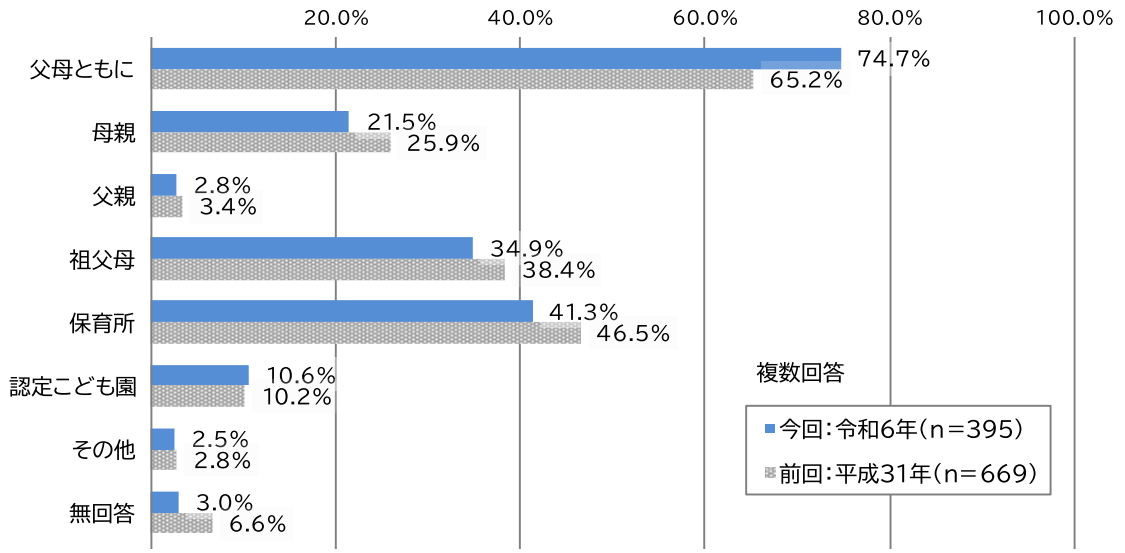
こどもの年齢別にみると、0歳児では「子育て支援施設」が高く、重要度の高さがうかがえます。

3.祖父母などに預かってもらっている状況

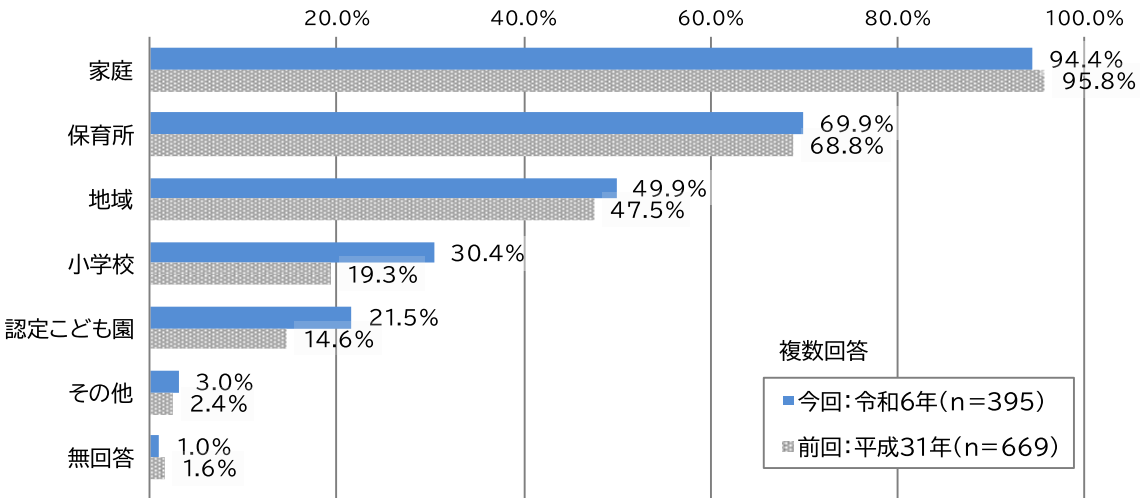
子育てに日常的に関わっている人は、「父母ともに」が74.7%と最も多く、次いで「保育所」41.3%となっています。前回と比較して、「父母ともに」は約10ポイント増加しています。

子育てに影響する環境としては、「家庭」が94.4%と突出して高く、次いで「保育所」が69.9%、「地域」が49.9%となり、前回と同様、「保育所」「地域」が子育てにとって重要な位置を占めることがうかがえます。

問9. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(どこ)ですか。
お子さんからみた関係であてはまるものすべてをお選びください。(あてはまるものすべてに○)



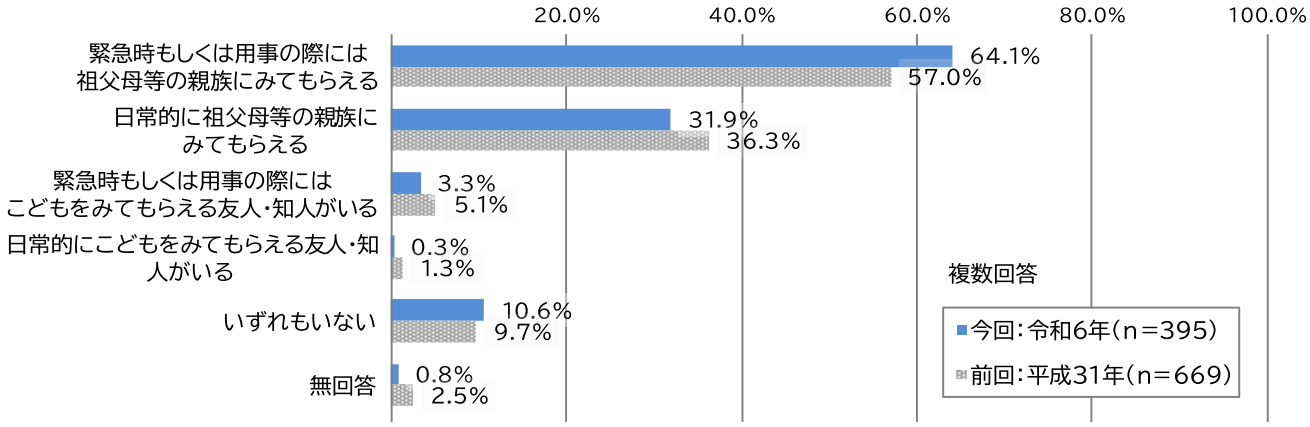
問10. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)



日頃こどもをみてもらえる親族・知人については、親族では、「緊急時もしくは用事の際」が64.1%、「日常的に」が31.9%となっています。前回と比較して、親族に日常時にみてもらえるような環境をもつ保護者は減少しています。

保護者の年代別にみると、40代以上では、「いずれもいない」が高く、保護者の年齢が上がるにつれて、周囲のサポートが得られにくい傾向がうかがえます。

問11. 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）



問11. ＜保護者年代別＞

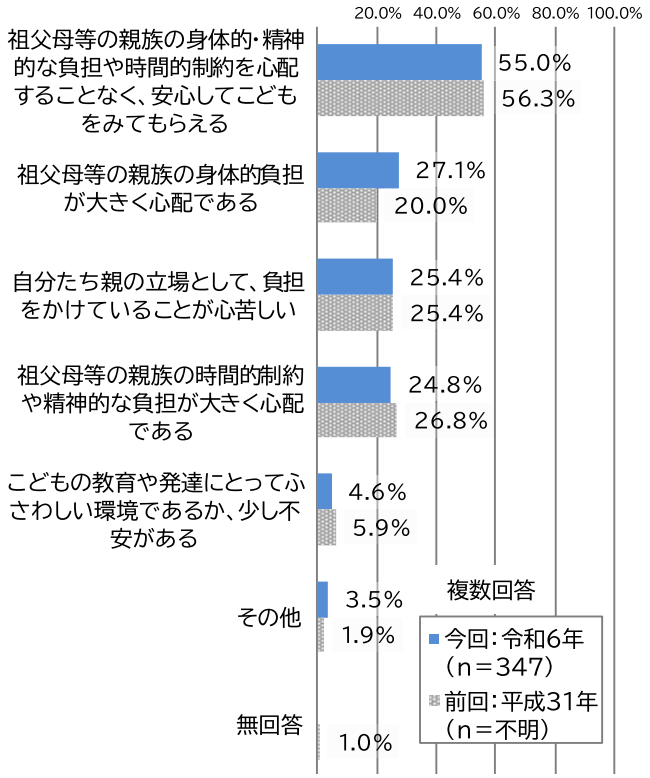
横%			緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる	日常的にこどもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもいない	無回答
［比率の差］ 全体+10ポイント / 全体+5ポイント / ※n＝20以上のみ		（n）						
全 体		(395)	64.1	31.9	3.3	0.3	10.6	0.8
保護者年代別	20代以下	(48)	56.3	39.6	-	-	8.3	-
	30代	(233)	67.0	29.2	3.9	-	9.4	1.3
	40代以上	(114)	61.4	34.2	3.5	0.9	14.0	-

こどもを祖父母等の親族にみてもらっている状況については、前回と同様、「安心してみてもらえる」が半数を超える一方、「身体的負担が大きく心配」「時間的制約がある」「精神的負担が心配」とした懸念も引き続き一定数挙げられています。

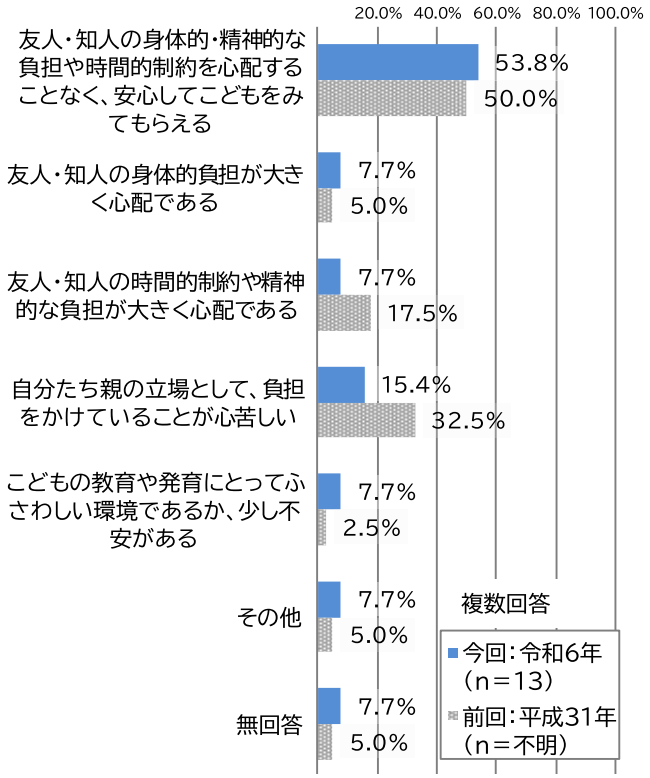
また、友人・知人については、みてもらっているケースは少ないものの、「安心してみてもらえる」割合は、親族とほぼ同様となっています。

問11-1. 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)
問11-2. 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

【祖父母等の親族に見てもらっている状況】



【友人・知人に見てもらっている状況】



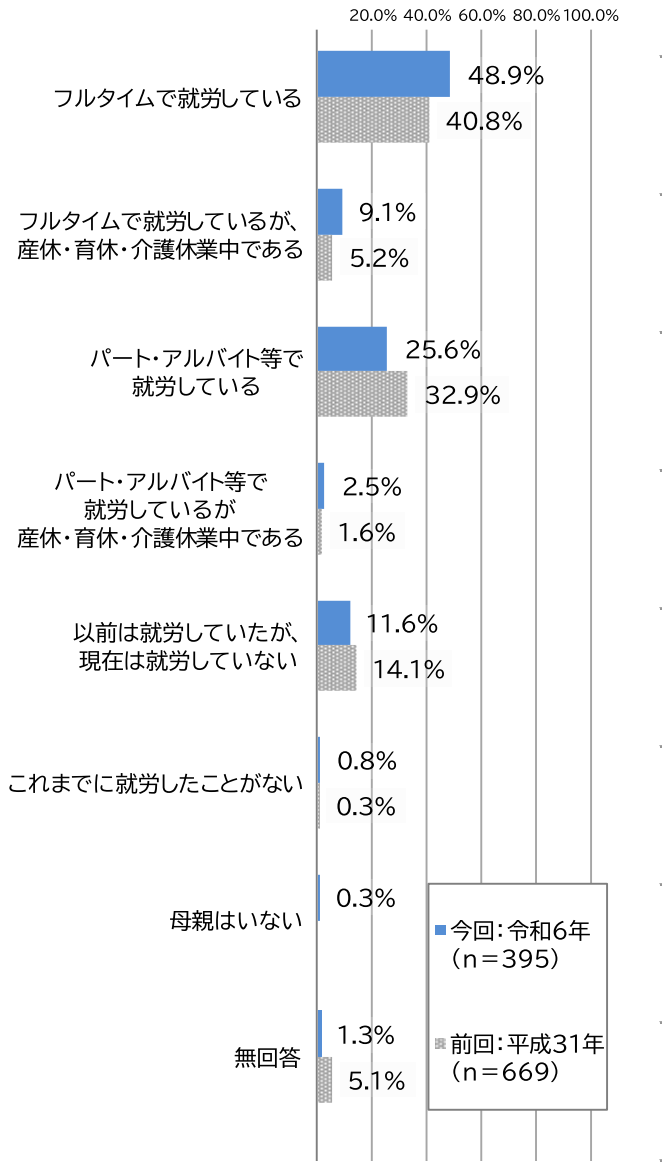
4.保護者の就労状況について

4-1.母親（父親）の就労形態

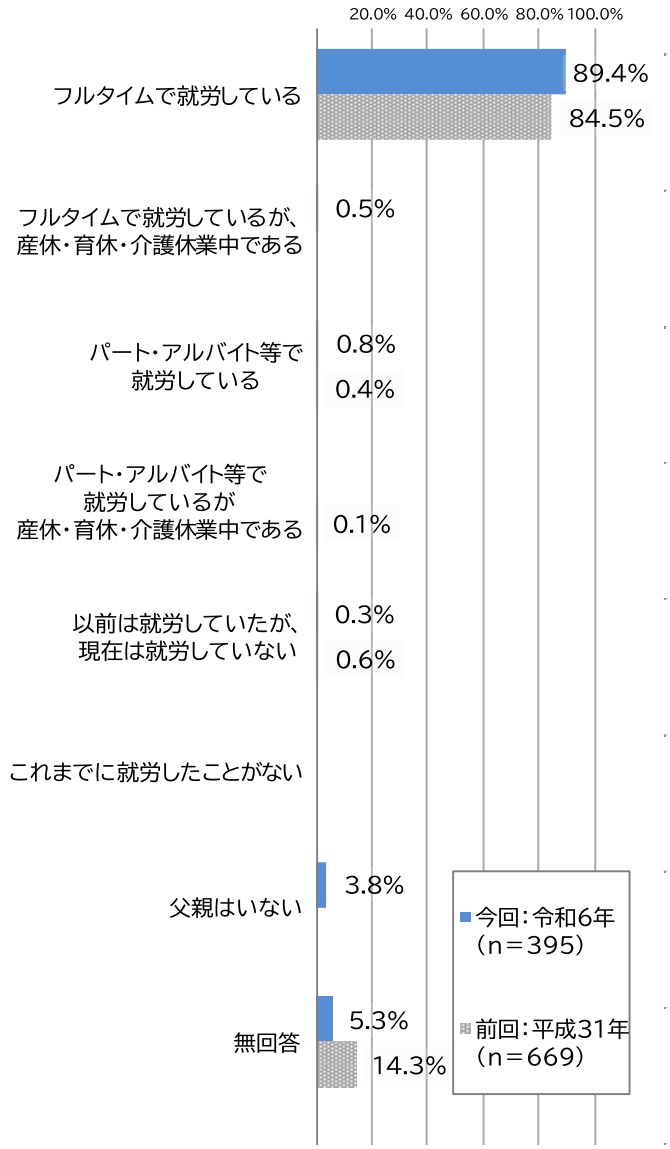
母親の就労形態は、「フルタイム」48.9%、「パート・アルバイト」が25.6%となっています。
前回と比較して、フルタイムがやや増加し、パート・アルバイトが減少しています。
母親の全就労者からみた、就労状況の主流をみると、１週間当たりの就労日数は「５日」、就労時間は「７～９時間」、出勤時刻は「７～８時台」、帰宅時刻は「１７～１８時台」となっています。

問12. 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。
（①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答）

《①母親》

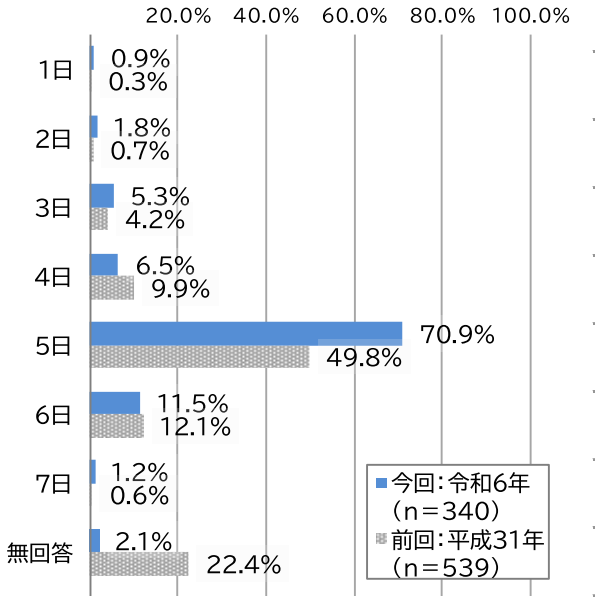


《②父親》

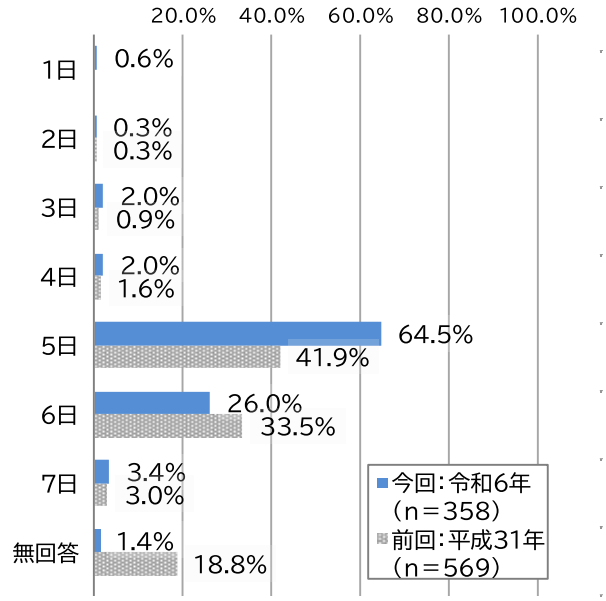


【全就労者平均　1週間当たり就労日数】

《①母親》

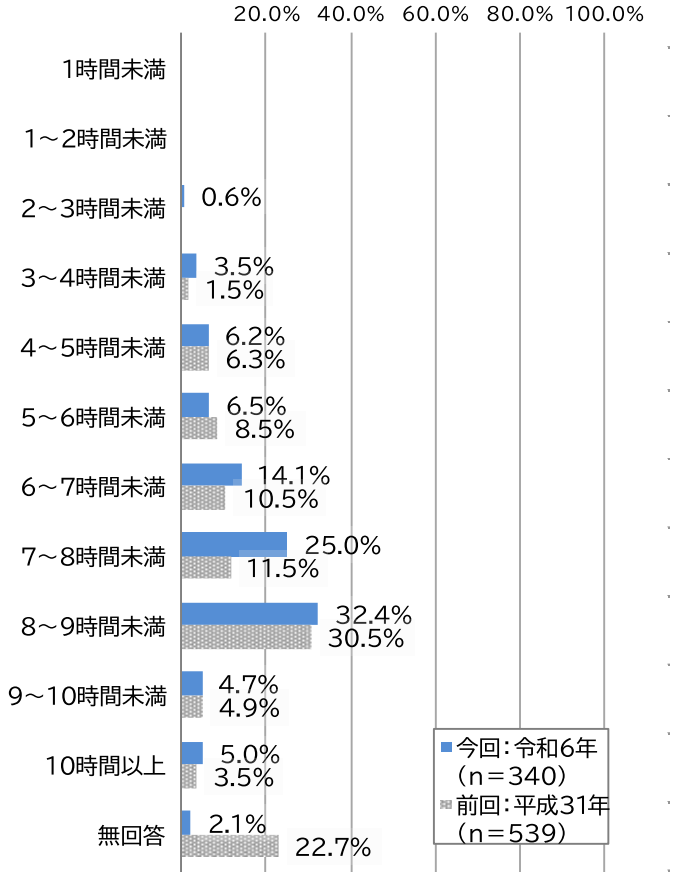


《②父親》

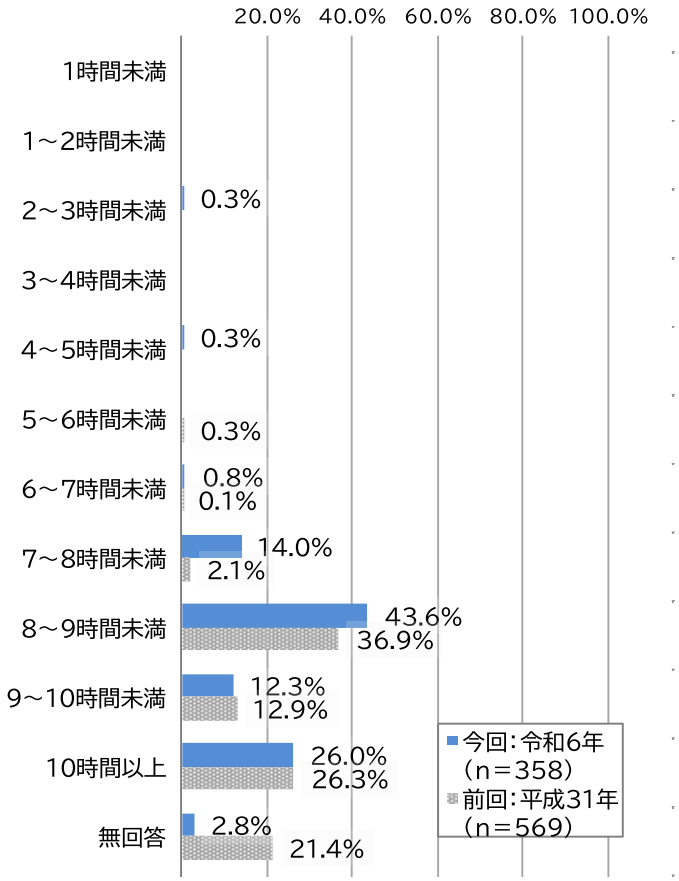


【全就労者平均　就労時間】

《①母親》

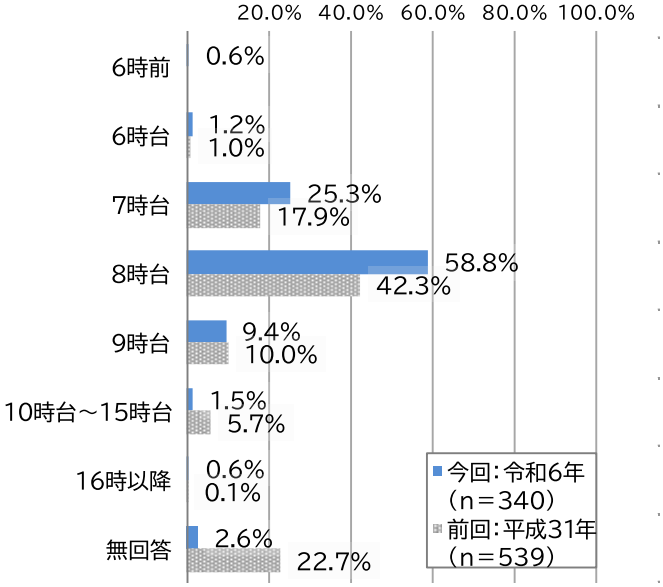


《②父親》

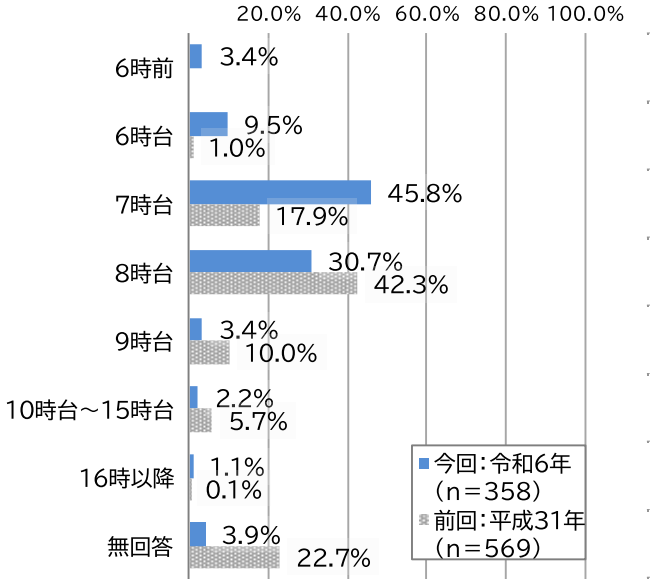


【全就労者平均　出勤時刻】

《①母親》

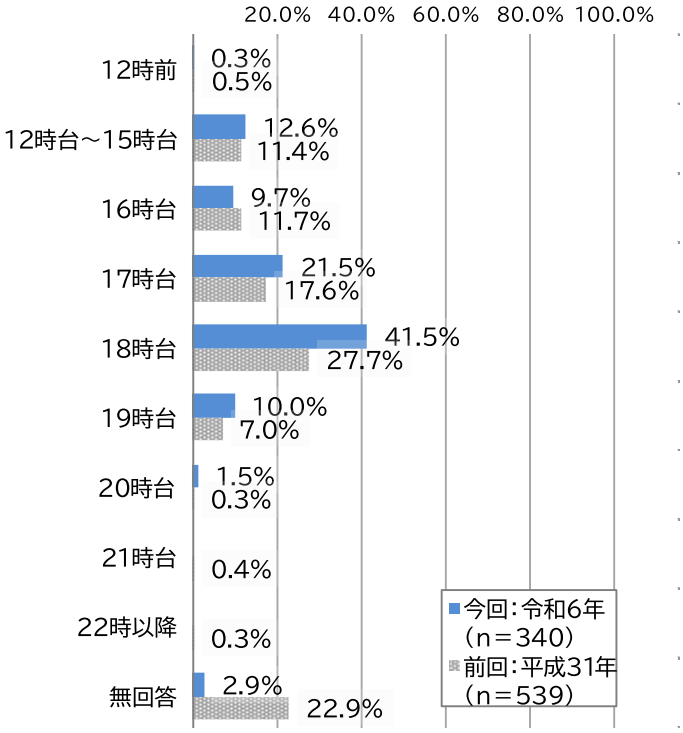


《②父親》

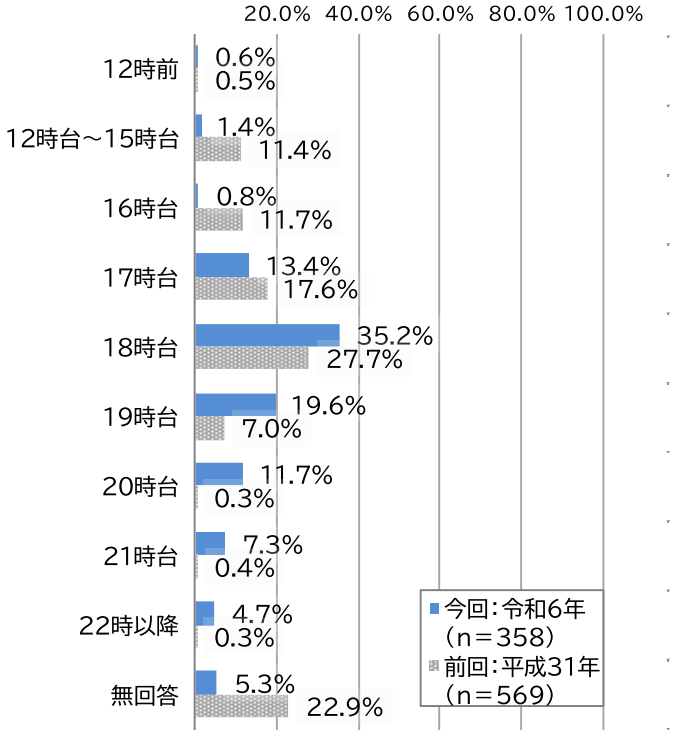


【全就労者平均　帰宅時刻】

《①母親》



《②父親》

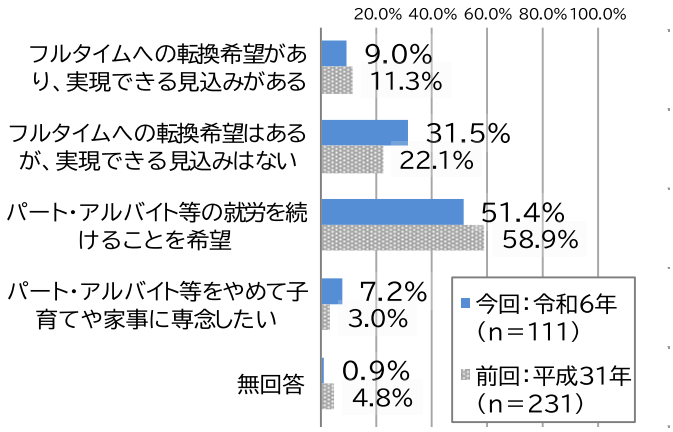


4-2.フルタイムへの転換希望

パート・アルバイトで就労している母親のうち、フルタイムへの転換希望者は40.5%となり、前回よりも増加していることがわかります。しかし、その多くは「実現の見込みはない」と答えており、フルタイムへの転換は依然として厳しい状況であることがうかがえます。

問12で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。
問12-1. フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

《①母親》



《②父親》

※　回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

4-3.現在就労していない母親（父親）の就労意向

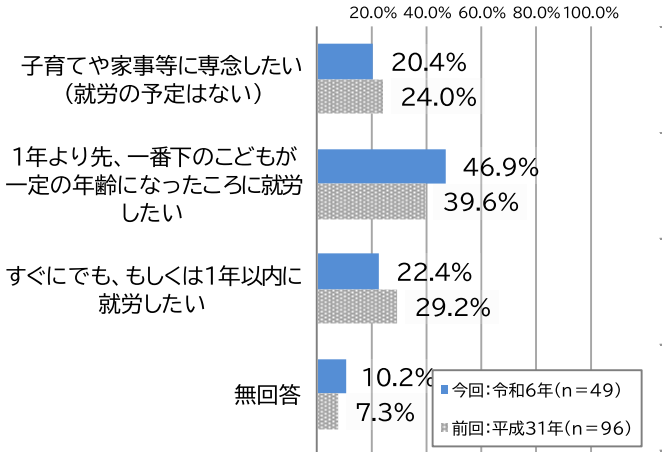
（1）就労希望

就労していない母親の就労意向をみると、前回同様、「1年より先、一番下のこどもが一定の年齢になったころに就労したい」が46.9%と最も高い結果となっています。

その就労時期についても、「（末子が）3歳」が最も高く、平均年齢でみると、3.9歳と前回と変わらない結果となりました。

問12.で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。
問12-2.今後の就労希望はありますか。(1つに○)

《①母親》

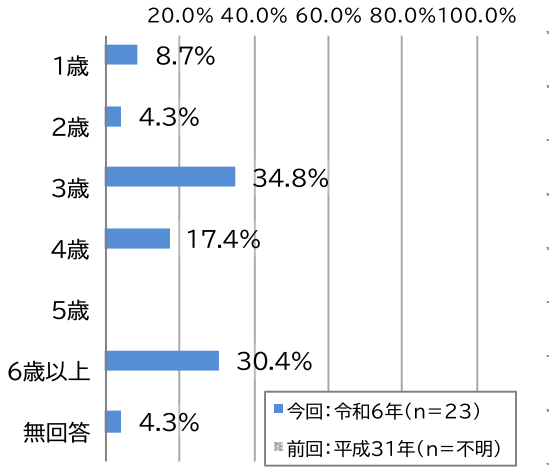


《②父親》

※　回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

問12-2.で「1年より先、一番下のこどもが一定の年齢になったころに就労したい」に○をした方にお伺いします。
問12-2-1.一番下のこどもが何歳になったころ就労したいですか。年齢をお答えください。(1つに○)

《①母親》



平均年齢	
今回	3.9歳
前回	3.9歳

《②父親》

※　回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

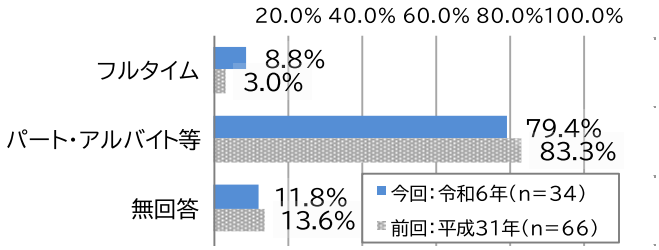
（2）希望する就労形態

希望する就労形態は、「フルタイム」は8.8%にとどまり、前回と同様、「パート・アルバイト」が大半を占める傾向は変わりありません。

また、パート・アルバイトの希望就労日数は、「４日」が37.0%で最も高く、１日あたりの就労時間は、「５～６時間」が40.7%と最も高い状況です。

問12-2. で「2」または「3」に〇をした方にお伺いします。
問12-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。(1つに〇)

《①母親》

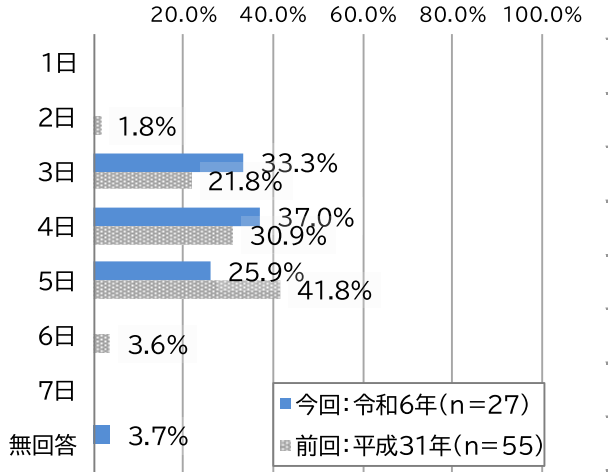


《②父親》

※　回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

問12-3-1. (パート・アルバイト等)希望する就労日数は1週あたり何日ですか。

《①母親》

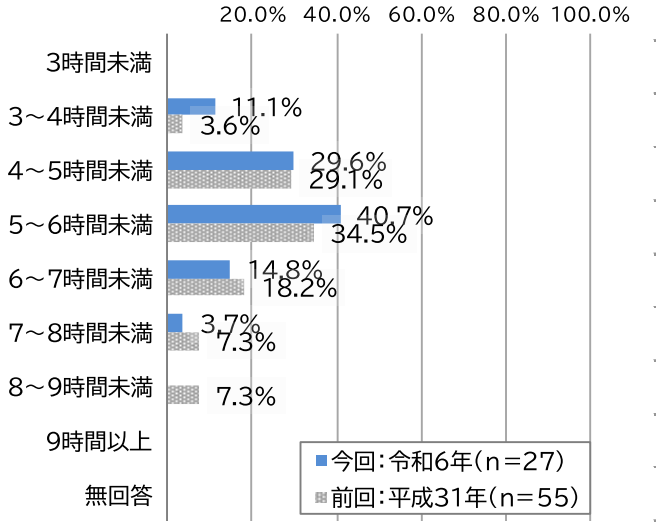


《②父親》

※　回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

問12-3-2. (パート・アルバイト等)希望する就労時間は1日あたり何時間ですか。(残業時間含む)

《①母親》



《②父親》

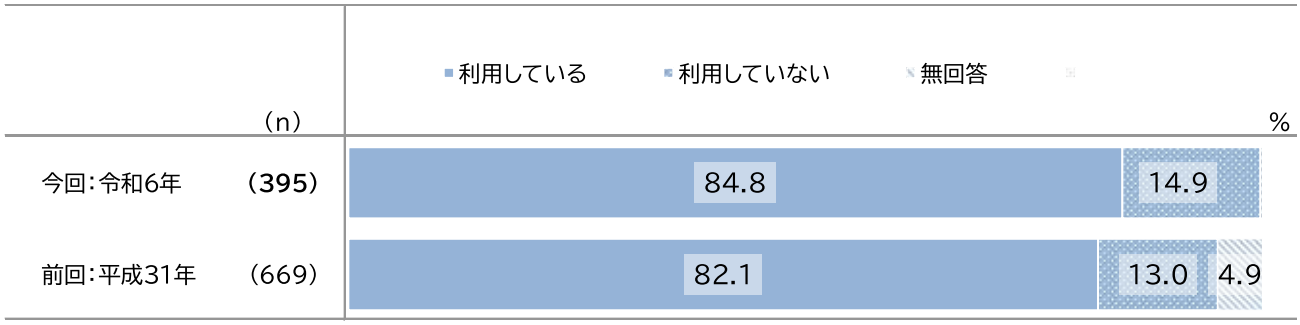
※　回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

5.定期的な教育・保護事業の利用状況

5-1.利用しているサービス

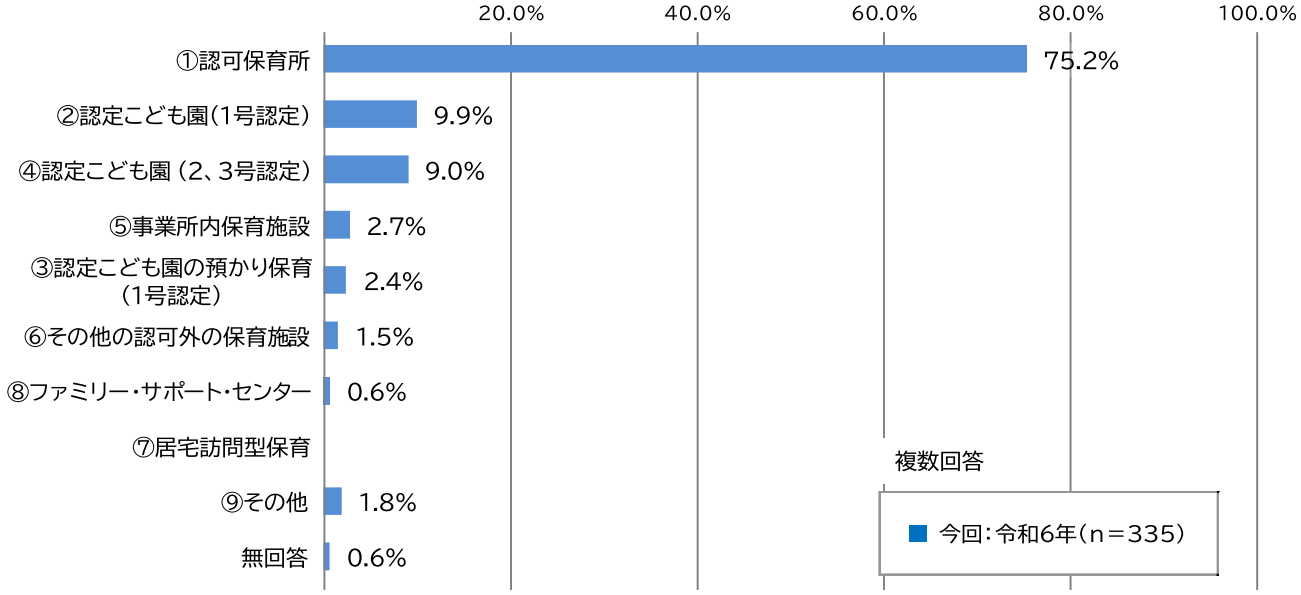
定期的なサービスを利用している人は、前回同様、８割を超える結果となっています。
利用が最も高いサービスは、「認可保育所」が75.2%を占め、以下、「認定こども園（１号認定）」が9.9%、「認定こども園（２、3号認定）」が9.0%と続いています。
母親の就労状況別をみると、「認定保育所」はフルタイム就業者で高く、「認定こども園（１号認定）」は、未就業者が高い傾向があります。

すべての方にお伺いします。
問13. あて名のお子さんは現在、保育所等の「定期的なサービス」を利用していますか。(1つに○)



(注)2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

問13で「1. 利用している」に○をした方にお伺いします。
問13-1. あて名のお子さんは、平日どのようなサービスを利用していますか。年間を通じて定期的に利用しているサービスをお答えください。(あてはまるものすべてに○)



問13-1. ＜母親の就労状況別＞

横%

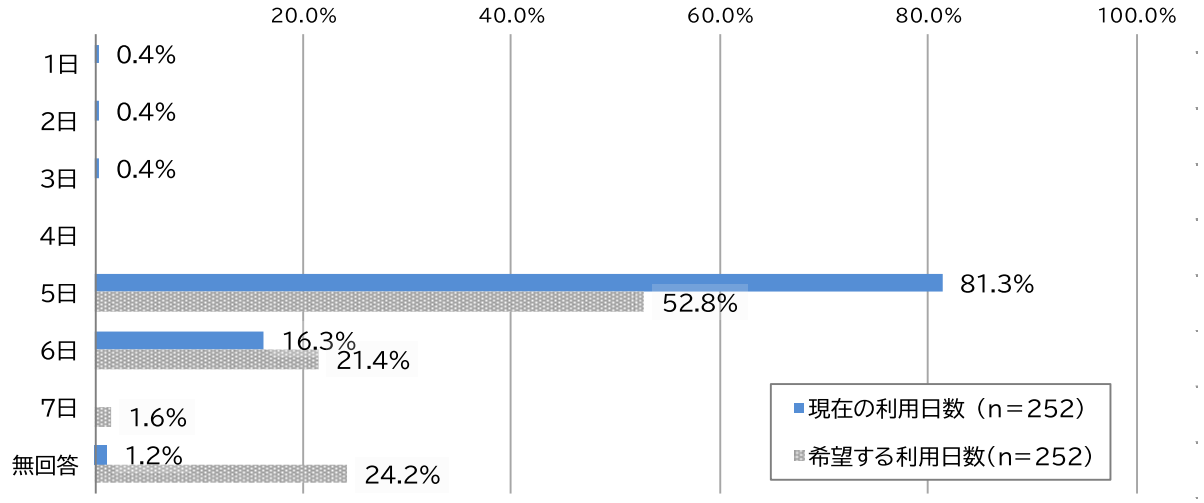
［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

		(n)	①認可保育所	②認定こども園（1号認定）	④認定こども園（2、3号認定）	⑤事業所内保育施設	③認定こども園の預かり保育（1号認定）	⑥その他の認可外の保育施設	⑧ファミリー・サポート・センター	⑦居宅訪問型保育	⑨その他	無回答
	全 体	(335)	75.2	9.9	9.0	2.7	2.4	1.5	0.6	-	1.8	0.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(189)	84.7	3.2	10.1	1.6	0.5	0.5	0.5	-	1.6	0.5
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(17)	70.6	11.8	5.9	11.8	-	-	-	-	-	-
	パート・アルバイト等で就労している	(97)	68.0	14.4	7.2	2.1	7.2	3.1	1.0	-	2.1	1.0
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(6)	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(21)	33.3	47.6	-	9.5	-	4.8	-	-	4.8	-

5-2.保育サービスの利用日数と利用時間

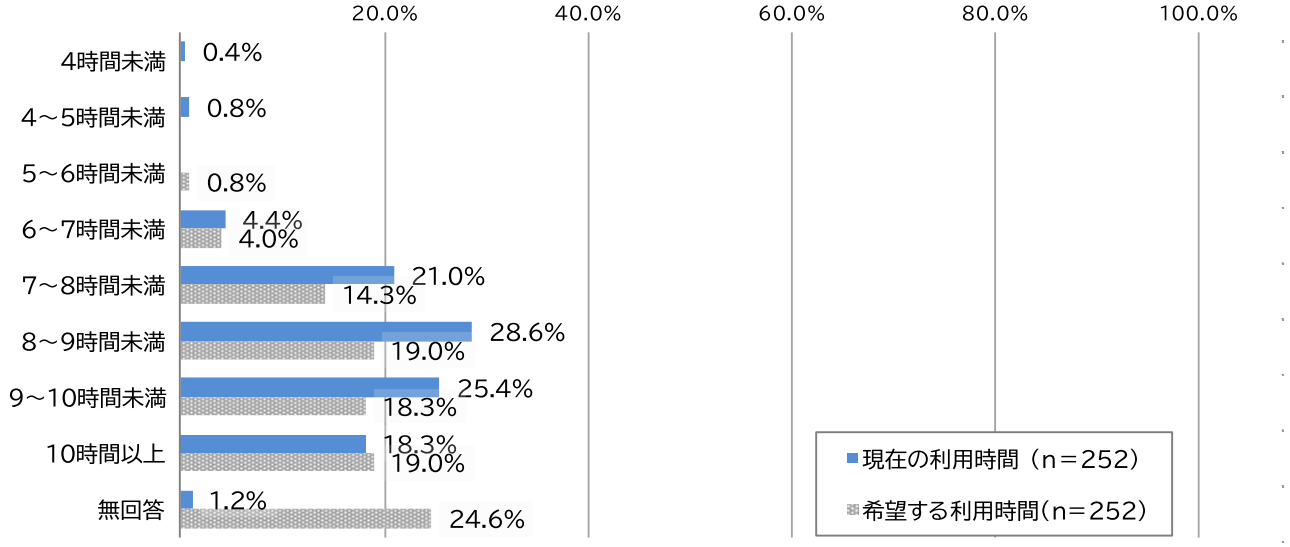
認可保育所（1号認定）の利用について、現在（実態）と希望をみると、週あたり平均利用日数は、現在5.1日、希望5.3日と大きな差異はみられない状況です。同じように、平均利用時間・平均開始時刻・平均終了時刻でみると、終了時刻において、若干の延長を希望している傾向がみられます。

問13-2. 問13-1で選択したサービスごとに、現在の利用状況と、希望する利用日数等を具体的にお答えください。
①認可保育所
【1週あたりの利用日数】①認可保育所（現在の利用日数と希望する利用日数）



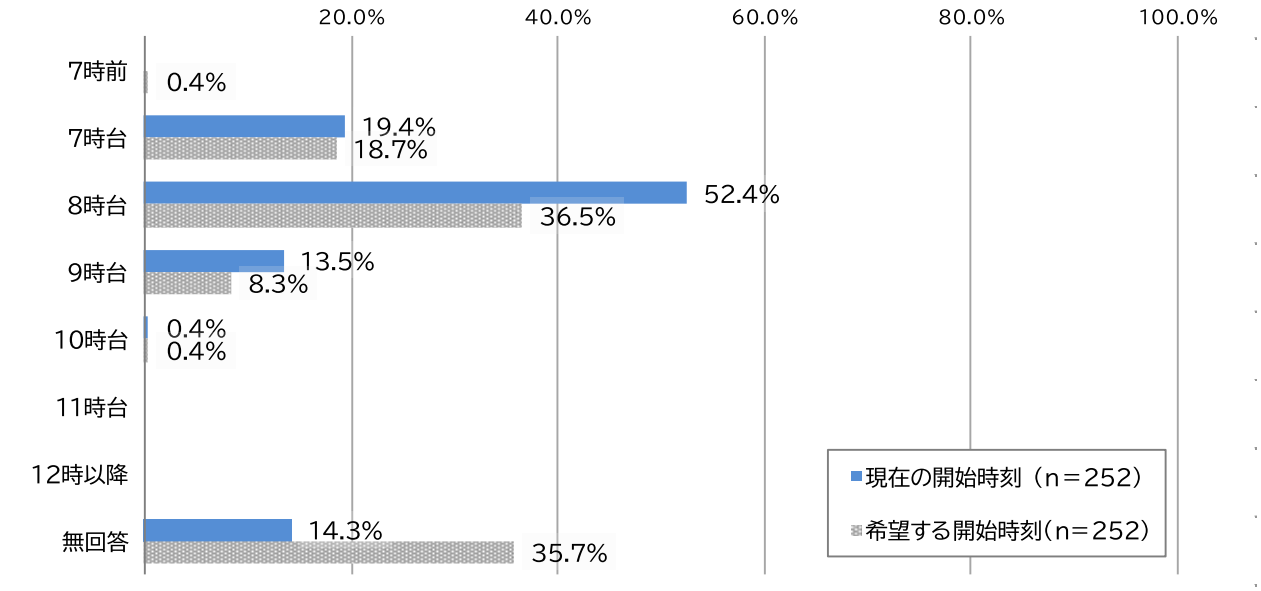
平均利用日数	
現在	5.1日
希望	5.3日

【1日あたりの利用時間】①認可保育所（現在の利用時間と希望する利用時間）



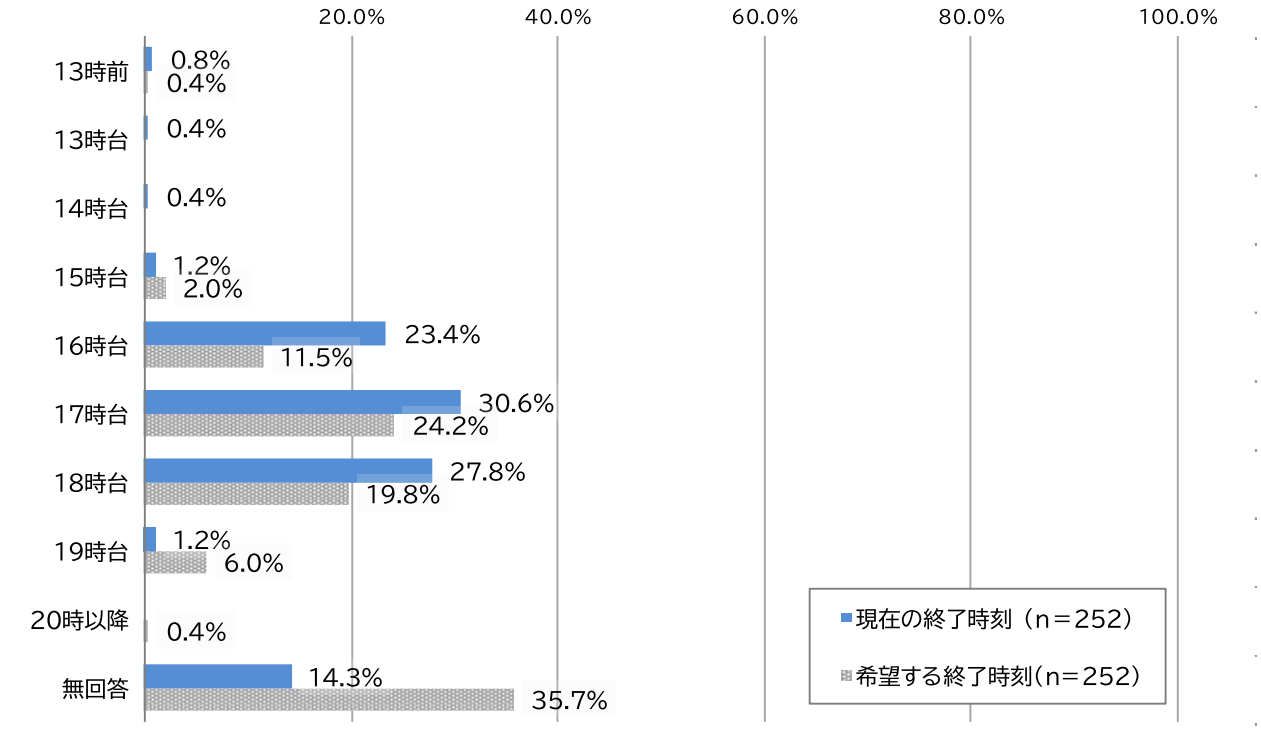
平均利用時間	
現在	8時間49分
希望	8時間59分

【利用時間帯　開始時刻】①認可保育所(現在の開始時刻と希望する開始時刻)



平均開始時刻	
現在	7時56分
希望	7時50分

【利用時間帯　終了時刻】①認可保育所(現在の終了時刻と希望する終了時刻)

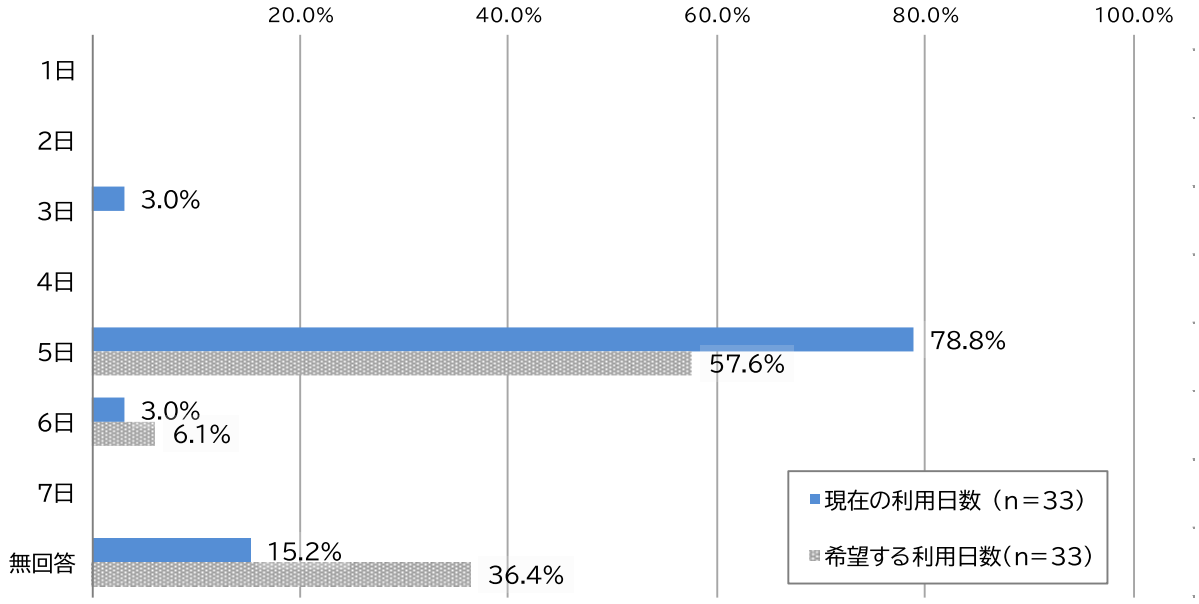


平均終了時刻	
現在	16時58分
希望	17時14分

認可こども園（１号認定）の利用について、現在（実態）と希望をみると、週当たりの平均利用日数は、現在5.0日、希望5.1日と大きく変わらない状況です。平均利用時間では、現在6時間34分、希望７時間24分となり、開始時刻の繰り上げ・終了時刻の延長を希望している傾向がうかがえます。

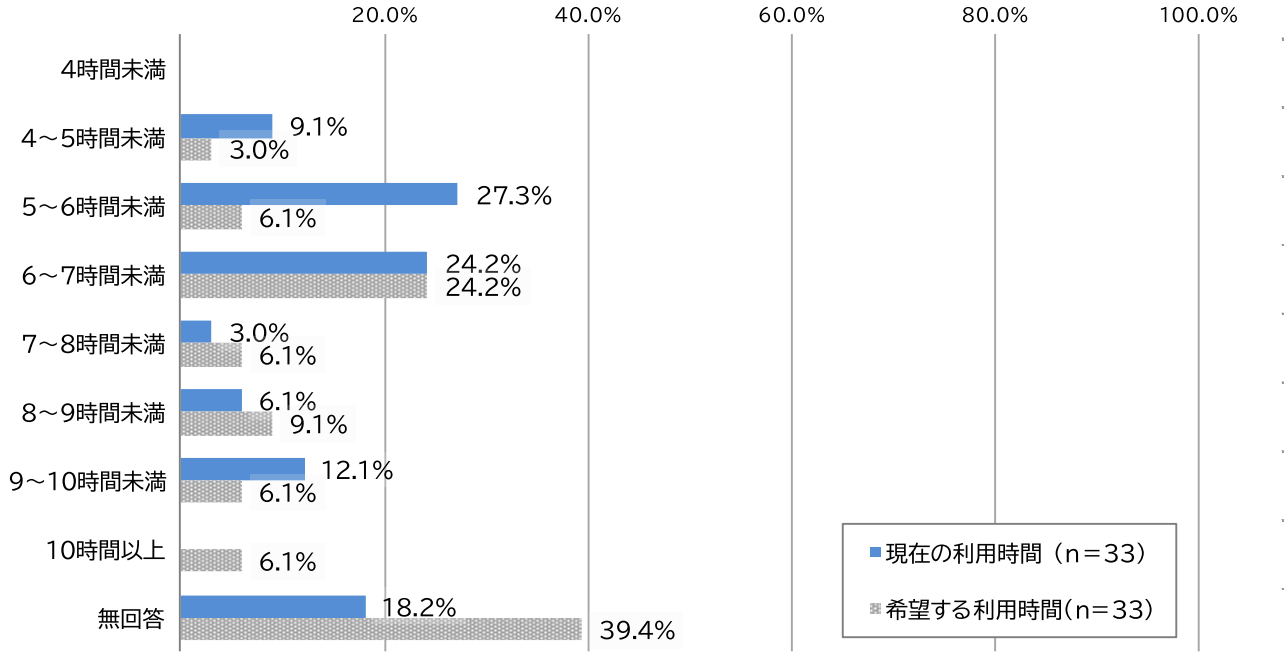
②認可こども園(1号認定)

【1週あたりの利用日数】②認定こども園(現在の利用日数と希望する利用日数)



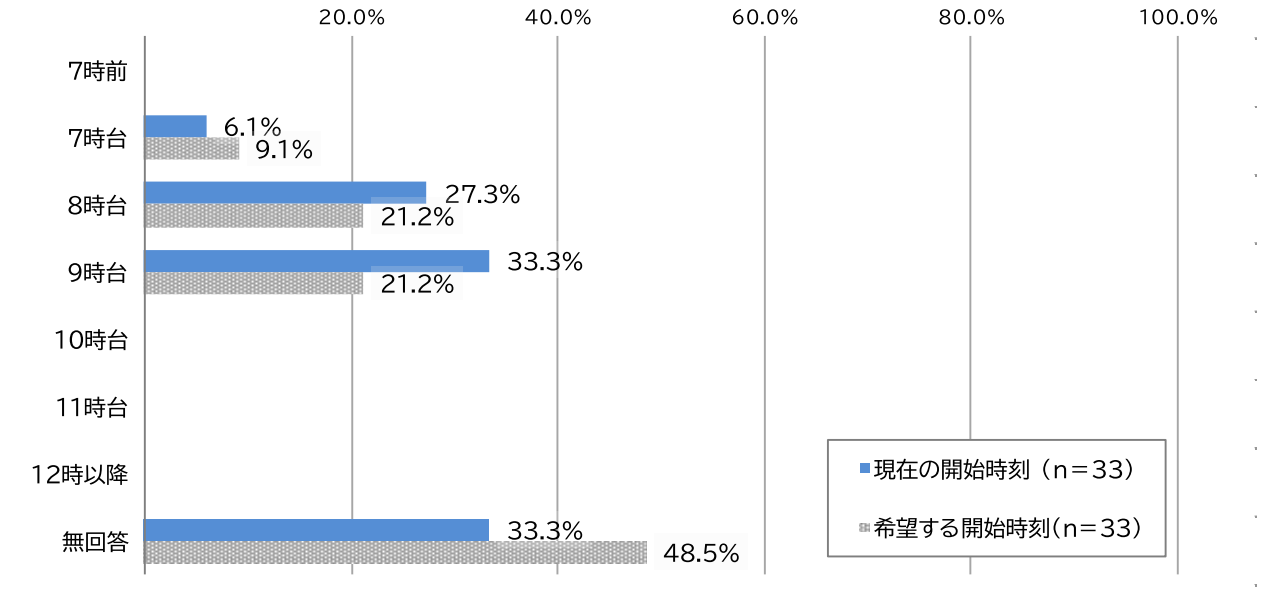
平均利用日数	
現在	5.0日
希望	5.1日

【1日あたりの利用時間】②認定こども園(現在の利用時間と希望する利用時間)



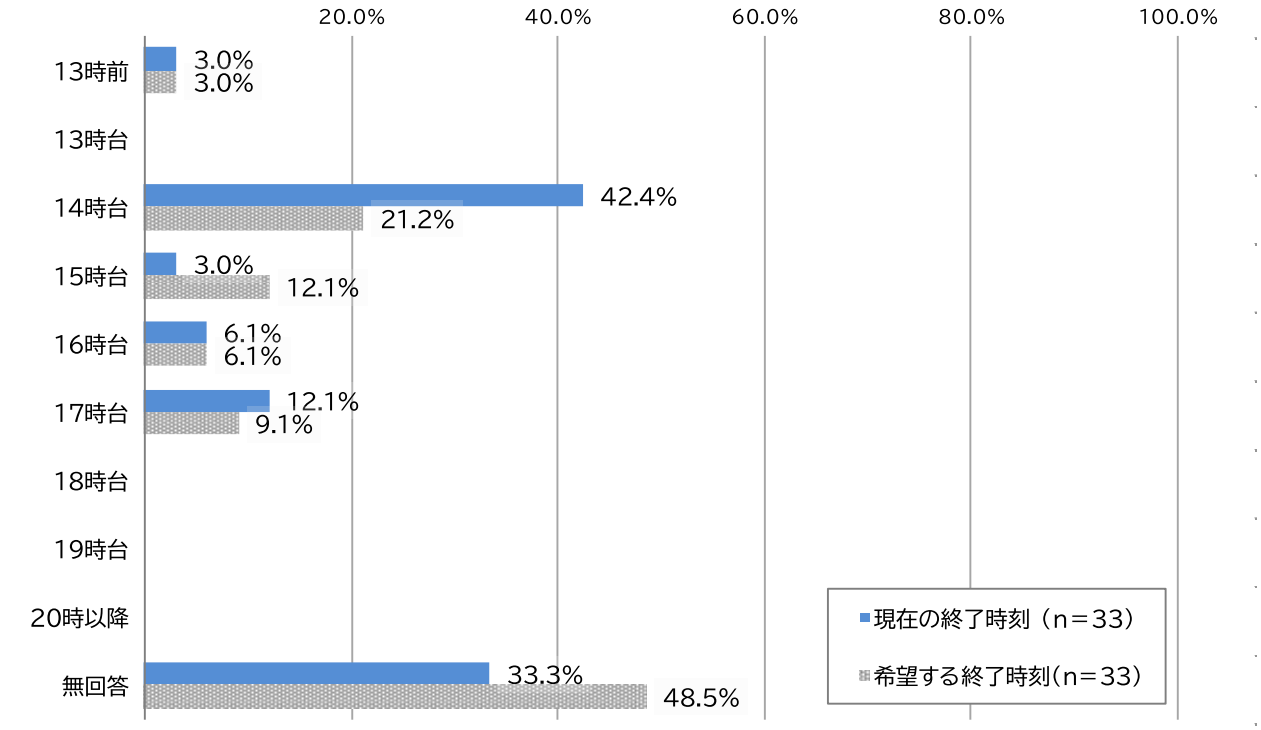
平均利用時間	
現在	6時間34分
希望	7時間24分

【利用時間帯　開始時刻】②認定こども園（現在の開始時刻と希望する開始時刻）



平均開始時刻	
現在	8時24分
希望	8時14分

【利用時間帯　終了時刻】②認定こども園（現在の終了時刻と希望する終了時刻）

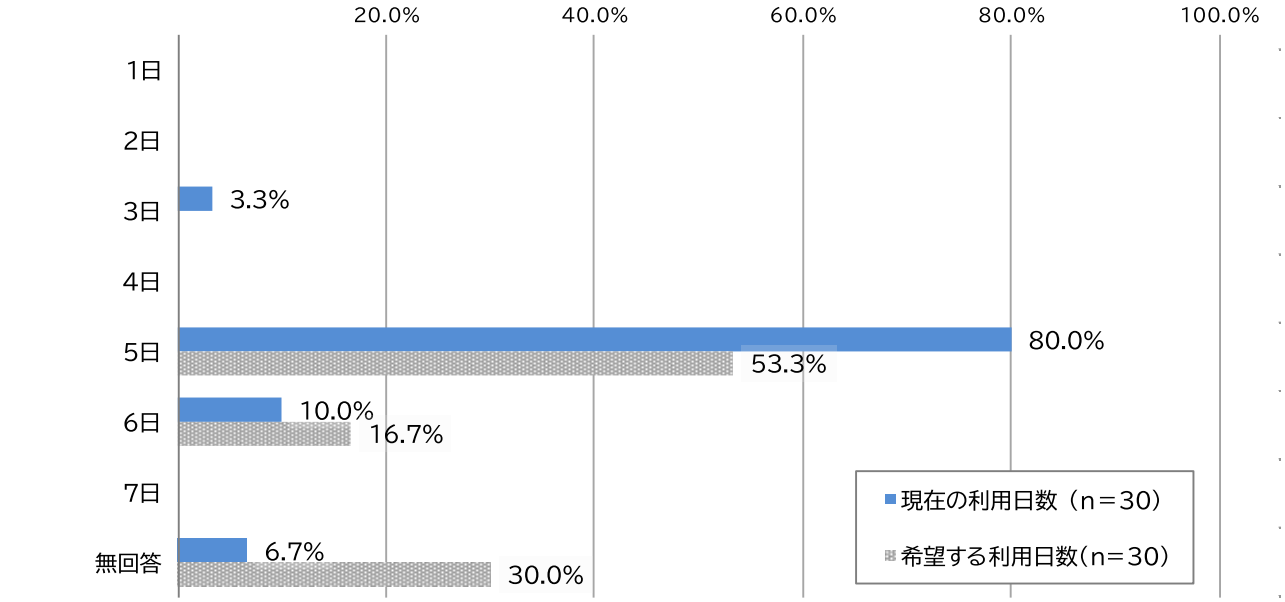


平均終了時刻	
現在	14時40分
希望	14時52分

認可こども園（２、３号認定）の利用について、現在（実態）と希望をみると、週当たりの平均利用日数、平均利用時間に大きく変わりありませんが、終了時刻の延長を希望している傾向がうかがえます。

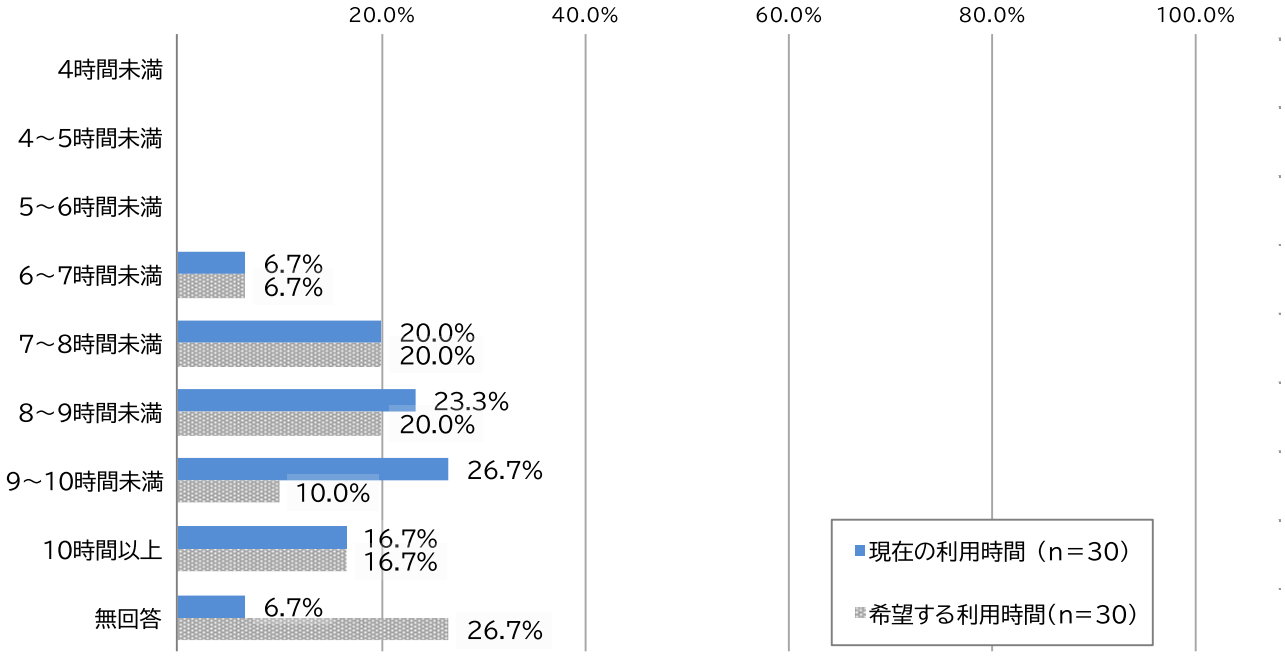
④認定こども園(2、3号認定)

【1週あたりの利用日数】④認定こども園（2、3号認定)(現在の利用日数と希望する利用日数)



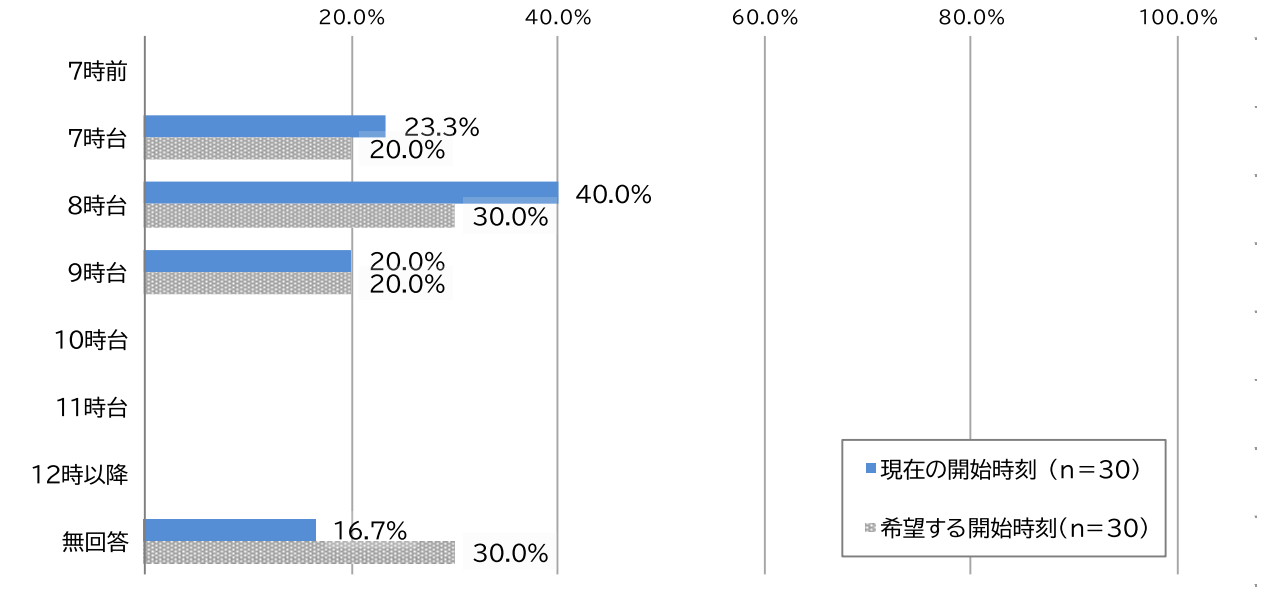
平均利用日数	
現在	5.0日
希望	5.2日

【1日あたりの利用時間】④認定こども園（2、3号認定)(現在の利用時間と希望する利用時間)



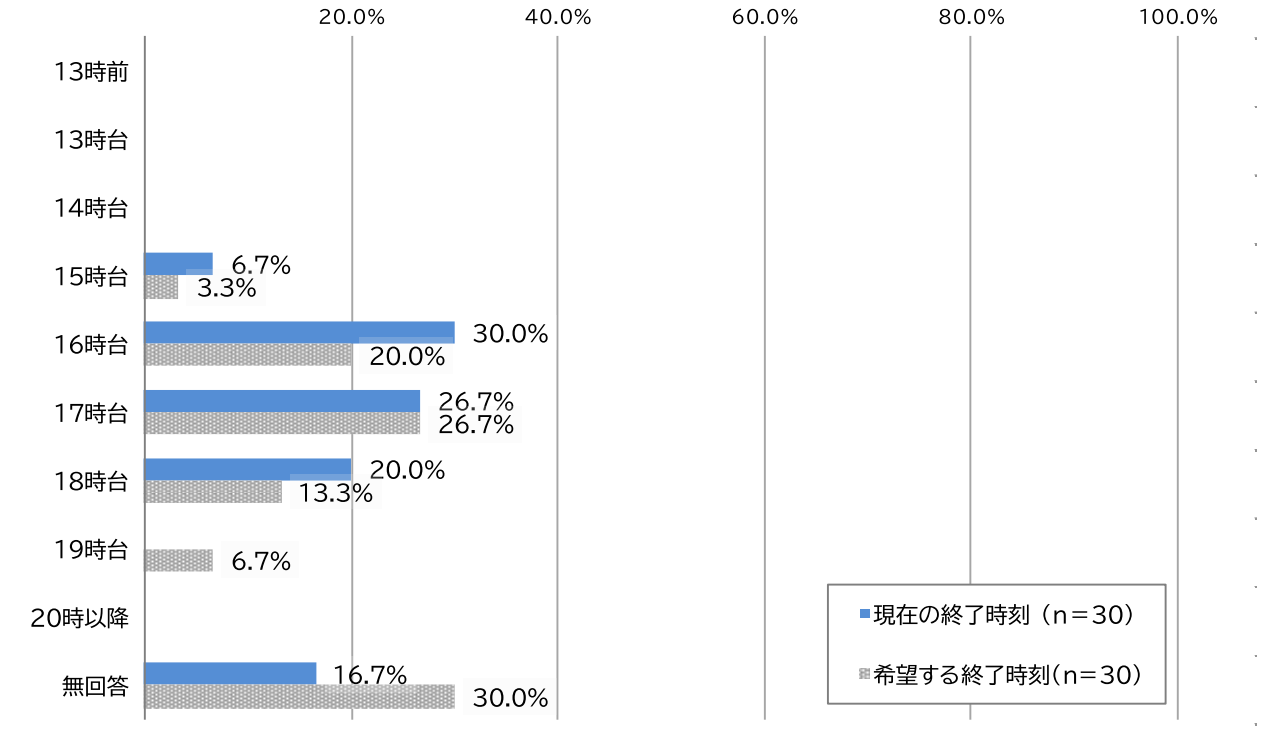
平均利用時間	
現在	8時間49分
希望	8時間41分

【利用時間帯　開始時刻】④認定こども園（2、3号認定）（現在の開始時刻と希望する開始時刻）



平均開始時刻	
現在	7時57分
希望	8時00分

【利用時間帯　終了時刻】④認定こども園（2、3号認定）（現在の終了時刻と希望する終了時刻）

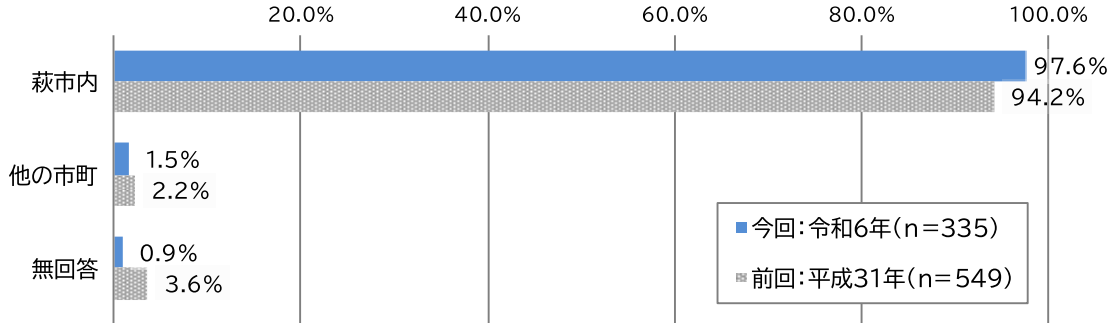


平均終了時刻	
現在	16時43分
希望	17時00分

5-3.教育・保育事業の実施場所

現在利用しているサービスの実施場所は、「萩市内」が97.6%となり、前回同様、市内利用が大多数を占めています。

問13-3. 主に利用しているサービスの実施場所はどこですか。(1つに○)

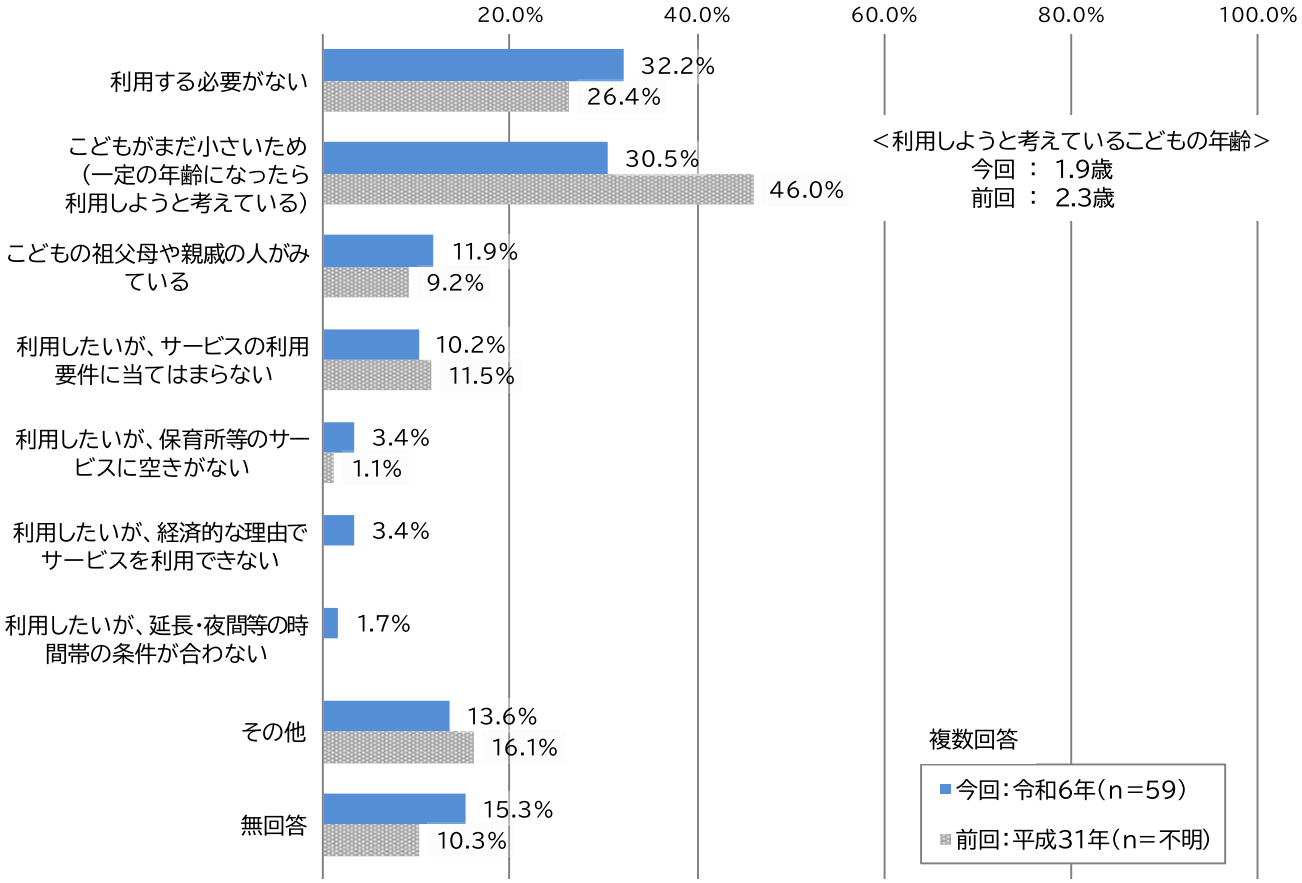


5-4.利用していない理由

保育サービスを利用していない理由としては、「利用する必要がない」が32.2%と最も多く、次いで「こどもがまだ小さいため」30.5%となっています。

前回と比較して、「利用する必要がない」は増加し、「こどもがまだ小さいため」は減少しています。

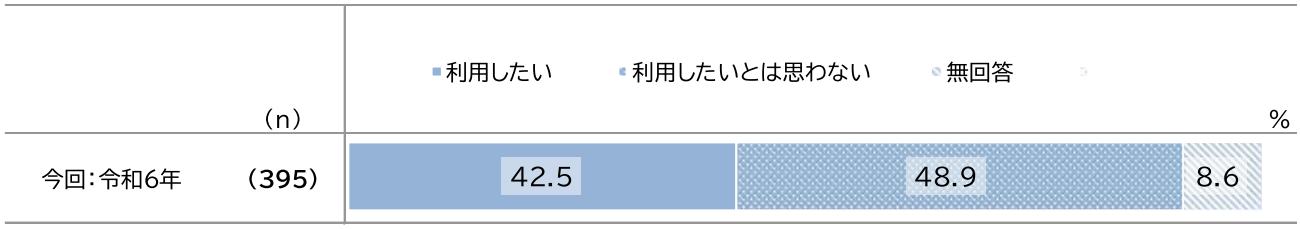
問13で「2. 利用していない」に○をした方にお伺いします。
問13-4. 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



5-5.「こども誰でも通園制度」の利用意向

こども誰でも通園制度を利用したい人は42.5%を占めています。
母親の就労状況別にみると、利用したい人は「フルタイムで現在休業中」「現在は就労していない、これまでに就労したことがない」とした母親で高い結果となっています。
利用したい人の希望利用時間は、月あたり20時間が最も高い結果となっています。

すべての方にお伺いします。
問14.「こども誰でも通園制度」を利用したいですか。(1つに○)

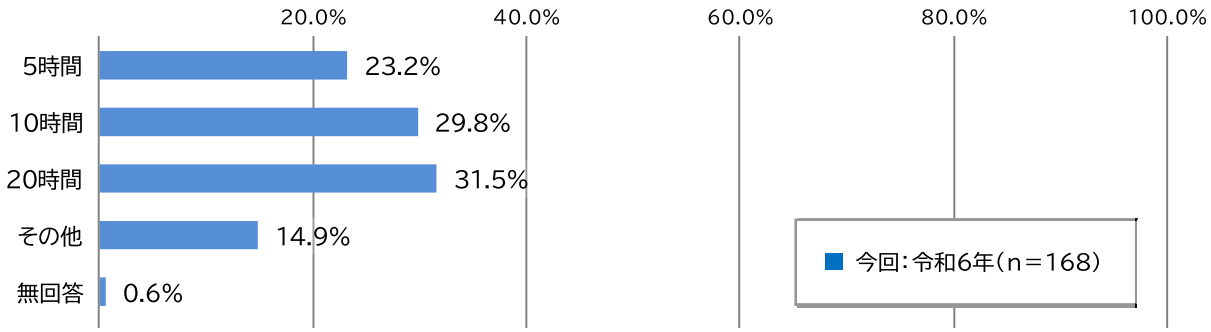


問14. <母親の就労状況別>

横%
[比率の差]
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n=20以上のみ

		(n)	利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全 体		(395)	42.5	48.9	8.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(193)	35.8	54.9	9.3
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(36)	63.9	36.1	-
	パート・アルバイト等で就労している	(101)	42.6	44.6	12.9
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(10)	50.0	50.0	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(49)	53.1	42.9	4.1

問14で「1. 利用したい」に○をした方にお伺いします。
問14-1. 1ヶ月何時間程度利用したいですか。(1つに○)



5-6.保育園の利用状況

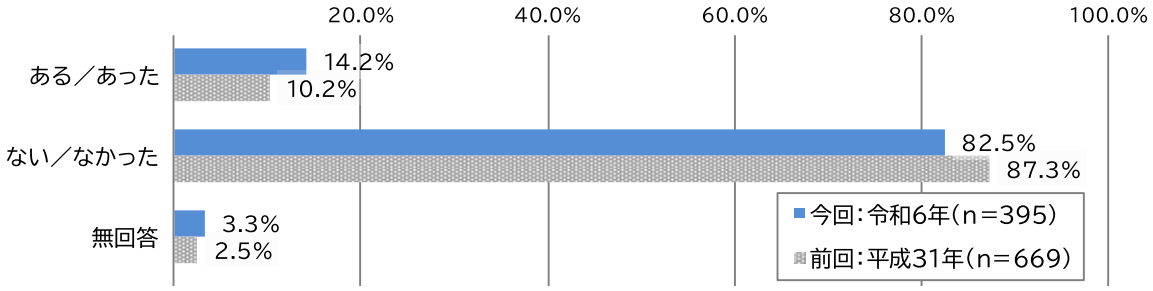
保育園の利用状況をみると、こどもが３歳未満の時、入園させたいのにできなかったことがある人は14.2%となり、前回と比較してやや増加しています。

入園できなかった理由としては、「３歳未満児保育の定員がいっぱいだった」が55.4%と最も高く、次いで「希望の保育園ではなかった」が33.9%となっています。

入園できなかった時の対応としては、「希望ではない保育園に預けた」が42.9%となり、前回と比較して、やむを得ず他の保育園を選択するケースが増えている状況です。

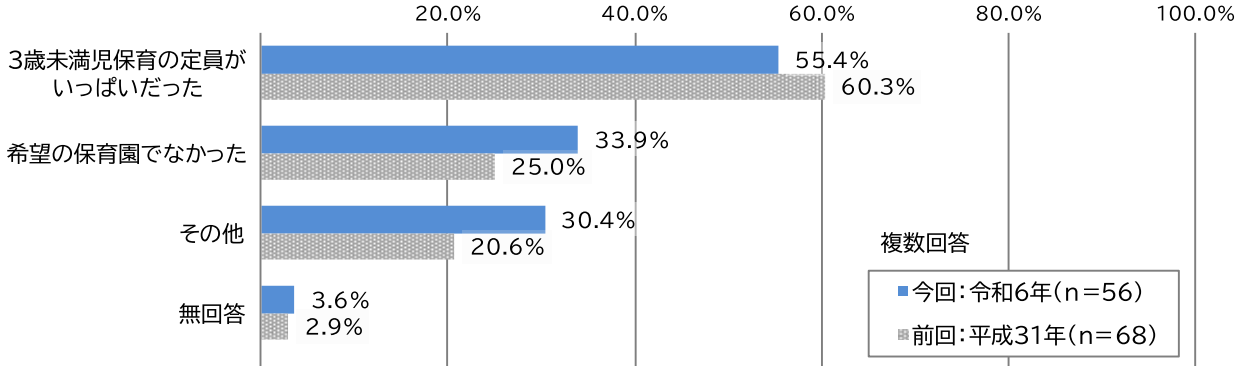
すべての方にお伺いします。

問15. これまであなたのお子さんが3歳未満の時(現在も含む)、保育園に入園させたいのに入園できなかった(できないでいる)ことはありますか。(1つに○)

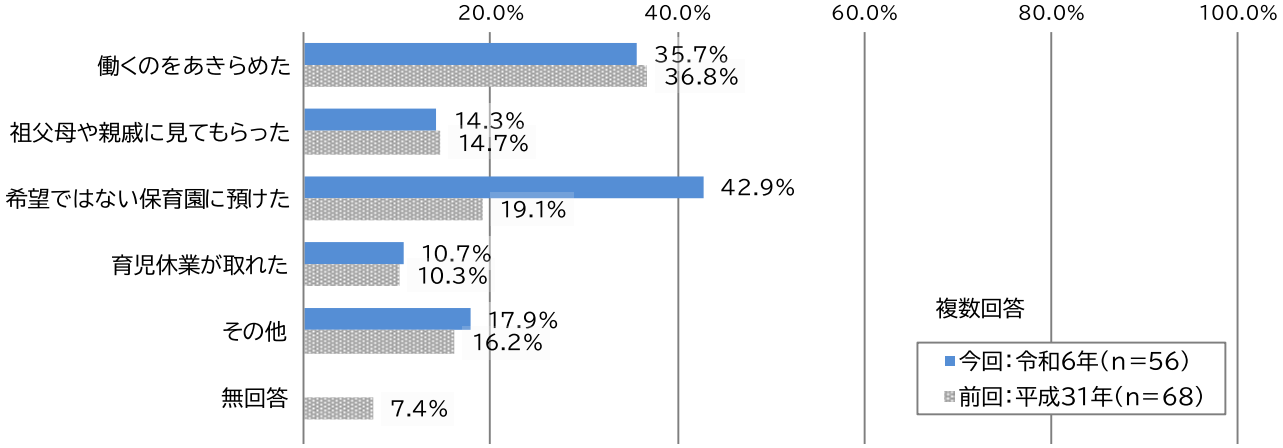


問15で「1. ある／あった」に○をした方にお伺いします。

問15-1. その時に入園できなかった、あるいはできない理由は何でしたか。(あてはまるものすべてに○)



問15-2. その時、どうされましたか。あるいは現在、どうされておられますか。(あてはまるものすべてに○)

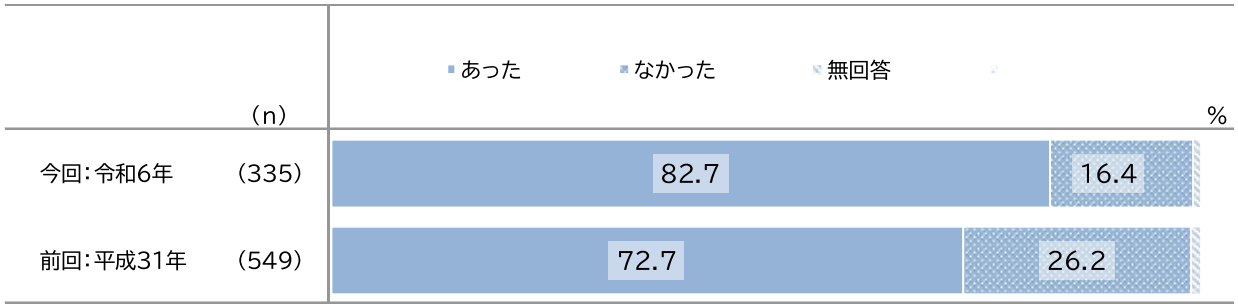


6.病児・病後児保育について

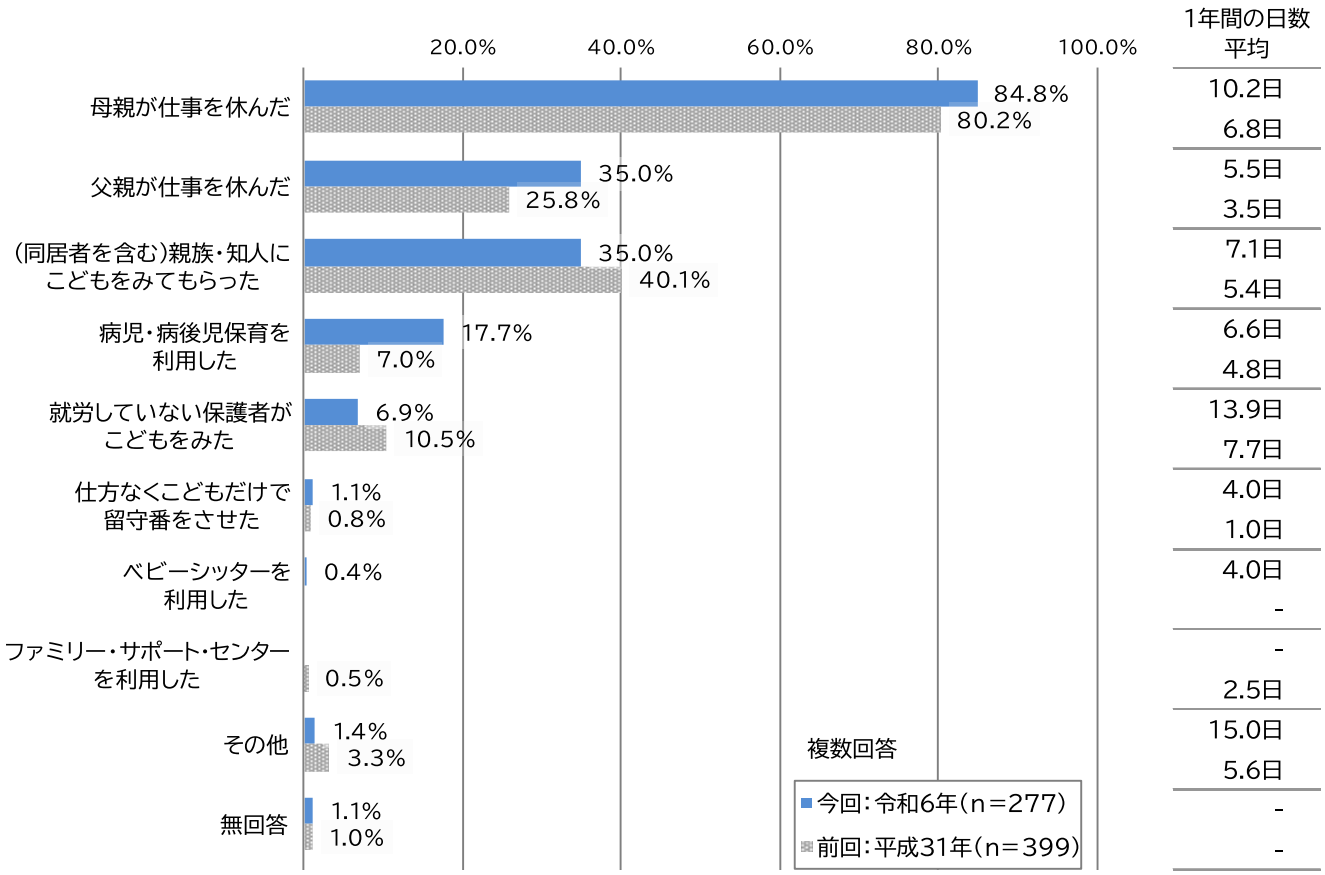
6-1.過去1年間に保育サービスを利用できなかったことの有無

この１年間にこどもが病気やけがで保育所等の利用ができなかったことがあった人は、82.7%となり、前回と比較して増加していますが、これは新型コロナウィルス感染症が発生した影響も考えられます。対処方法としては、「母親が仕事を休んだ」が84.8%となり、母親が休むケースが引き続き高く、その平均日数は10.2日となっています。

問16. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで保育所等が利用できなかったことはありますか。(1つに○)



問16で「1」に○をした方にお伺いします。
問16-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。あてはまるものすべてを選び、それぞれの日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



6-2.病児・病後児保育の利用希望

こどもが病気やけがで仕事を休んだ人のうち、病児・病後児保育の利用希望については、「利用したかった」が39.6%、希望する日数は平均で7.6日となり、前回と比較して、いずれも増加しています。

問16-1で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。
問16-2. その際、「病児・病後児保育施設等を利用したかった」と思われましたか。(1つに○)
また、施設を利用したいと思った日数をお答えください。

	(n)	利用したかった	利用したいとは思わなかった	無回答	利用したいと思った日数 平均
		%			
今回:令和6年	(240)	39.6	57.5	2.9	**7.6日**
前回:平成31年	(331)	30.2	67.7	2.1	5.4日

7.平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

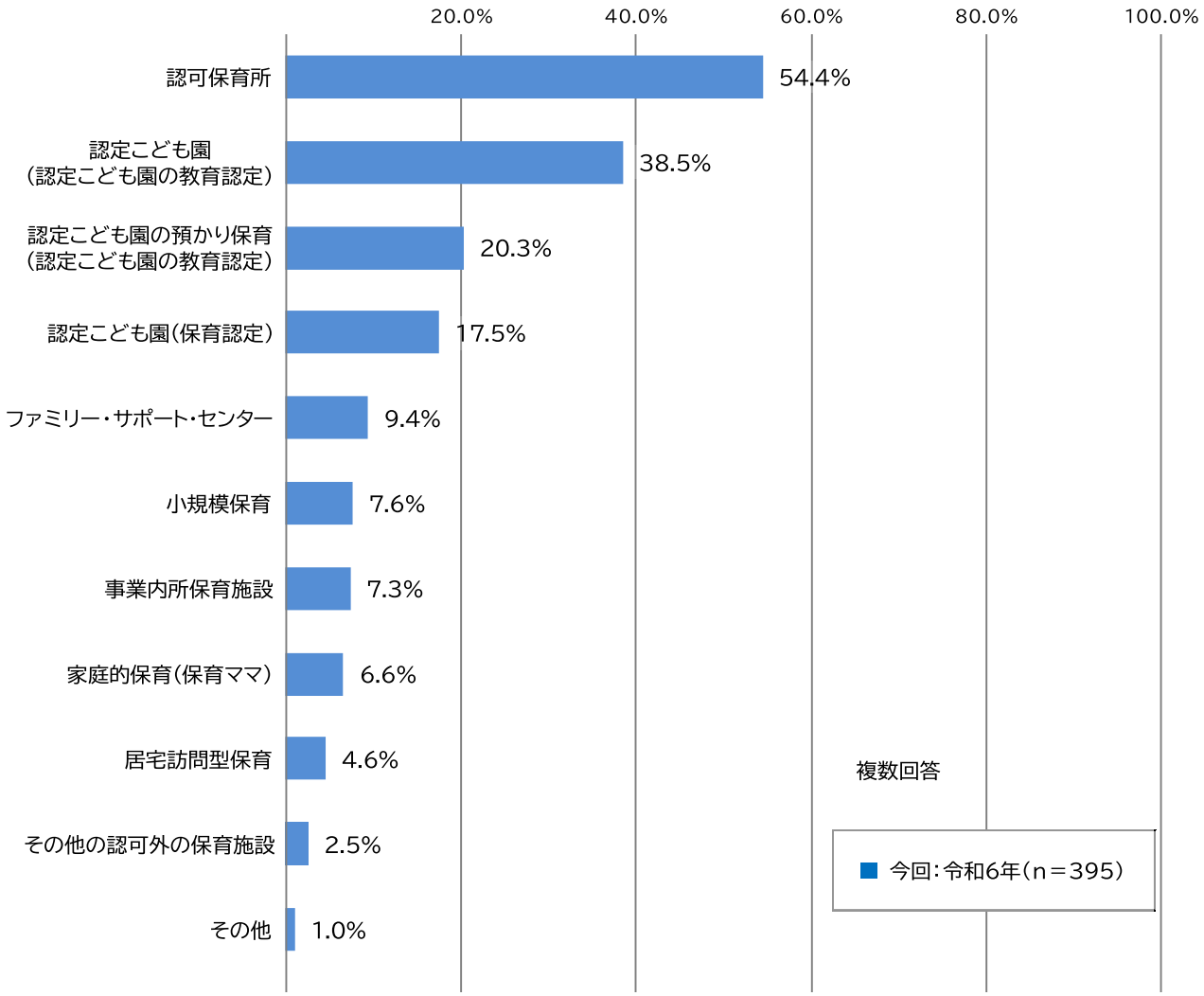
7-1.今後利用したいサービスと場所

今後定期的に利用したいサービスは、「認可保育所」が54.4%と最も高く、次いで「認定こども園（認定こども園の教育認定）」が38.5%、「認定こども園の預かり保育（認定こども園の教育認定）」が20.3%となります。

母親の就労状況別にみると、「認可保育所」ではフルタイム就労者、「認可こども園」「認定こども園の預かり保育」では未就労者が高い状況です。

なお、利用したいサービスの利用希望場所をみると、いずれのサービスも「萩市内（で利用したい）」が大多数となっています。

問17. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の保育所等のサービスとして、今後「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。（あてはまるものすべてに○）



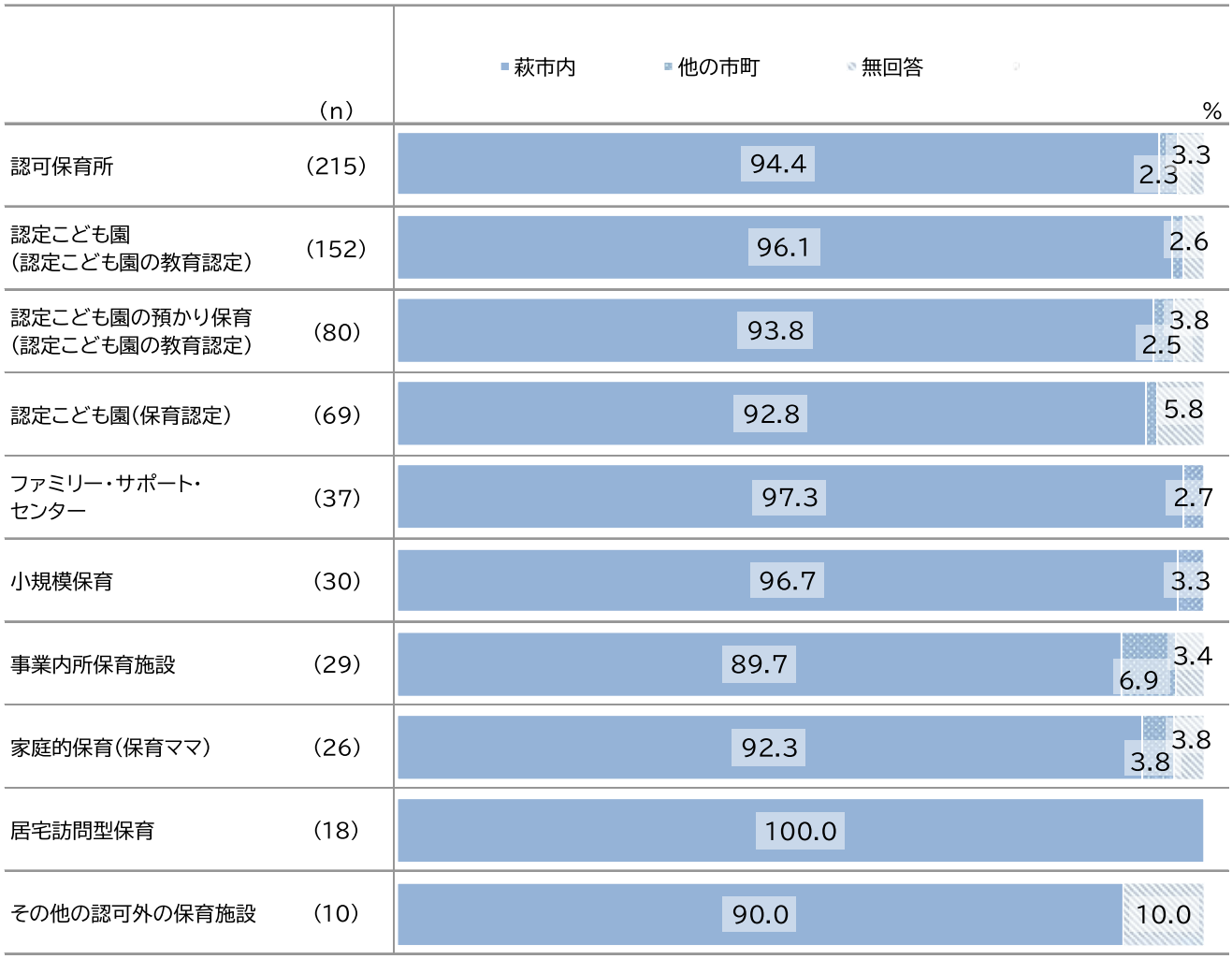
問17. ＜母親の就労状況別＞

横%

［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

		(n)	認可保育所	認定こども園（認定こども園の教育認定）	認定こども園の預かり保育（認定こども園の教育認定）	認定こども園（保育認定）	ファミリー・サポート・センター	小規模保育	事業内所保育施設	家庭的保育（保育ママ）	居宅訪問型保育	その他の認可外の保育施設	その他	無回答
全 体		(395)	54.4	38.5	20.3	17.5	9.4	7.6	7.3	6.6	4.6	2.5	1.0	4.1
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(193)	62.2	30.6	12.4	11.9	8.3	5.7	6.2	5.2	3.6	1.0	0.5	4.1
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(36)	63.9	41.7	25.0	30.6	11.1	8.3	11.1	2.8	2.8	-	2.8	-
	パート・アルバイト等で就労している	(101)	48.5	38.6	21.8	17.8	8.9	5.0	6.9	7.9	6.9	4.0	1.0	3.0
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(10)	40.0	20.0	20.0	40.0	10.0	10.0	-	-	-	-	10.0	-
	現在は就労していない×これまでに就労したことがない	(49)	34.7	65.3	42.9	22.4	12.2	16.3	10.2	10.2	4.1	6.1	-	10.2

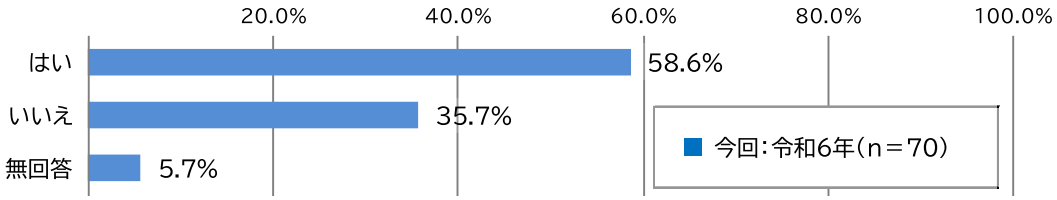
問17. 平日の保育所等のサービスとして、今後「定期的に」利用したいと考えるサービスはどちらで利用したいですか。



(注)2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

認定こども園（預かり保育含む）だけでなく、その他の保育サービスも選択肢として考えている人のうち、認定こども園の利用を強く希望する人は58.6%となっています。
母親の就労状況別にみると、就労者（休業者を含む）の方で、その傾向が強いことがうかがえます。

問17で「1」または「2」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にお伺いします。
問17-1. 特に認定こども園（認定こども園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
（1つに○）



問17-1. ＜母親の就労状況別＞

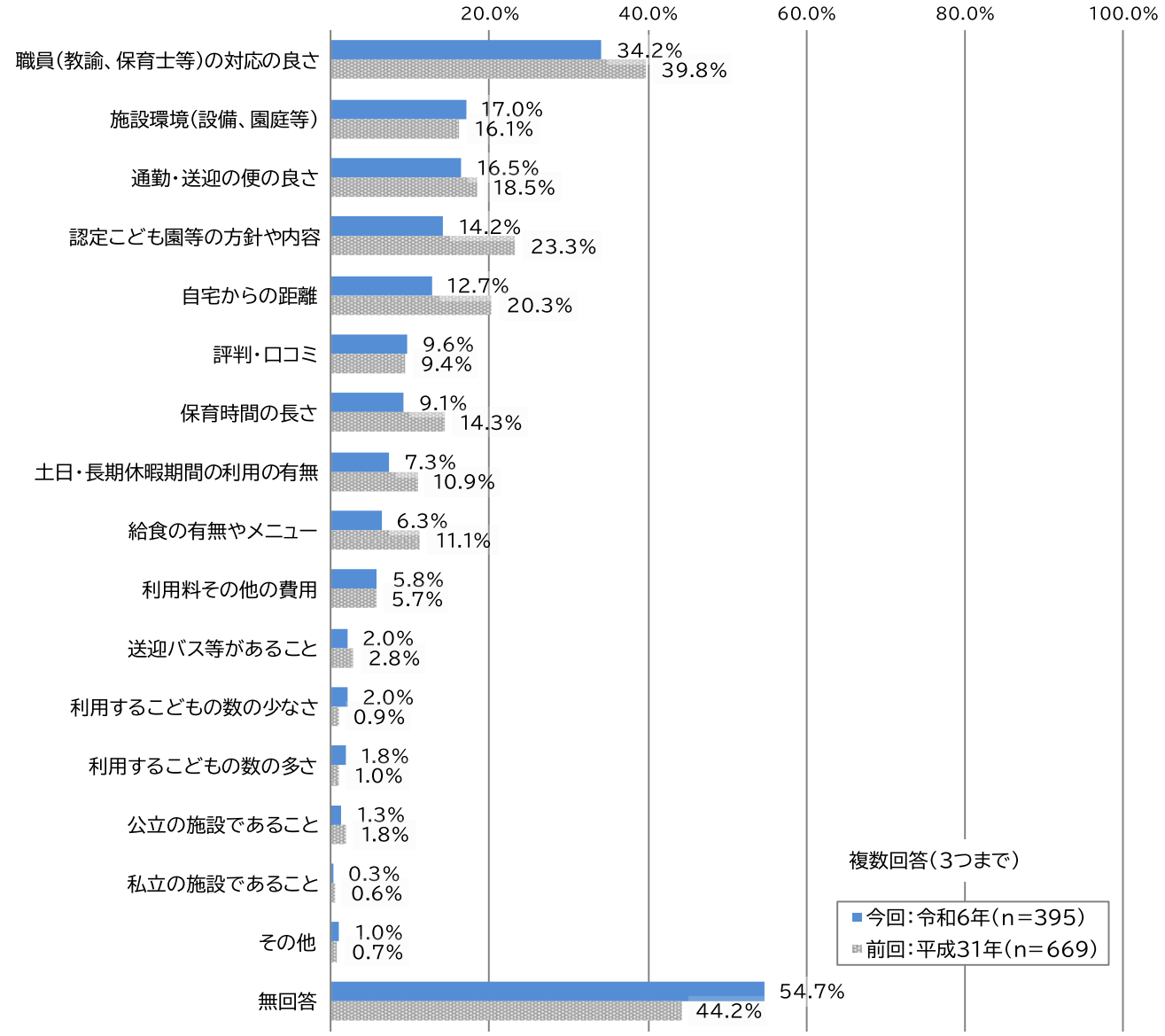
横%
［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

		(n)	はい	いいえ	無回答
全 体		(70)	58.6	35.7	5.7
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(27)	59.3	37.0	3.7
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(11)	63.6	27.3	9.1
	パート・アルバイト等で就労している	(15)	60.0	26.7	13.3
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(2)	50.0	50.0	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(13)	53.8	46.2	-

利用する施設を選ぶ際に重視したいことは、「職員の対応の良さ」が最も高く34.2%を占め、次いで「施設環境」が17.0%、「通勤・送迎の便の良さ」が16.5%となります。

割合の順位でみると、前回と比較して、「施設環境」「通勤・送迎の便の良さ」が上位に位置しており、その重視度が相対的に高まっているといえます。

問17-2. あて名のお子さんが利用する施設を選ぶ際に、重視したいことは何ですか。(3つまで○)



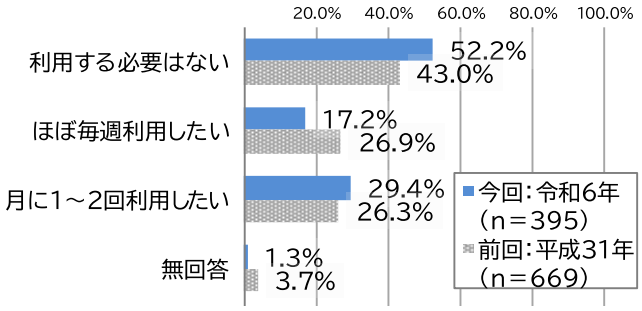
8.休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

休日の定期的なサービスの利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回利用したい」の合算でみると、土曜日では46.6%、日曜日・祝日は17.0%となっています。土曜日の利用希望は高いですが、前回と比較してやや減少しています。

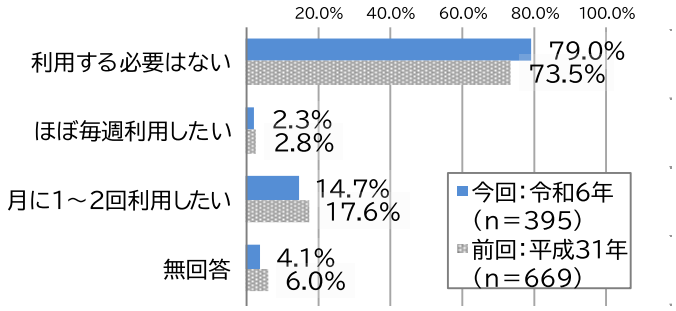
母親の就労状況別にみると、フルタイム就労者の方が、土曜日、日曜日・祝日ともに、利用希望が高くなっています。

問18. あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的なサービスの利用希望はありますか。
（一時的な利用は除きます）（1つに○）

《①土曜日》



《②日曜日・祝日》



問18. ＜母親の就労状況別＞

《①土曜日》

横% ［比率の差］全体+10ポイント 全体+5ポイント ※n＝20以上のみ		(n)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	無回答
全 体		(395)	52.2	17.2	29.4	1.3
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(193)	45.1	24.4	28.5	2.1
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(36)	52.8	11.1	36.1	-
	パート・アルバイト等で就労している	(101)	51.5	14.9	33.7	-
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(10)	70.0	-	30.0	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(49)	75.5	2.0	20.4	2.0

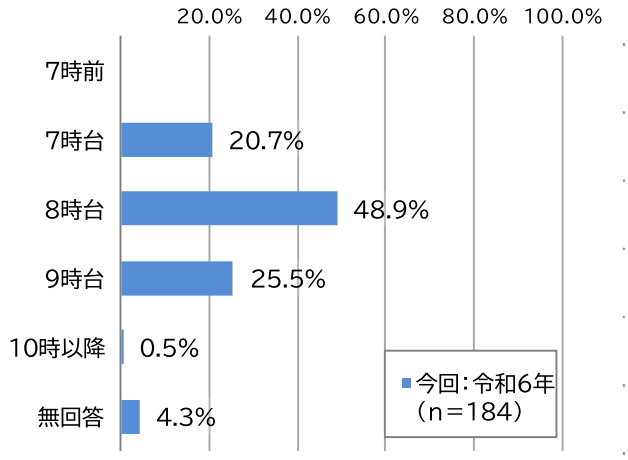
《②日曜日・祝日》

横% ［比率の差］全体+10ポイント 全体+5ポイント ※n＝20以上のみ		(n)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	無回答
全 体		(395)	79.0	2.3	14.7	4.1
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(193)	74.1	3.6	17.6	4.7
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(36)	77.8	-	19.4	2.8
	パート・アルバイト等で就労している	(101)	78.2	2.0	14.9	5.0
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(10)	90.0	-	-	10.0
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(49)	95.9	-	4.1	-

希望する利用時間帯は、土曜日、日曜日・祝日ともに開始時刻は「８時台」が最も高く、終了時刻は土曜日では「17時台」、日曜日・祝日では「18時台」が最も高い結果となっています。

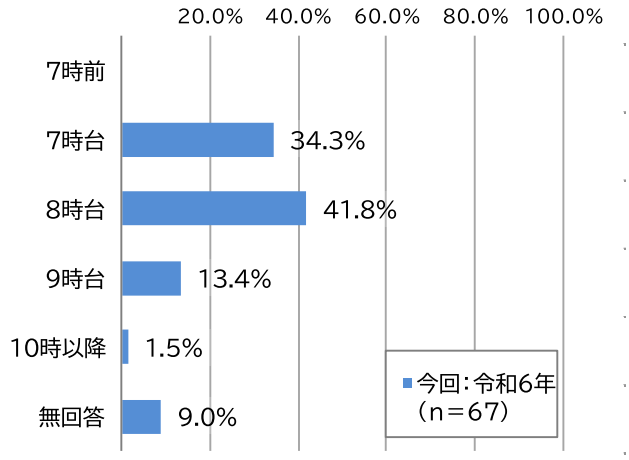
【希望する利用時間帯：開始時刻】

《①土曜日》



平均開始時刻　8時14分

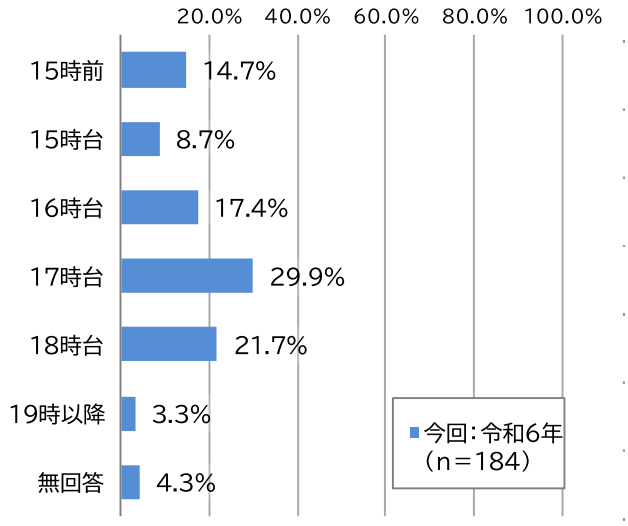
《②日曜日・祝日》



平均開始時刻　7時58分

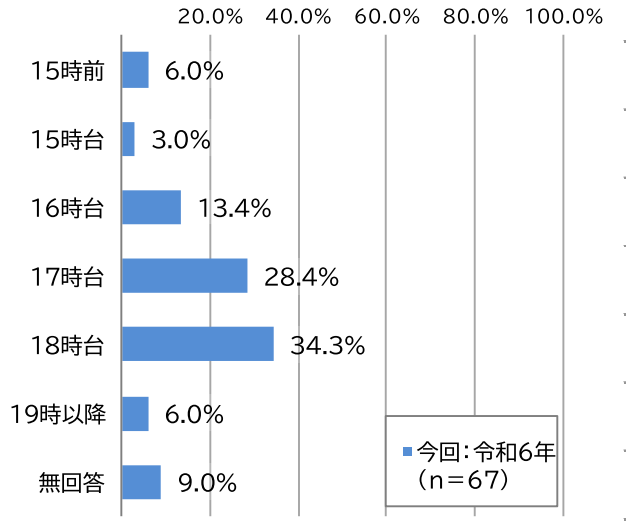
【希望する利用時間帯：終了時刻】

《①土曜日》



平均開始時刻　16時24分

《②日曜日・祝日》



平均開始時刻　17時08分

認定こども園を利用している人のうち、長期休暇期間中の預かり保育の利用希望を、「ほぼ毎週利用したい」「週に数回利用したい」の合算でみると、「利用したい」が45.4%と、前回と比較してやや減少しています。

なお、希望する開始時刻は「８時台」、終了時刻は「17時台」が最も高い結果となっています。

現在、認定こども園を利用している方にお伺いします。

問19. あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期休暇期間中の預かり保育の利用希望はありますか。
（1つに○）

	(n)	利用する必要はない	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	休みの期間中、週に数回利用したい	無回答	利用したい計
今回：令和6年	(251)	54.6	32.7	12.7		45.4%
前回：平成31年	(148)	48.6	28.4	23.0		51.4%

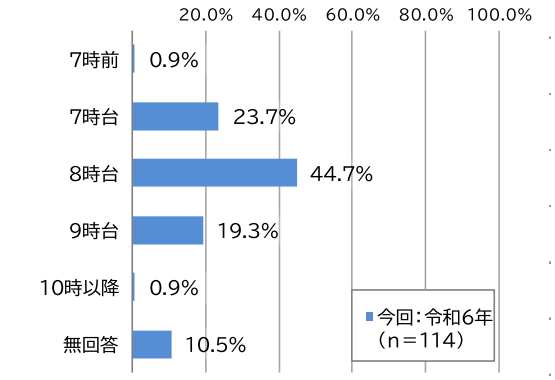
問19. ＜母親の就労状況別＞

横%

［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

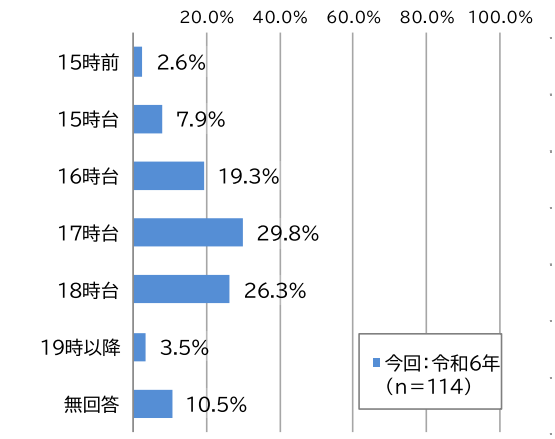
		(n)	利用する必要はない	休みの期間中、ほぼ毎日利用した	休みの期間中、週に数回利用した	無回答
全 体		(252)	54.4	32.5	12.7	0.4
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(124)	50.8	39.5	9.7	-
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(23)	65.2	30.4	4.3	-
	パート・アルバイト等で就労している	(72)	45.8	31.9	22.2	-
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(3)	33.3	66.7	-	-
	現在は就労していない×これまでに就労したことがない	(26)	88.5	3.8	7.7	-

【希望する利用時間帯：開始時刻】



平均開始時刻　8時10分

【希望する利用時間帯：終了時刻】

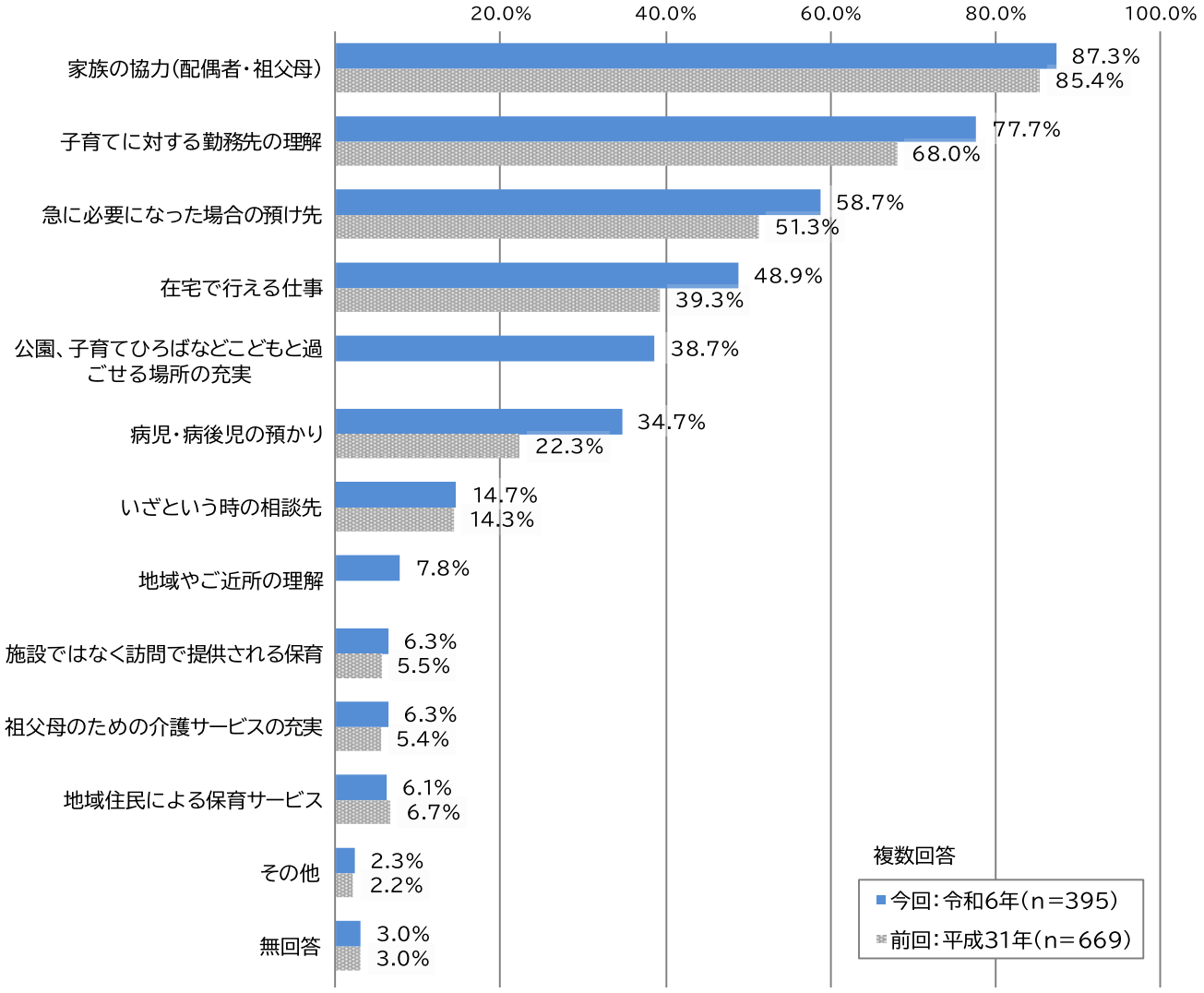


平均開始時刻　17時03分

家庭での保育を継続する、あるいは家庭保育に切り替える条件としては、「家族の協力」が87.3%と最も高く、次いで「子育てに対する勤務先の理解」が77.7%となり、前回同様、家族の協力や勤務先の理解が重要な条件として挙げられています。

すべての方にお伺いします。

問20. 家庭での保育を継続する、あるいは家庭保育に切り替える条件として必要と思われることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）



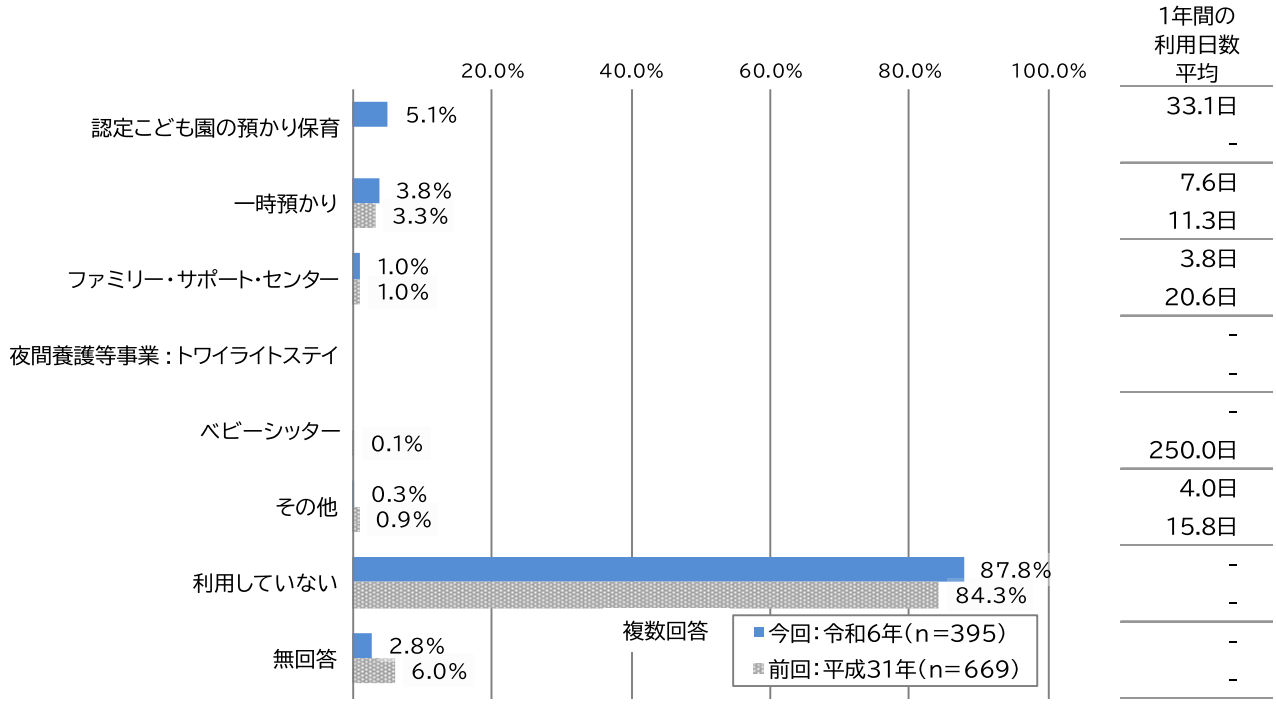
9.一時預かりについて

9-1.過去1年間に家族以外に一時的に預けたこと

不定期に利用しているサービスについては、「利用していない」が87.8%となり、前回とほぼ同様となっています。

母親の就労状況別にみると、未就労者での利用が高い傾向がうかがえ、特に「認定こども園の預かり保育」は14.1%となっています。

問21. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)



問21. ＜母親の就労状況別＞

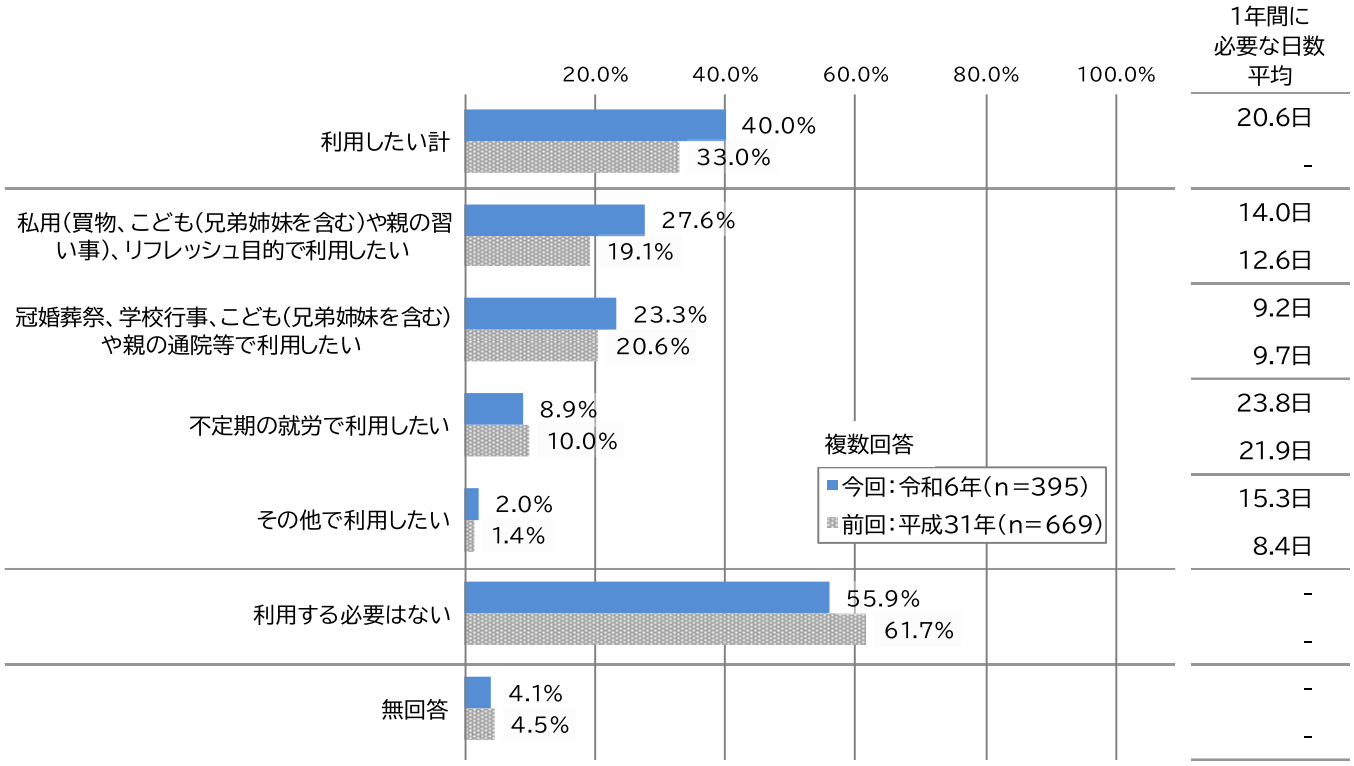
横%		(n)	認定こども園の預かり保育	一時預かり	ファミリー・サポート・センター	夜間養護等事業トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
	全 体	(395)	5.1	3.8	1.0	-	-	0.3	87.8	2.8
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(193)	2.6	3.6	1.0	-	-	-	91.7	2.1
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(36)	-	2.8	2.8	-	-	-	97.2	-
	パート・アルバイト等で就労している	(101)	6.9	3.0	-	-	-	1.0	85.1	4.0
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(10)	-	-	-	-	-	-	90.0	10.0
	現在は就労していない，これまでに就労したことがない	(49)	14.3	6.1	2.0	-	-	-	73.5	4.1

[比率の差]
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

私用、親の通院、不定期の就労等のため、こどもを家族以外の誰かに一時的に預けることができる事業について、「利用したい」が40.0%に達しており、前回と比較して増加しています。

主な目的とその必要日数は、「私用、リフレッシュ目的」が最も高く27.6%で14.0日、「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」が23.3%で9.2日となり、前回と比較して、「私用、リフレッシュ目的」が特に増加しています。

問22. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい問21のようなサービスを利用する必要があると思いますか。該当する目的を選んでください。
あわせて、必要な日数もお答えください。



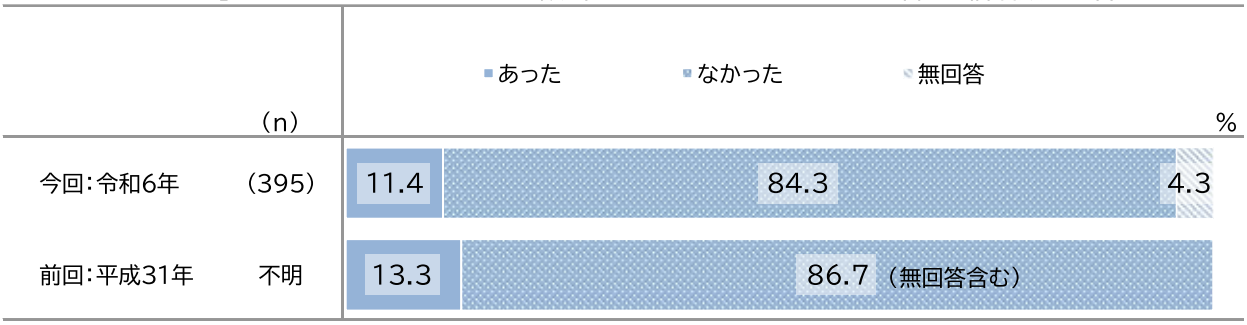
9 -2.宿泊を伴う一時預かりについて

この１年間に保護者の用事により、こどもを家族以外に泊まりがけで預けなければならなかった経験について、「あった」が11.4%となり、前回と大きく変わりありません。

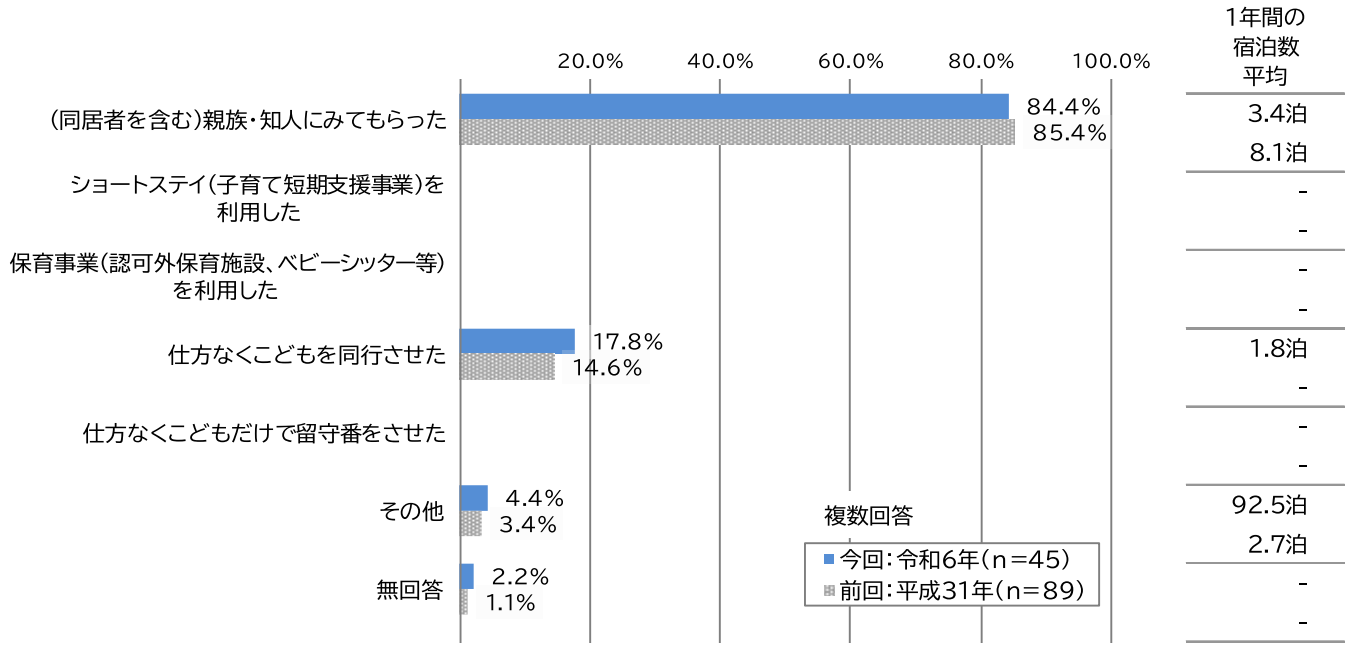
その対処方法としても、前回と同様であり、「親族・知人にみてもらった」が84.4%と大多数を占めています。

また、親族・知人に預ける際の困難度は、「非常に」「どちらかというと」を合わせると、63.2%に達しており、前回と比較して、困難度が増している傾向がうかがえます

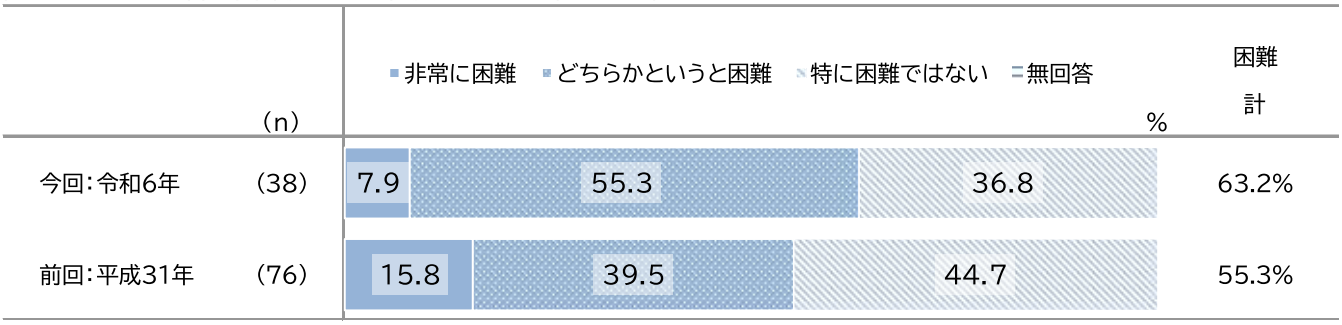
問23. この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか。（1つに○）
また、「あった」のはどのようなことですか。該当するものに○をつけ、この1年間の宿泊数もお答えください。



【あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと】



問23で「1あった①（同居者を含む）親族・知人に見てもらった」に○をした方にお伺いします。
問23-1. その場合の困難度はどの程度でしたか。（1つに○）

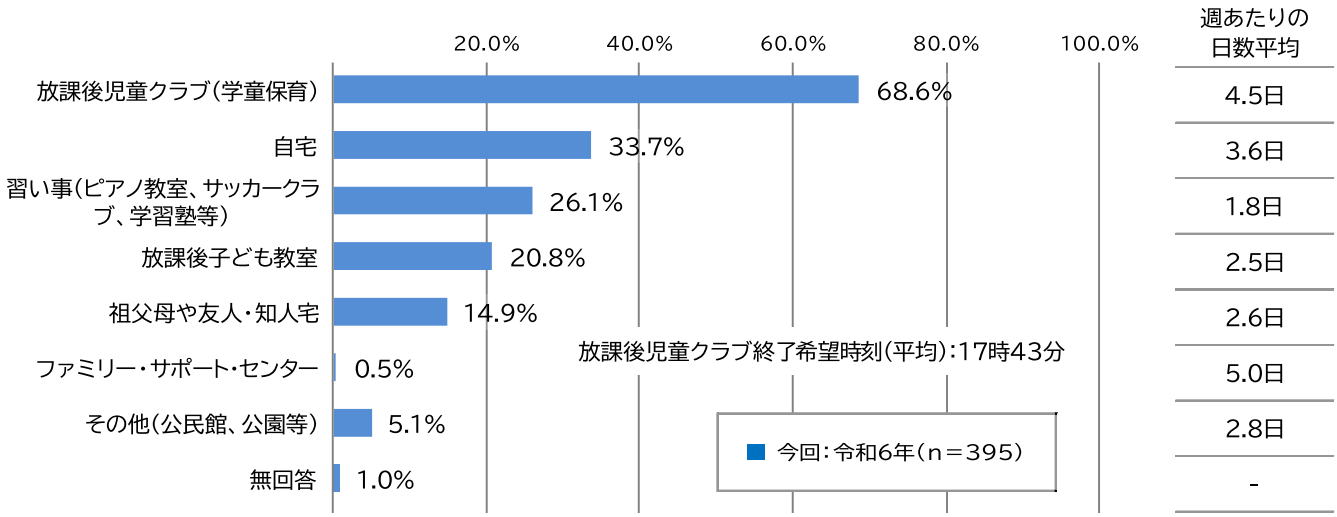


１０.小学校就学後の放課後の過ごし方について

１０-１.平日の放課後の過ごし方（低学年の時）

小学校低学年時に放課後過ごさせたい場所は、「放課後児童クラブ」が68.6%と最も高く、週あたり4.5日、次いで「自宅」が33.7%で週あたり3.6日、「習い事」26.1%、週あたり1.8日となります。

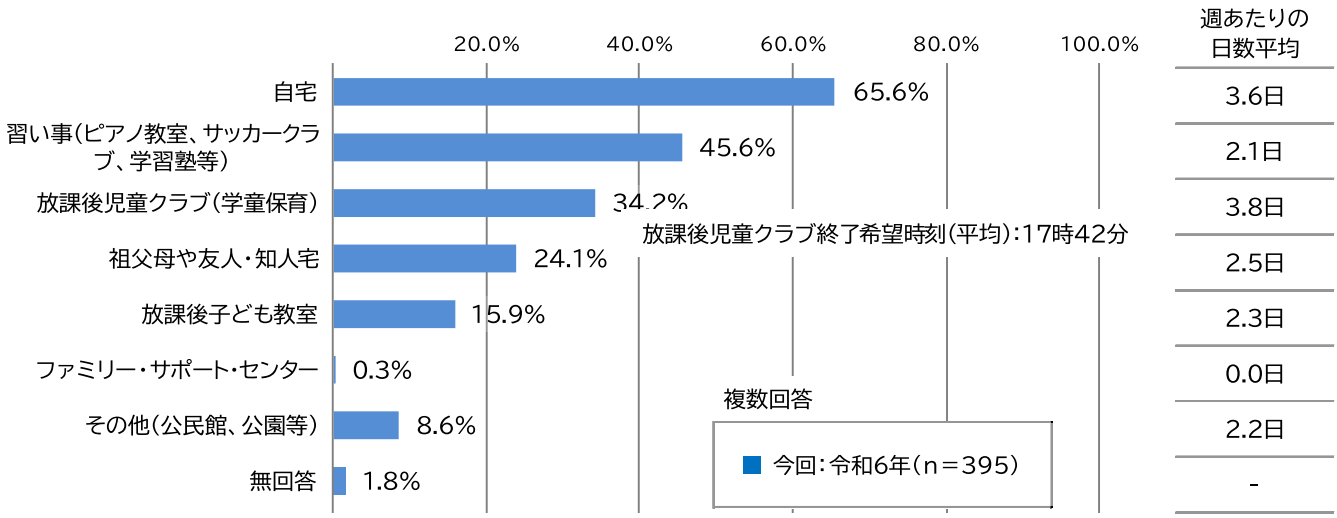
問24. あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)
・それぞれについて、週あたり日数もお答えください。
・「放課後児童クラブ(学童保育)」では、下校時から何時まですごさせたいですか。



１０-２.平日の放課後の過ごし方（高学年の時）

小学校高学年時に放課後過ごさせたい場所については、「自宅」が65.6%と最も高く、週あたり3.6日、次いで「習い事」が45.6%で週あたり2.1日、「放課後児童クラブ」が34.2%で週あたり3.8日となっています。小学生低学年時の想定と異なり、「自宅」や「習い事」で過ごさせたいと考える傾向が強くなることがうかがえます。

問25. あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校　終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)
・それぞれについて、週あたり日数もお答えください。
・「放課後児童クラブ(学童保育)」 では、下校時から何時まですごさせたいですか。



１０-３.土曜日や長期休暇期間中における放課後児童クラブの利用意向

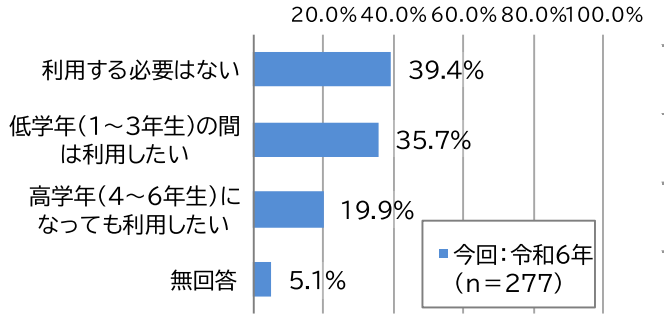
放課後児童クラブの利用意向については、土曜日では「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」を合わせると55.6%となっています。また、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中では、87.0%に達しており、こどもの長期休暇中では一層ニーズが高まることがうかがえます。

母親の就労状況別にみると、フルタイム就労者（現在休業除く）は、土曜日、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中ともに、長期的な利用意向（高学年も利用したい）がうかがえます。

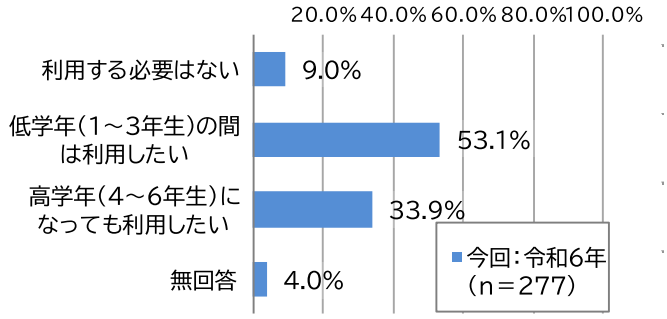
また、希望利用時間については、土曜日、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中ともに、開始時刻は「８時台」、終了時刻は「18時台」が最も高い結果となっています。

問26. あて名のお子さんについて、土曜日、夏休み・冬休み等長期休暇期間に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)

《①土曜日》



《②夏休み・冬休み等長期の休暇期間中》



問26. ＜母親の就労状況別＞

《①土曜日》

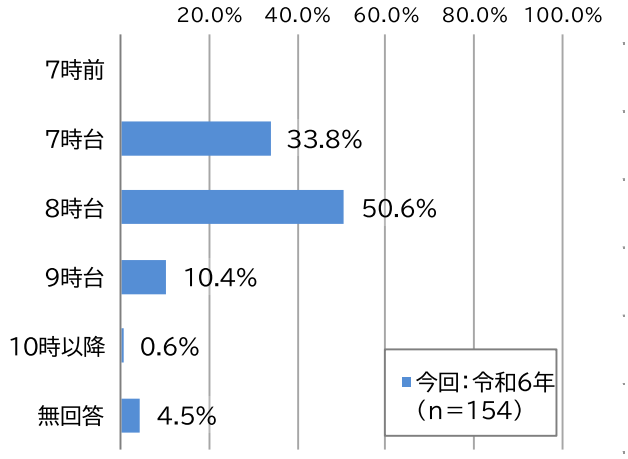
横%		(n)	利用する必要はない	低学年(1～3年生)の間は利用したい	高学年(4～6年生)になっても利用したい	無回答
[比率の差] 全体+10ポイント / 全体+5ポイント / ※n＝20以上のみ						
全 体		(277)	39.4	35.7	19.9	5.1
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(163)	35.6	36.2	26.4	1.8
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(27)	51.9	29.6	11.1	7.4
	パート・アルバイト等で就労している	(60)	43.3	38.3	11.7	6.7
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(6)	66.7	16.7	-	16.7
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(18)	27.8	38.9	11.1	22.2

《②夏休み・冬休み等長期の休暇期間中》

横%		(n)	利用する必要はない	低学年(1～3年生)の間は利用したい	高学年(4～6年生)になっても利用したい	無回答
[比率の差] 全体+10ポイント / 全体+5ポイント / ※n＝20以上のみ						
全 体		(277)	9.0	53.1	33.9	4.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(163)	8.6	51.5	38.7	1.2
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(27)	7.4	55.6	33.3	3.7
	パート・アルバイト等で就労している	(60)	10.0	55.0	28.3	6.7
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(6)	16.7	50.0	16.7	16.7
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(18)	11.1	50.0	22.2	16.7

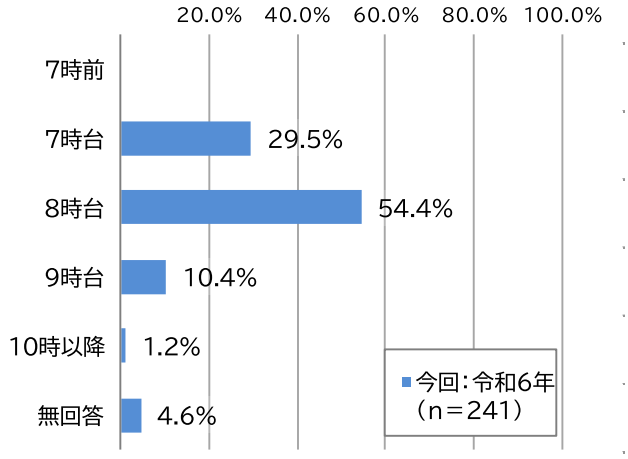
【希望する利用時間帯：開始時刻】

《①土曜日》



平均開始時刻　7時58分

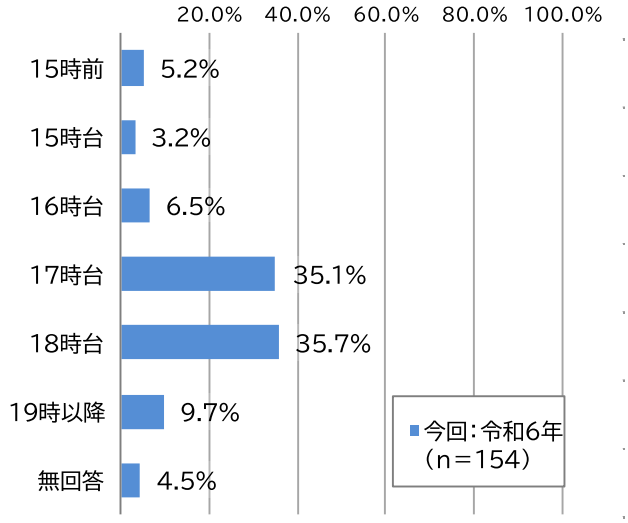
《②夏休み・冬休み等長期の休暇期間中》



平均開始時刻　8時01分

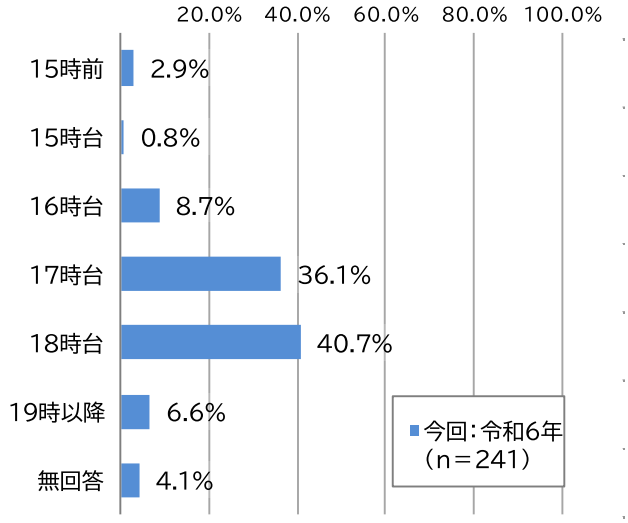
【希望する利用時間帯：終了時刻】

《①土曜日》



平均終了時刻　17時18分

《②夏休み・冬休み等長期の休暇期間中》



平均終了時刻　17時26分

１１.育児休業制度等の利用状況

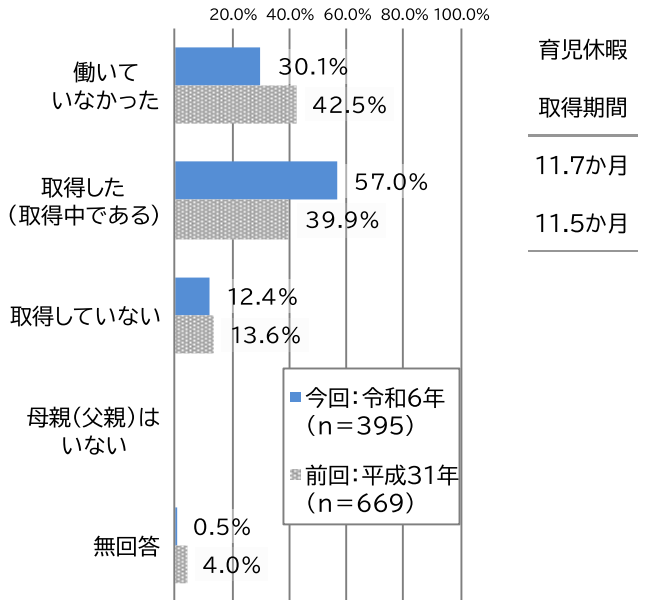
１１-１.育児休業制度の利用有無

育児休業の取得状況は、母親では「取得した（取得中である）」が57.0%、取得期間は11.7か月となっています。父親では、「取得した（取得中である）」が8.4%、取得期間も1.9か月となっています。

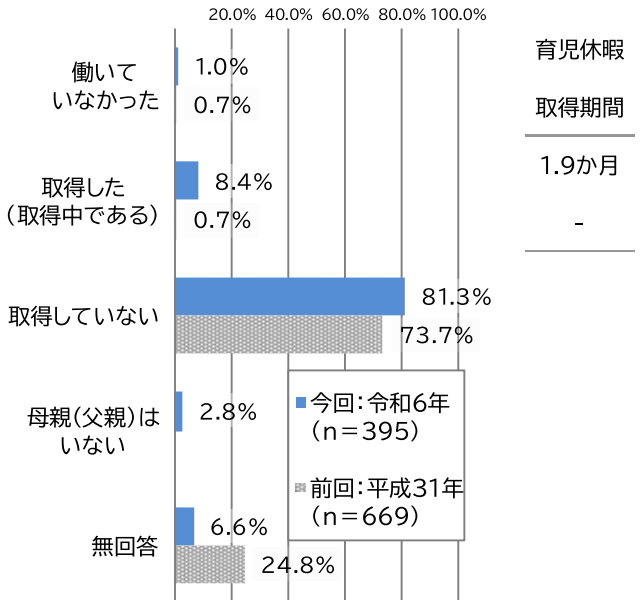
前回と比較して、母親、父親ともに取得率は大きく上昇していますが、父親の取得率は引き続き低い状況といえます。

問27. あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(1つに○)

《①母親》

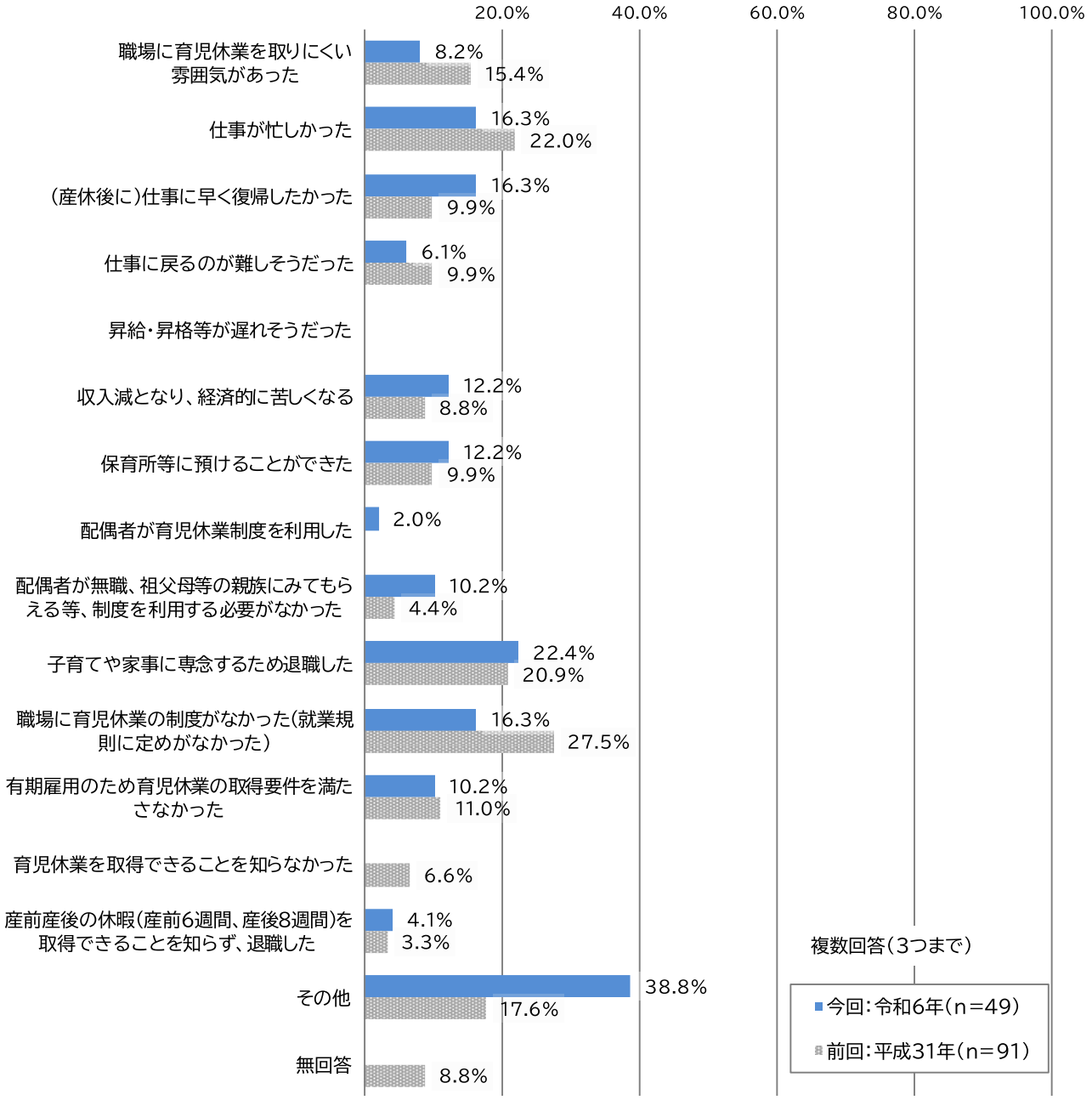


《②父親》

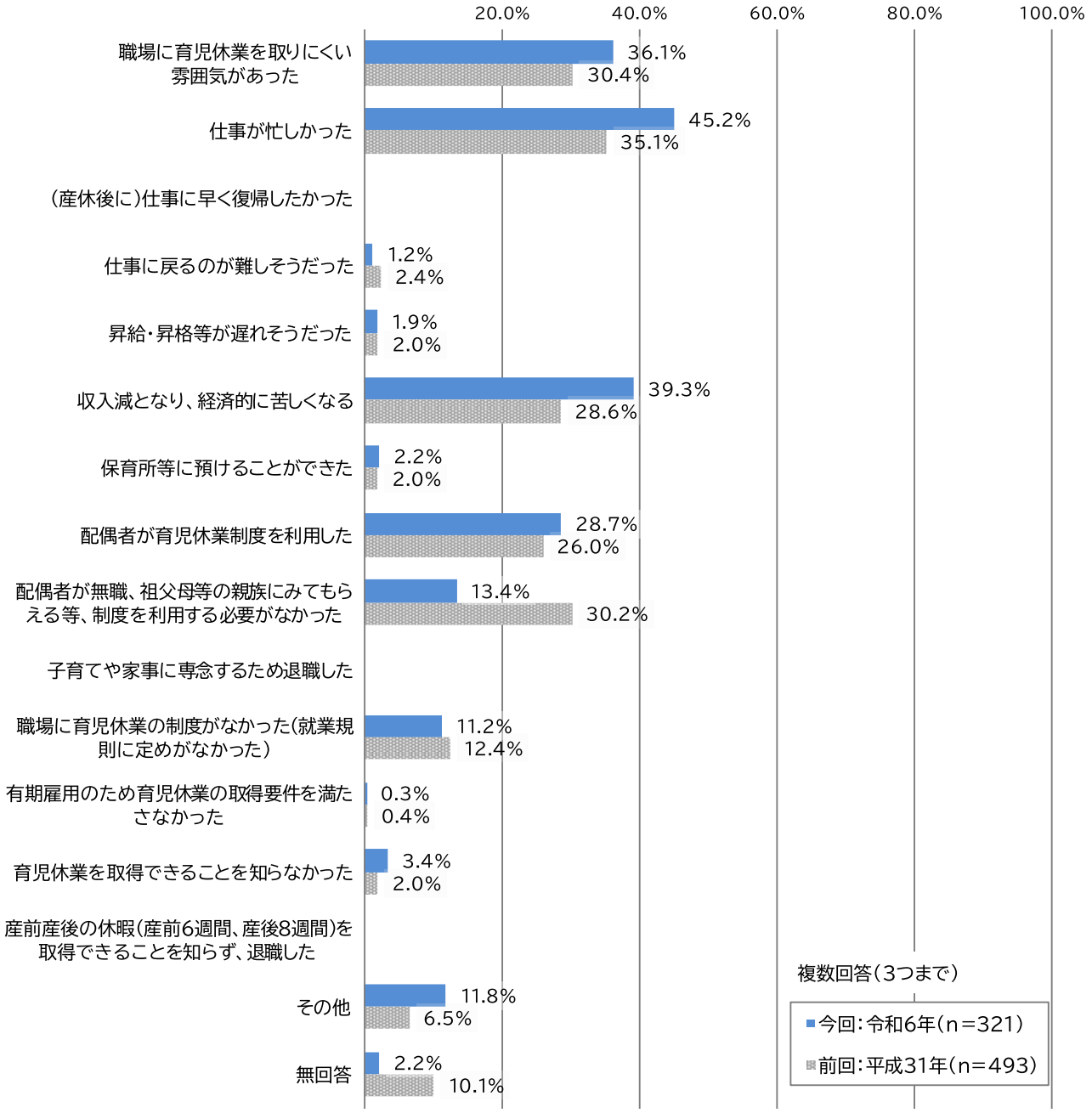


育児休業を取得しなかった理由としては、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が22.4%と高く、次いで「仕事が忙しかった」「職場に育児休業の制度がなかった」が16.3%となります。前回と比較して「職場に育児休業の制度がなかった」「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」が減少しており、育児休業制度の普及・理解が進んだことがうかがえます。一方、父親では「仕事が忙しかった」「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」とした理由が引き続き高く、男性育児休暇の必要性理解や経済支援策が重要と考えられます。

【育児休業を取得していない主な理由(3つまで)】
《①母親》



《②父親》


20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
36.1%
30.4%
仕事が忙しかった
45.2%
35.1%
(産休後に)仕事に早く復帰したかった
仕事に戻るのが難しそうだった
1.2%
2.4%
昇給・昇格等が遅れそうだった
1.9%
2.0%
収入減となり、経済的に苦しくなる
39.3%
28.6%
保育所等に預けることができた
2.2%
2.0%
配偶者が育児休業制度を利用した
28.7%
26.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった
13.4%
30.2%
子育てや家事に専念するため退職した
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
11.2%
12.4%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
0.3%
0.4%
育児休業を取得できることを知らなかった
3.4%
2.0%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
その他
11.8%
6.5%
無回答
2.2%
10.1%
複数回答(3つまで)
今回:令和6年(n=321)
前回:平成31年(n=493)

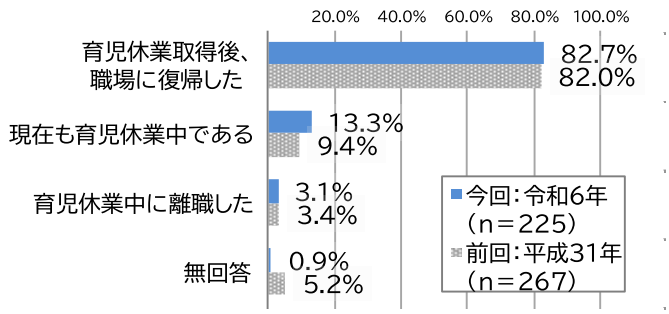
１１-２.育児休業制度取得後の対応等

母親の育児休業取得後の職場への復帰状況については、「職場に復帰した」が82.7%となり、前回と同様となります。復帰のタイミングについても、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が25.3%、「それ以外だった」が73.7%となり、前回の傾向と大きく変わりありません。

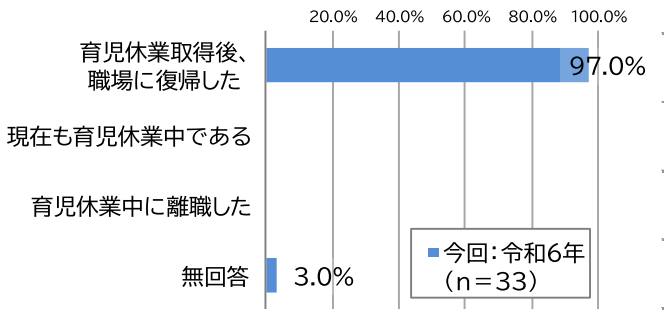
母親の職場復帰時のこどもの年齢については、［希望の時期］が平均１歳５か月に対して、［実際の時期］は平均１歳０か月となっています。「希望より早く復帰した」が54.8%と半数以上を占め、「希望の時期に復帰した」は35.5%に留まります。

問28. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)

《①母親》



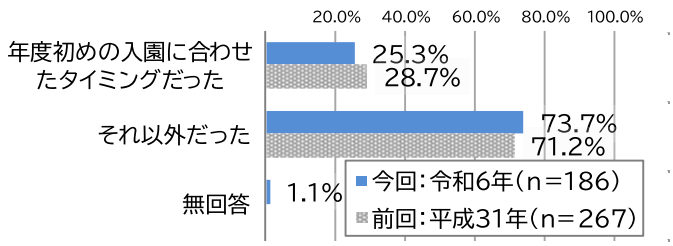
《②父親》



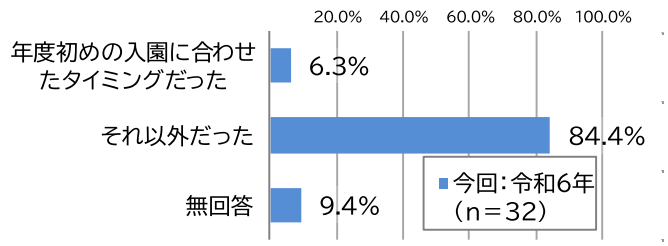
問28で「1」に○をした方にお伺いします。

問28-1. 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1つに○)

《①母親》



《②父親》



問28-2. 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

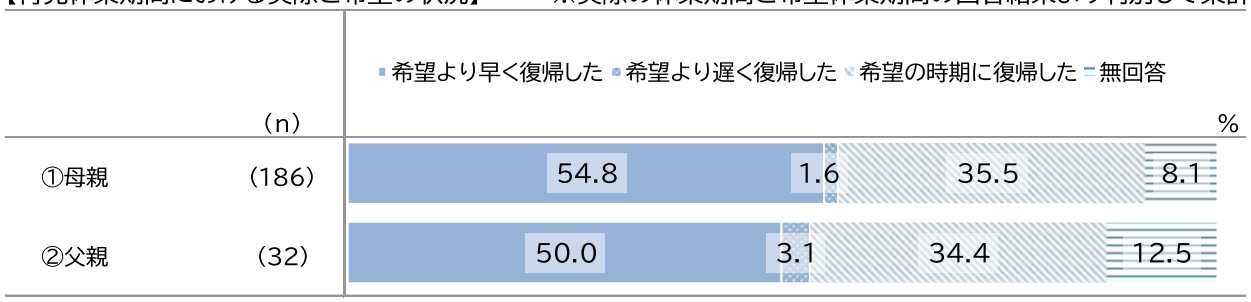
《①母親》

	(n)	実際の時期	(n)	希望の時期
今回：令和6年	(180)	1歳0か月	(172)	1歳5か月

《②父親》

	(n)	実際の時期	(n)	希望の時期
今回：令和6年	(29)	3か月	(28)	8か月

【育児休業期間における実際と希望の状況】　※実際の休業期間と希望休業期間の回答結果より判別して集計

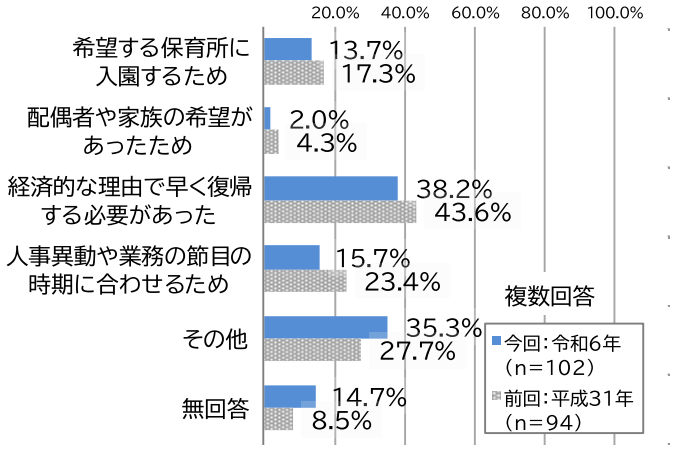


職場復帰を希望より早く復帰した理由について、母親でみると、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が38.2%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が15.7%、「希望の保育所に入園するため」が13.7%となり、前回と同様の傾向といえます。

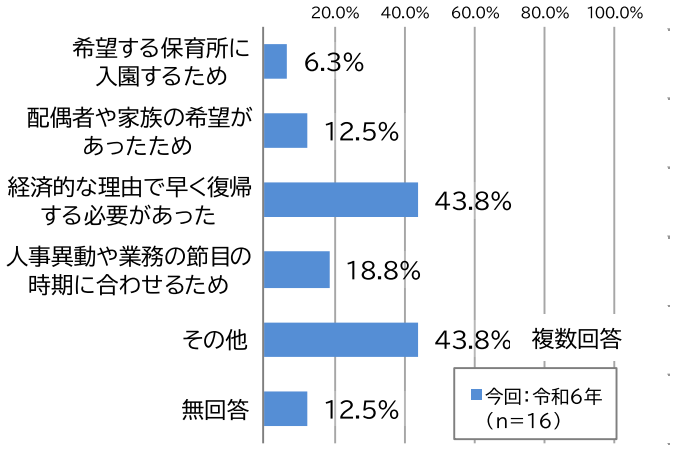
問28-2で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。
問28-3. 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)。

【(1)希望より早く復帰した理由】

《①母親》



《②父親》

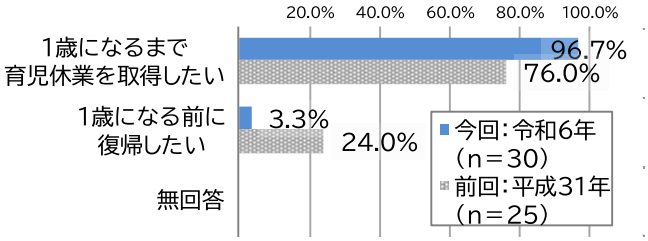


※(2)希望より遅く復帰した理由については、母親、父親ともに回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

（現在も育児休業中の保護者に対し）こどもが１歳になったときに必ず利用できる保育所等あれば、１歳になるまで育児休業を取得するかについて、母親でみると、「１歳になるまで育児休業を取得したい」が96.7%に達しており、前回と比較して大きく増加し、意識の変化がうかがえます。

問28で「2. 現在も育児休業中である」に〇をした方にお伺いします。
問28-4. お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。
または、預けられる保育所等があっても1歳になる前に復帰しますか。（1つに〇）

《①母親》



《②父親》

※　回答が少なく、掲載を割愛しています。

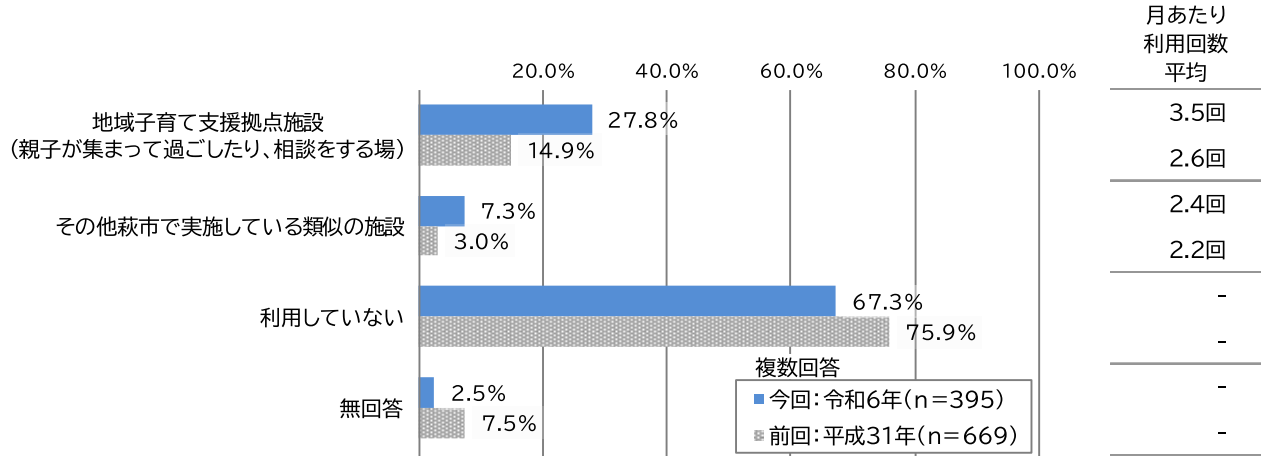
１２.「子育てセンター」等の利用状況

１２-１.利用状況と利用していない理由

「地域子育て支援拠点施設」を利用している人は27.8%、月あたりの利用回数が平均3.5回となり、前回と比較して大きく増加しており、浸透度が高まっていることがうかがえます。

こどもの年齢別にみると、特に0～1歳のこどもがいる保護者の利用が高くなっています。

問30. あて名のお子さんは現在、地域子育て支援拠点施設を利用していますか。次の中から、利用している施設すべてお選びください。（あてはまるものすべてに○） また、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。



問30. ＜こもの年齢別＞

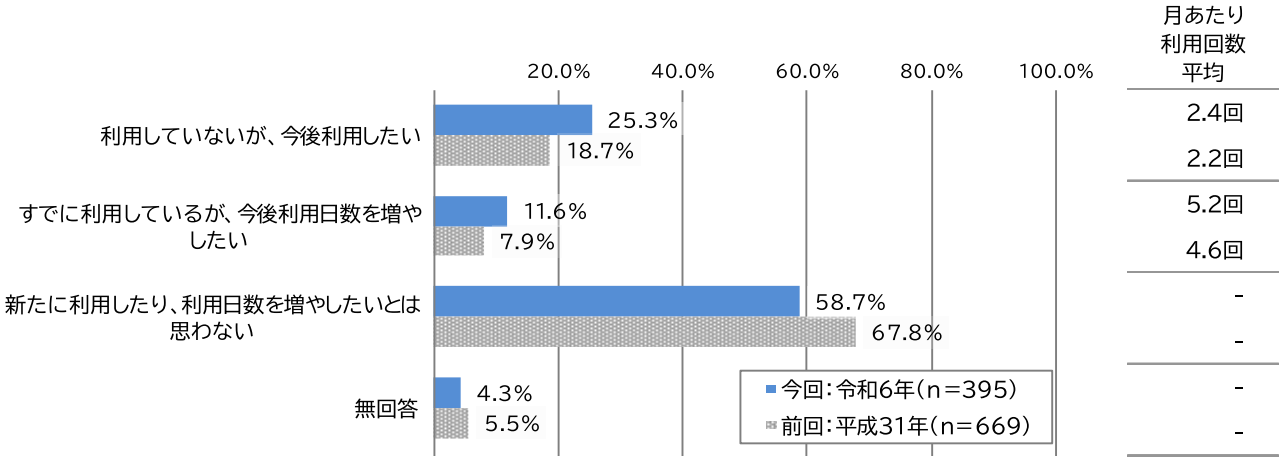
横%		(n)	地域子育て支援拠点施設（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）	その他萩市で実施している類似の施設	利用していない	無回答
	全 体	(395)	27.8	7.3	67.3	2.5
子どもの年齢別	0歳	(23)	34.8	21.7	60.9	-
	1歳	(58)	37.9	10.3	58.6	1.7
	2歳	(57)	29.8	8.8	63.2	5.3
	3歳	(54)	25.9	3.7	72.2	1.9
	4歳	(67)	31.3	4.5	64.2	1.5
	5歳・6歳	(131)	20.6	6.1	74.0	2.3

［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

１２-２.今後の利用希望等

地域子育て支援拠点施設における今後の利用希望については、「今後利用したい」「今後利用回数を増やしたい」をあわせると36.9%となっています。こちらも前回を大きく上回る結果となり、支援拠点施設の貢献度の高さがうかがえます。

問31. 地域子育て支援拠点施設について、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いますか。(1つに○) また、おおよその利用回数(頻度)をお答えください。

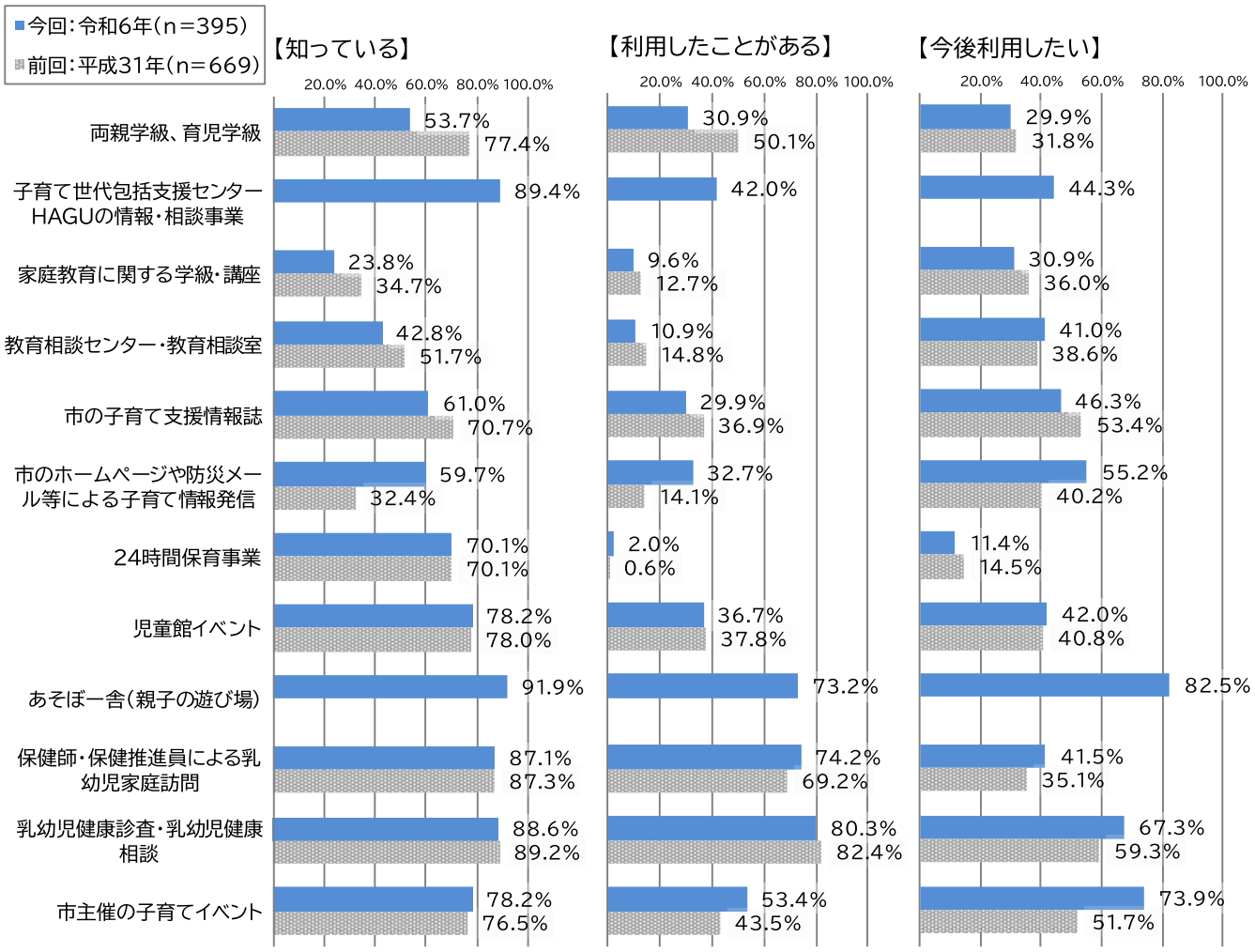


１３.子育て支援サービスの認知状況・利用状況

各事業の認知率について、その多くが半数を超えている状況となります。特に「あそぼー舎」は91.9%と高く、利用経験や今後の利用意向の高さからも、非常に支持の高い事業であることがうかがえます。一方、「家庭教育に関する学級・講座」「教育相談センター・教育相談室」の２事業に関しては、認知率が半数以下となり、利用経験も低い状況となっています。ただし、今後の利用意向では、２事業ともに30%を超えており、改めて周知していくことで利用者の増加が見込めると考えられます。

前回との比較でみると、「市のホームページや防災メール等による子育て情報発信」では、認知、利用経験、利用意向すべてにおいて大きく増加しています。

問32. 下記の事業で知っているものやこれまでに利用したことがあるもの、今後利用したいともうものをお答えください。事業ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかをお答えください。（1つに○）



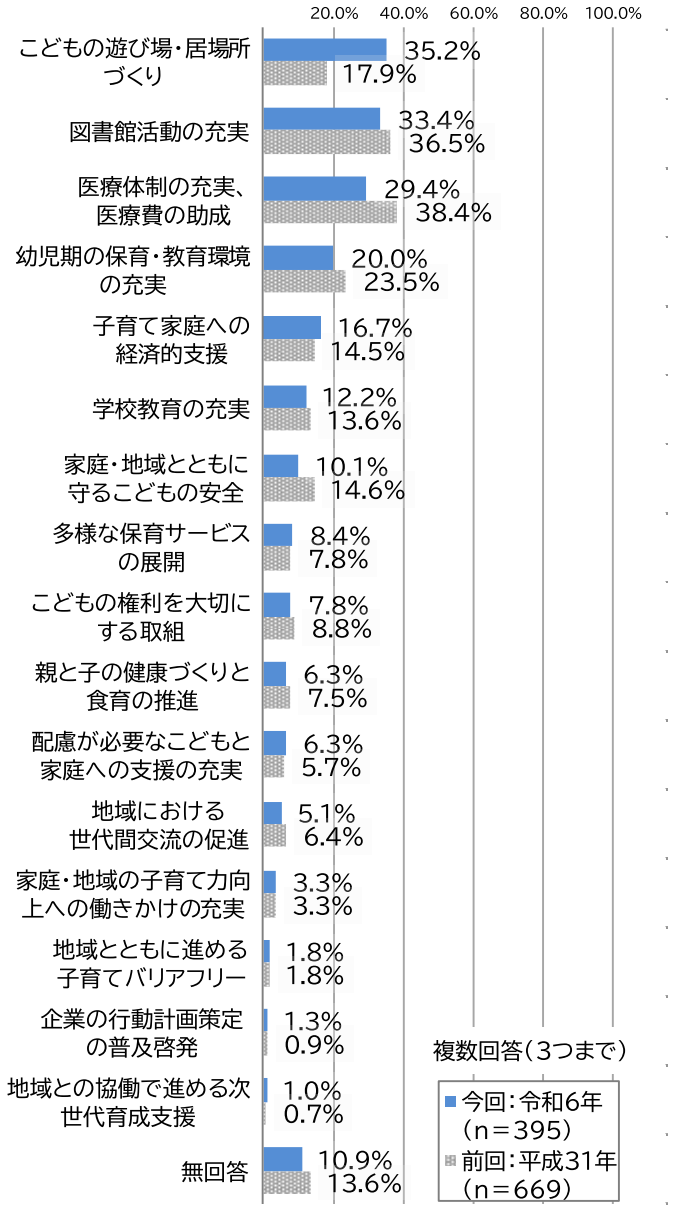
１４. 子育て支援策に対する満足度・重要度

子育て支援策に対する満足度は、「こどもの遊び場・居場所づくり」が前回と比較して大きく増加し、35.2%と最も高く、次いで「図書館活動の充実」が33.4%、「医療体制の充実、医療費の助成」が29.4%となります。

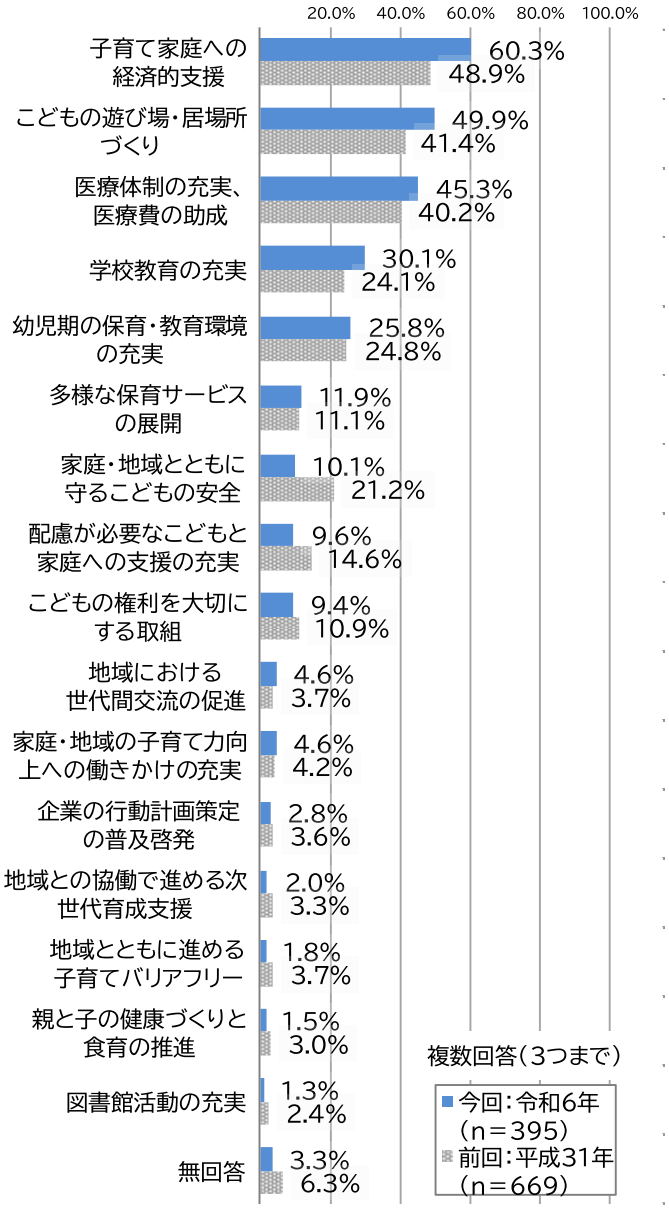
重要度では、「子育て家庭への経済的支援」が60.3%と最も高く、次いで「こどもの遊び場・居場所づくり」が49.9%、「医療体制の充実、医療費の助成」が45.3%となっています。

問33. 萩市の子育て支援策について、あなたの「満足度」が高いと思われる項目について、今後の「重要度」が高いと思われる項目について、3つを上限にお答えください。（それぞれ3つまで○）

【①満足度】



【②重要度】

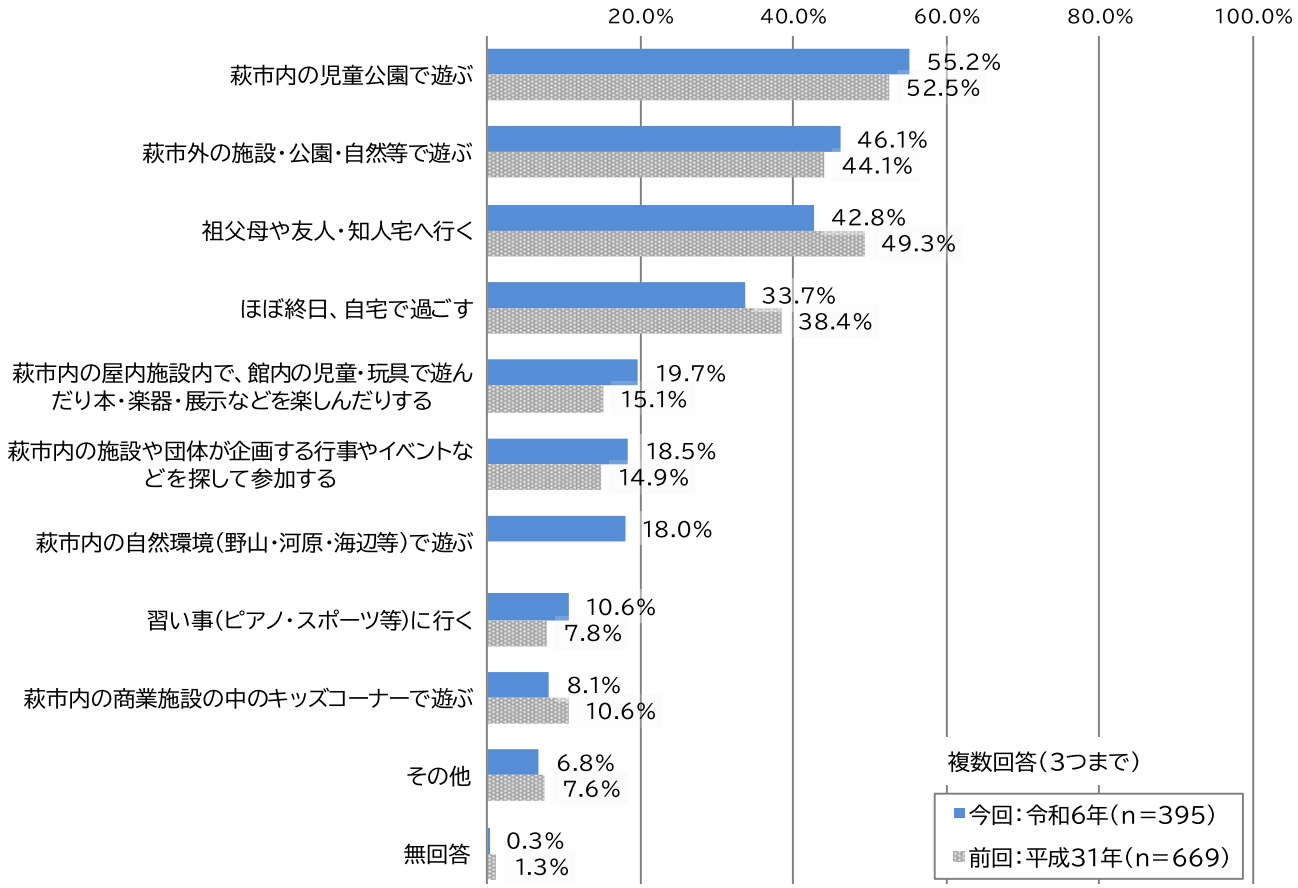


１５.土日や休日の過ごし方

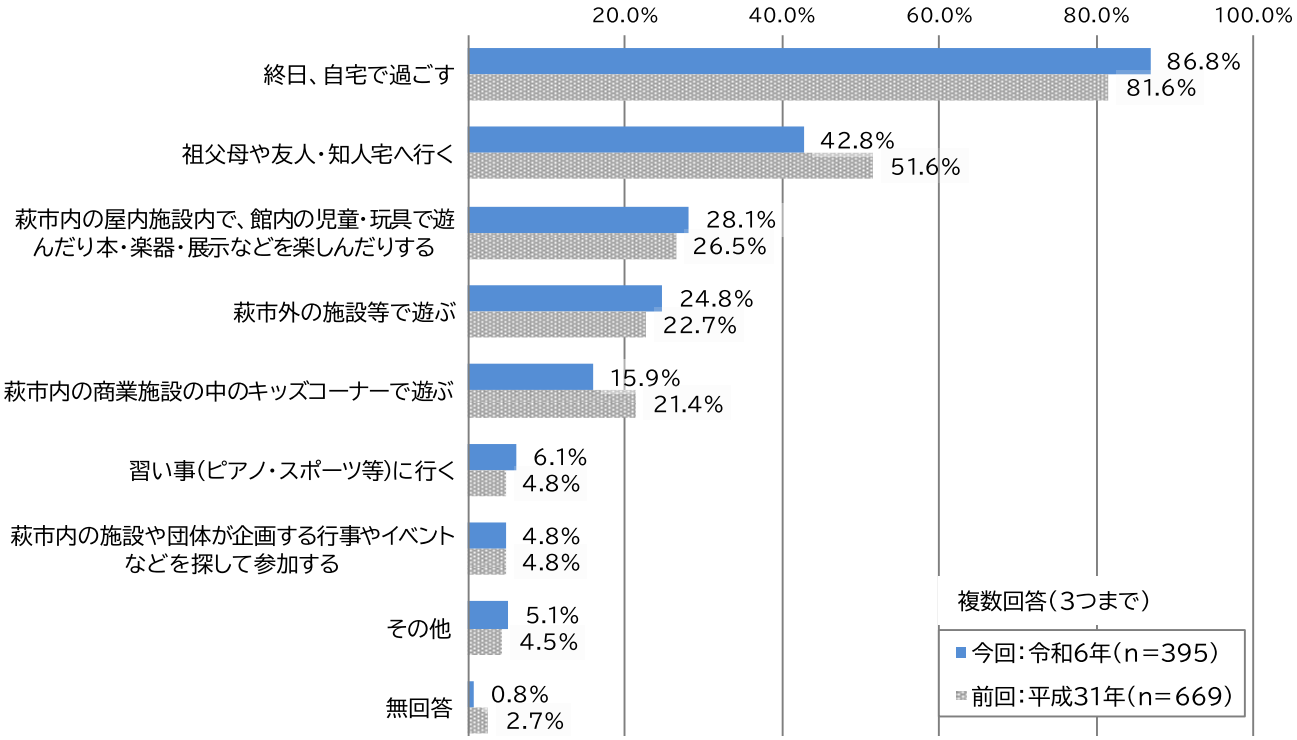
土日、休日の気候のよいときのこどもの過ごし方は、「萩市内の児童公園で遊ぶ」が55.2%と最も高く、次いで「萩市外の施設・公園・自然等で遊ぶ」が46.1%、「祖母や友人・知人宅に行く」が42.8%となります。前回と比較して、「祖父母や友人・知人宅へ行く」「ほぼ終日、自宅で過ごす」などが減少しており、家遊びではない活動が増加している傾向がうかがえます。

一方、気候がよくないときの過ごし方は、「終日、自宅で過ごす」が86.8%と最も高く、次いで「祖父母や友人・知人宅へ行く」が42.8%となっています。前回と比較して、「終日、自宅で過ごす」がやや増加している一方、「祖父母や友人・知人宅へ行く」が減少しています。

問34. あて名のお子さんは、土日や休日など、気候のよい時は、どのように過ごしていますか。（3つまで○）

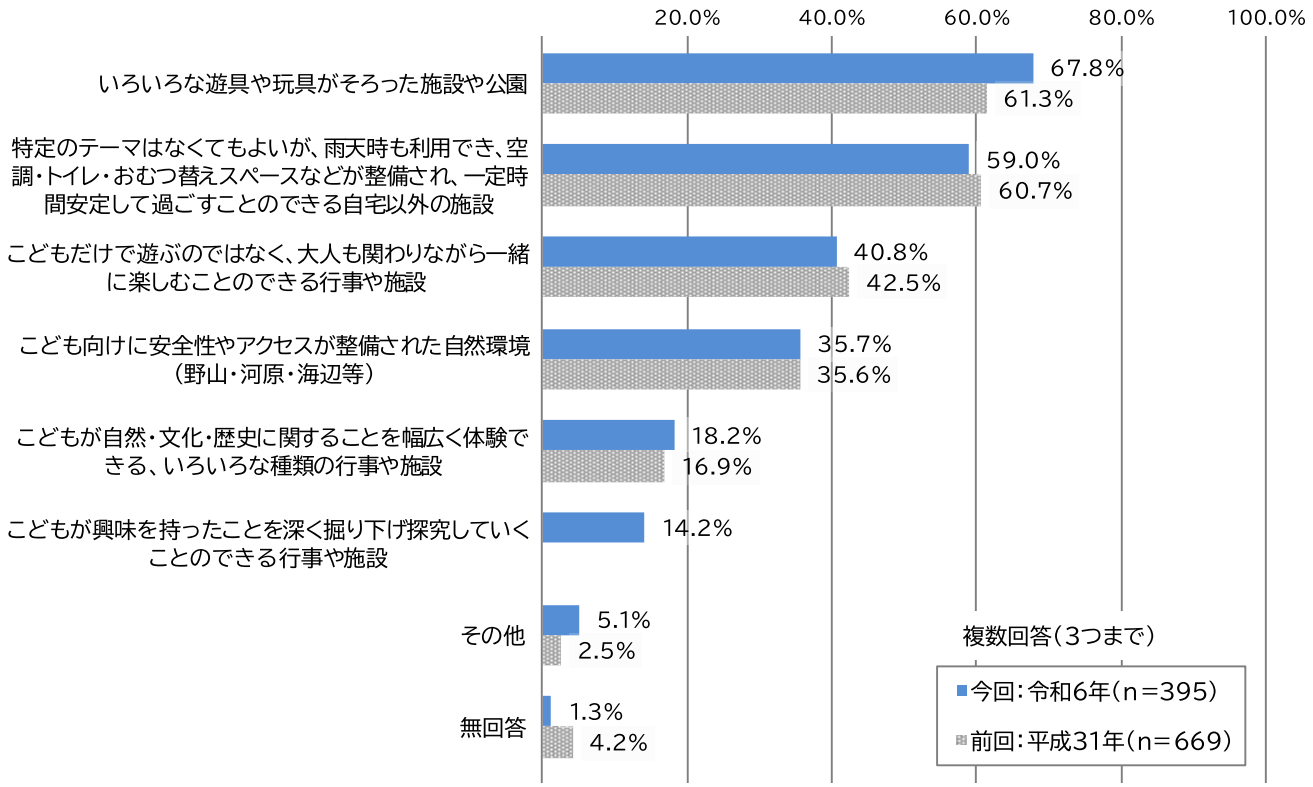


問35. あて名のお子さんは、土日や休日など、気候がよくない時(雨天や暑い日など)は、どのように過ごしていますか。
(3つまで○)



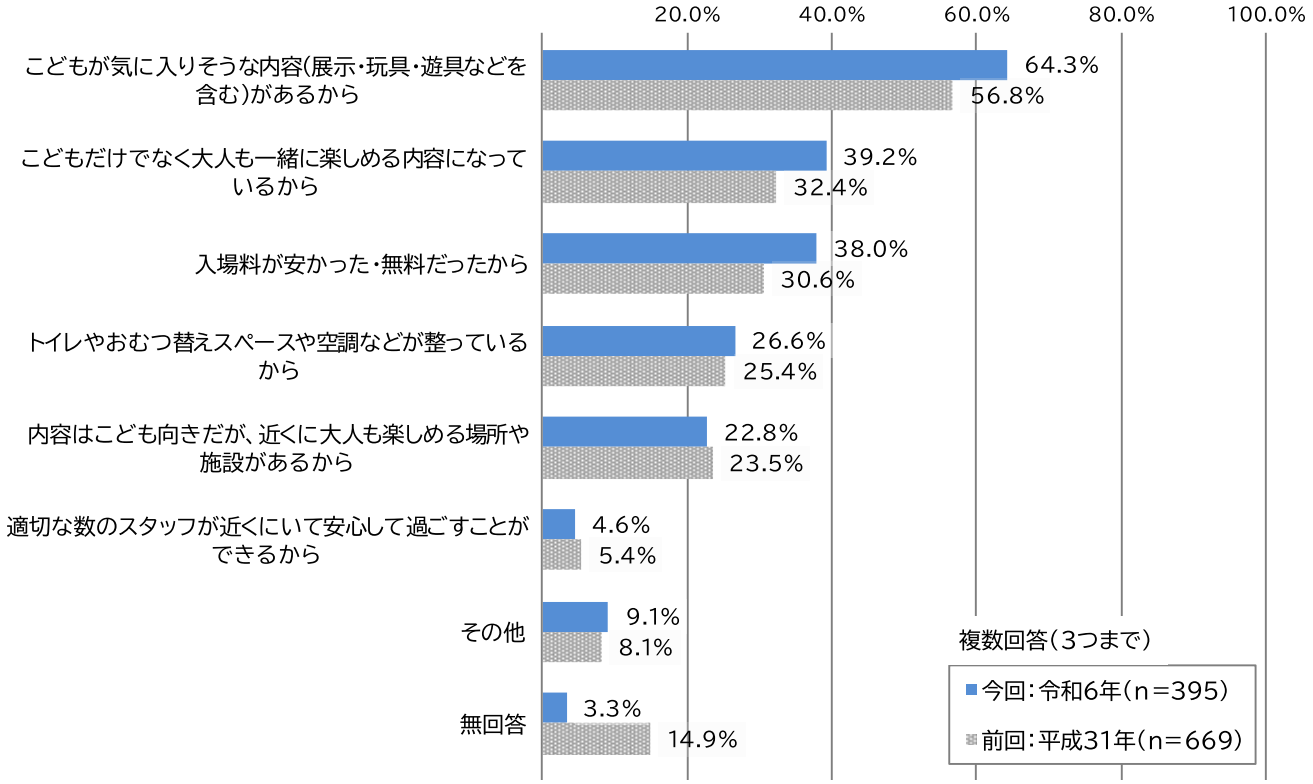
土日や休日などに、萩市内にあればいいと思うものについては、前回と同様、「いろいろな遊具や玩具がそろった施設や公園（67.8%）」、「特定のテーマはなくてもよいが、雨天時も利用でき…一定時間安定して過ごすことのできる自宅以外の施設（59.0%）」の高さが目立つ結果となっています。

問36. 土日や休日などに、萩市内にどのようなものがあればいいと思いますか。(3つまで○)



萩市外の児童の遊び場がよく利用される理由については、「こどもが気に入りそうな内容があるから」が64.3%と最も高く、次いで「こどもだけでなく大人も一緒に楽しめる内容になっているから」が39.2%、「入場料が安かった・無料たったから」が38.0%となっています。これらの理由は前回も上位を占めており、傾向は大きく変わりありません

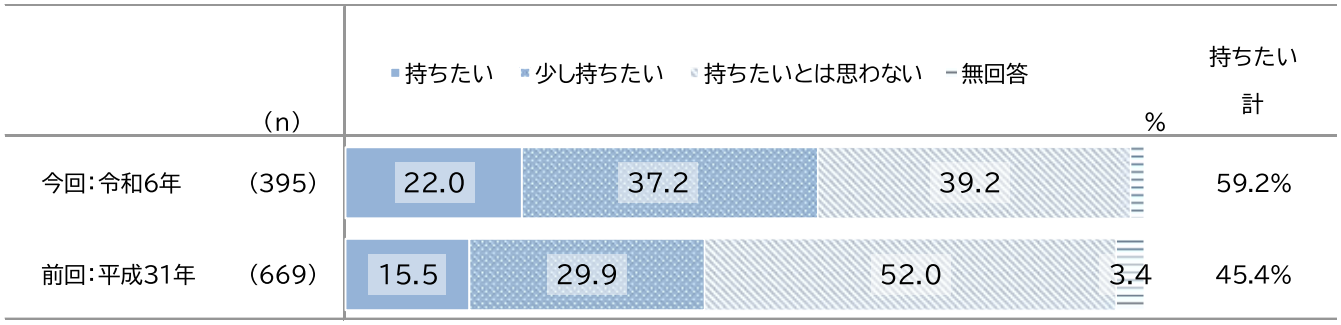
問37. 萩市外の児童の遊び場がよく利用される理由は何ですか。(3つまで○)



１６.幼児教育・保育の無償化について

幼児教育・保育の無償化により、「こどもをさらに持ちたい」と答えた人は59.2%となり、前回と比較して、出産や子育てに対して前向きな姿勢を持つ保護者が増加しています。

問38. 幼児教育・保育の無償化により、こどもをさらに持ちたいと思いますか。(1つに○)



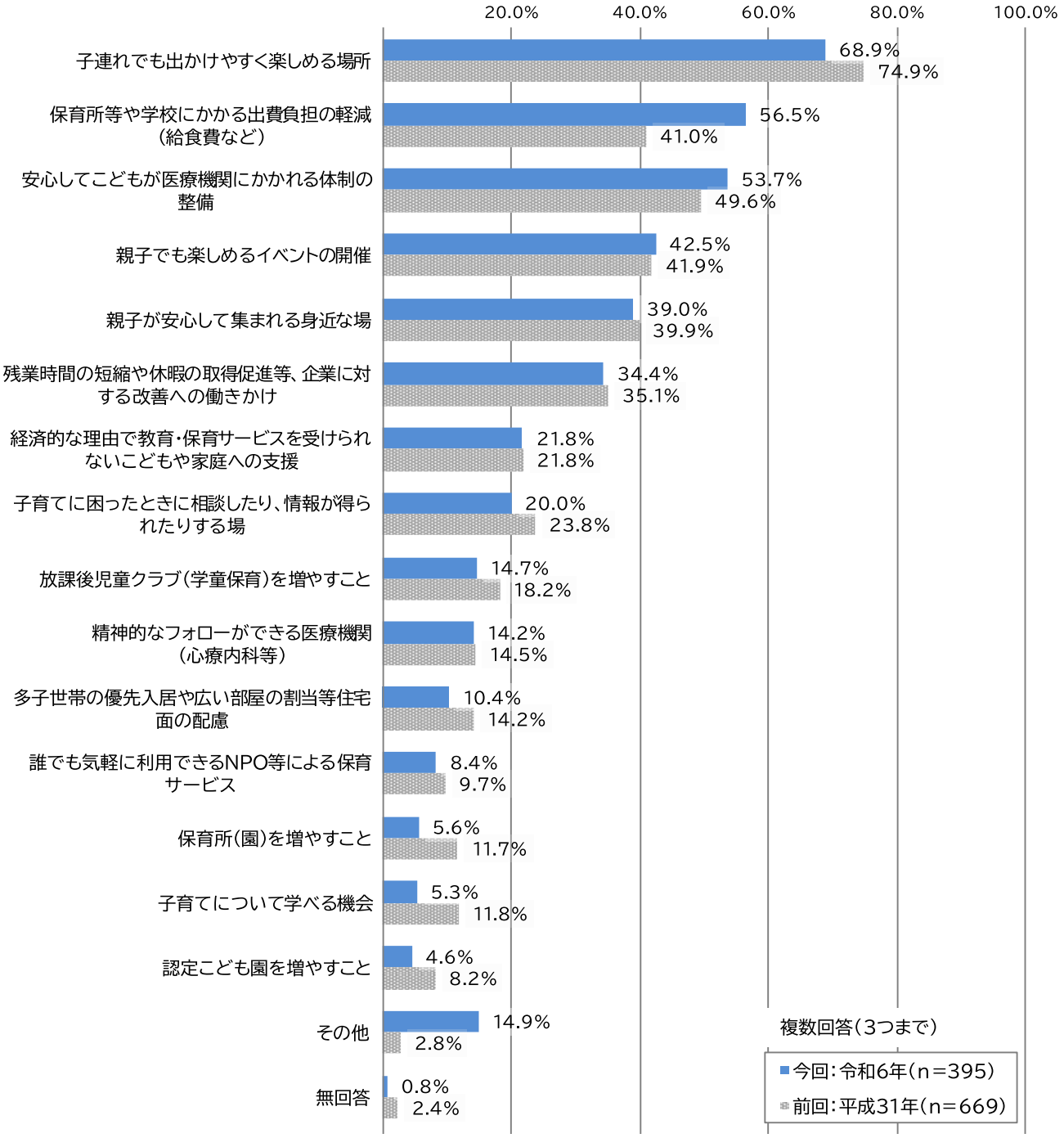
(注)2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

１７.子ども・子育て施策について

子育て施策として萩市に充実を図ってほしいこととしては、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」が68.9%と最も高く、次いで「保育所等や学校にかかる出費負担の軽減」が56.5%、「安心してこどもが医療機関にかかれる体制の整備」が53.7%となっています。

前回と比較して、「保育所等や学校にかかる出費負担の軽減」が増加しています。

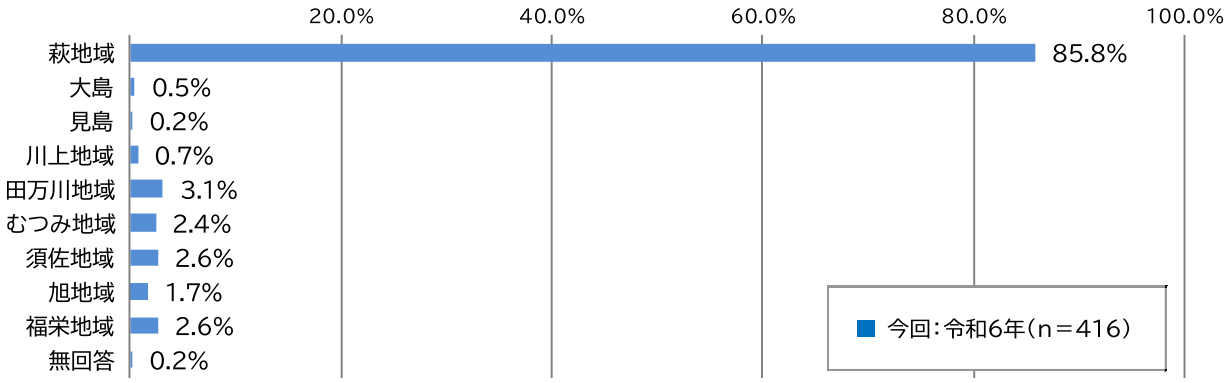
問39. 萩市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。(あてはまるものすべてに○)



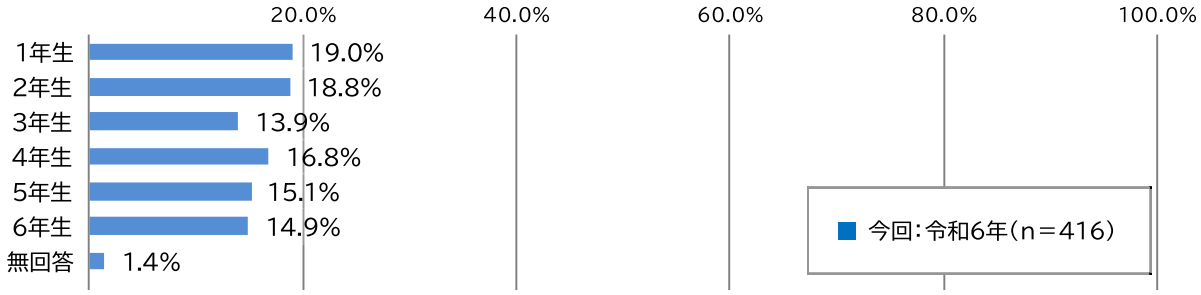
Ⅲ 小学生児童調査結果

1.対象者および保護者の特性

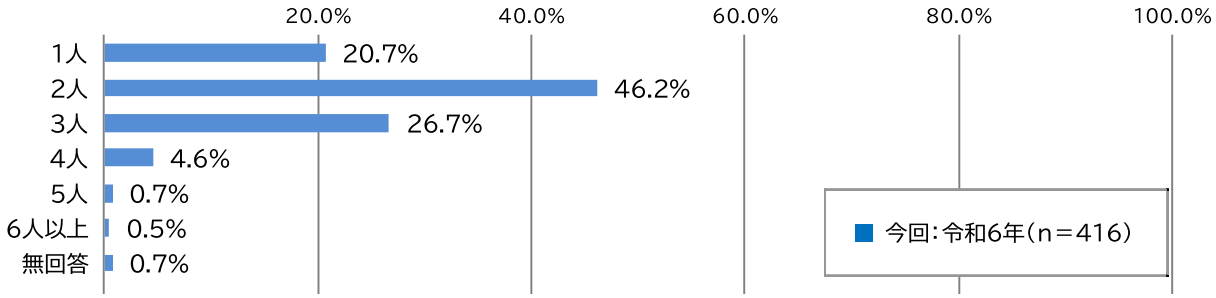
問1. お住まいの小学校区を教えてください。(1つに〇)



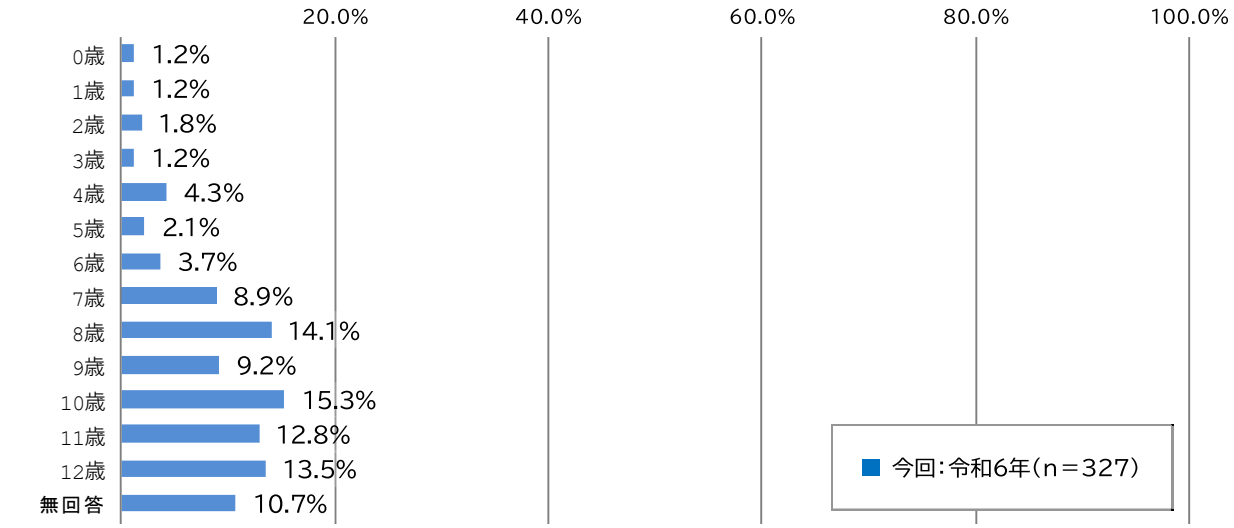
問2. あて名のお子さんの年齢をお答えください。(1つに〇) ※生年月より算出(令和6年3月時点)



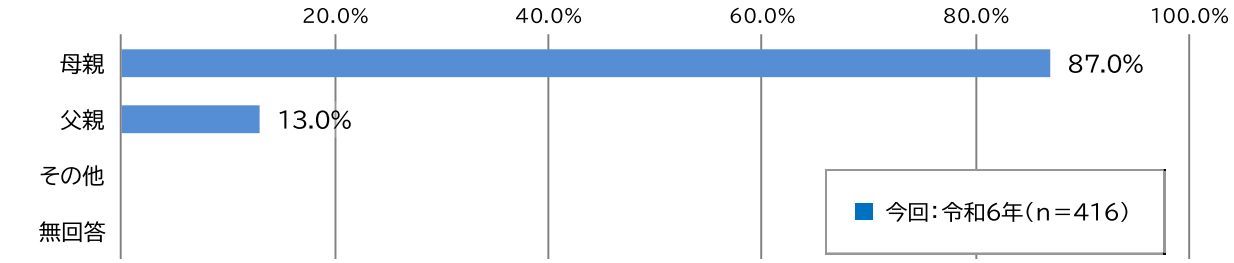
問3. あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。(1つに〇)



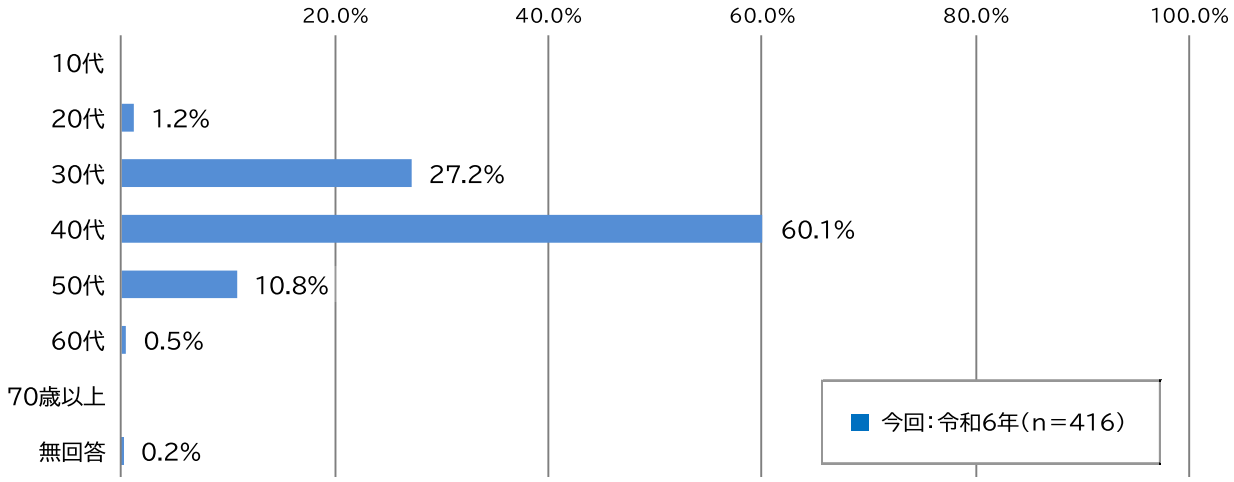
問3-1. お子さんが2人以上おられる場合、末子の年齢をお答えください。



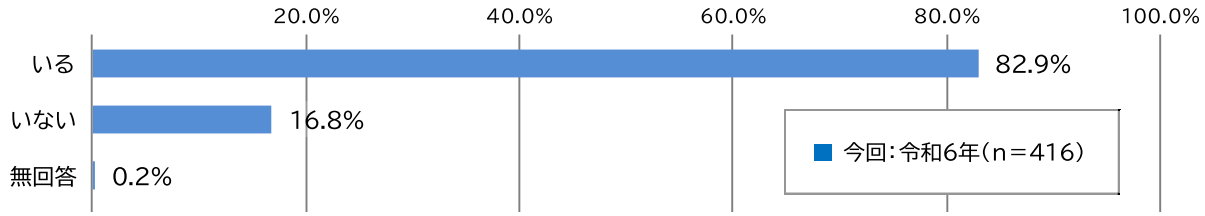
問4. あて名のお子さんからみて、あなたの続柄は何ですか。（1つに○）



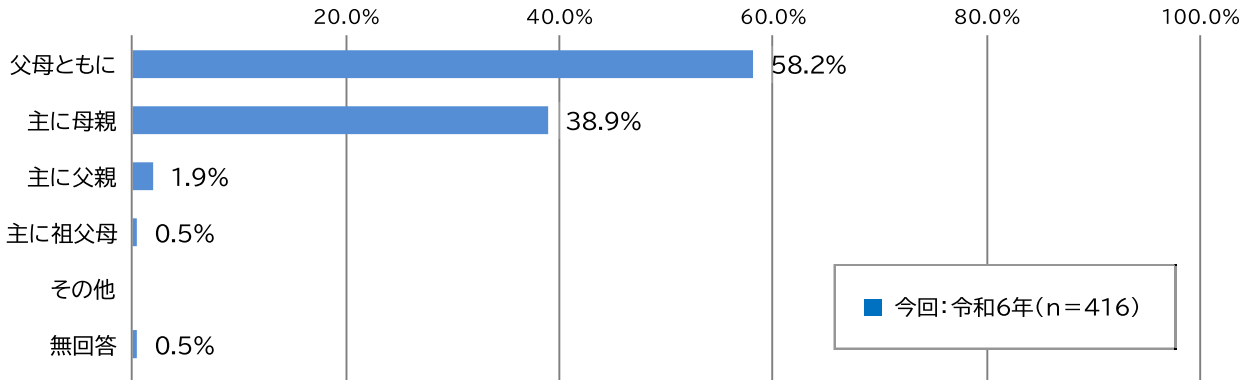
問5. あなたの年齢をお答えください。（1つに○）



問6. あなたに配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



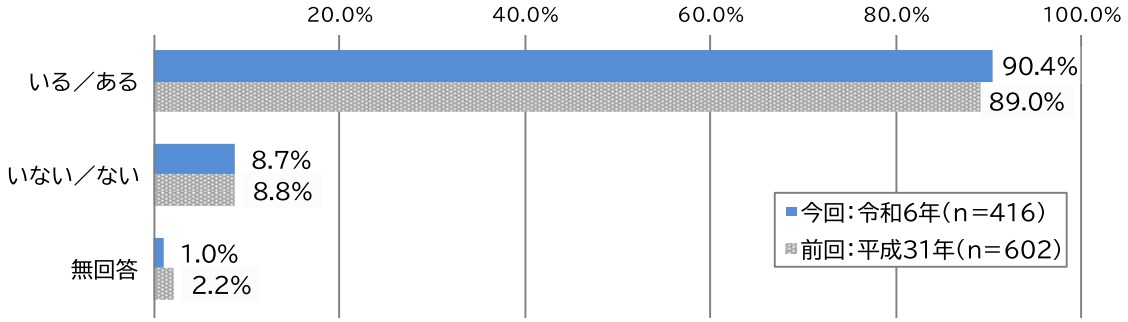
問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)



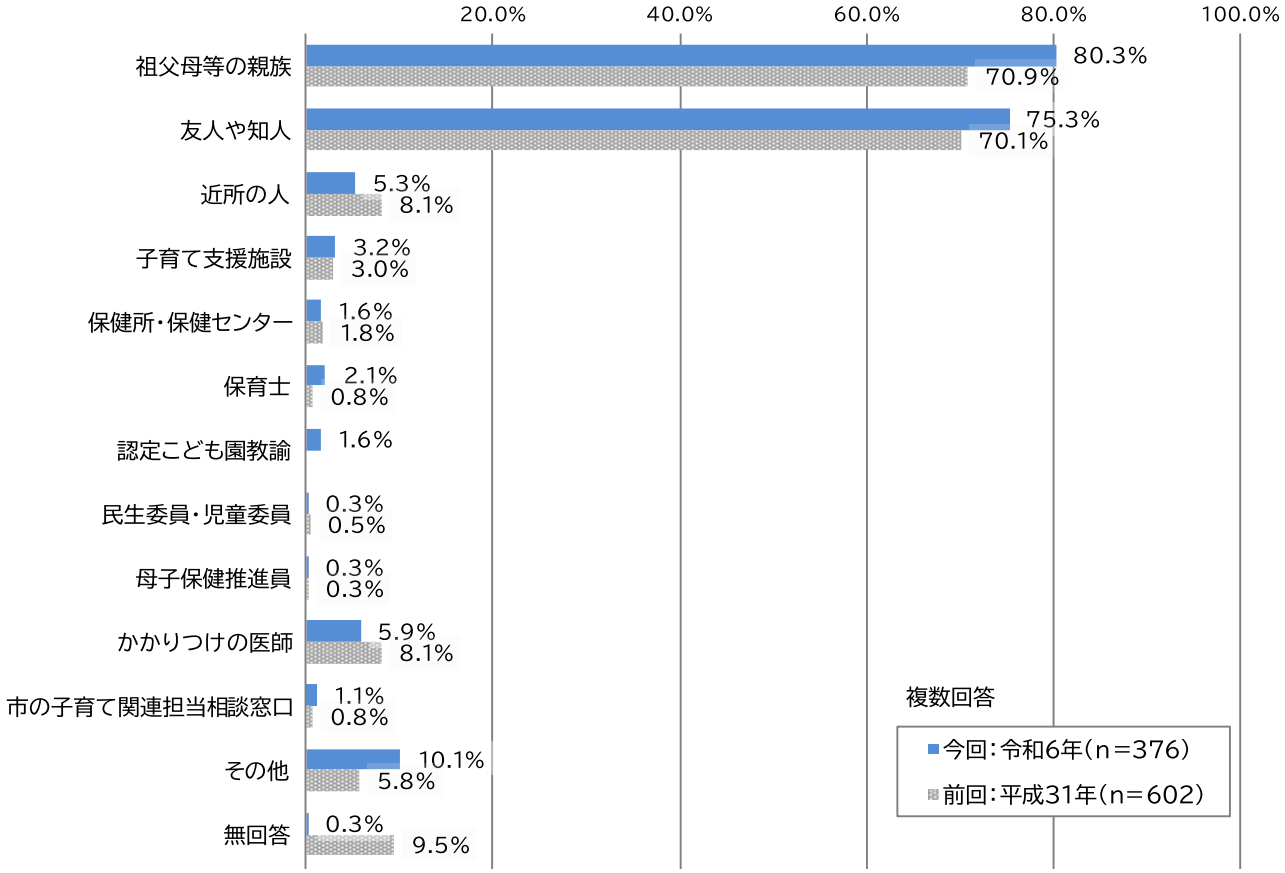
2.気軽に相談できる人

子育てをする上で、気軽に相談できる人がいる保護者は90.4%となり、前回と同様、大多数の保護者が「いる/ある」と答えています。その相談先についても、「祖父母等の親族」の80.3%、「友人や知人」の75.3%が主となり、傾向に変わりはありません。

問8. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。(1つに○)



問8で「いる/ある」に回答した方にお伺いします。
問8－1. お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(あてはまるものすべてに○)



問8－1. <こどもの年齢別>

横%

［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

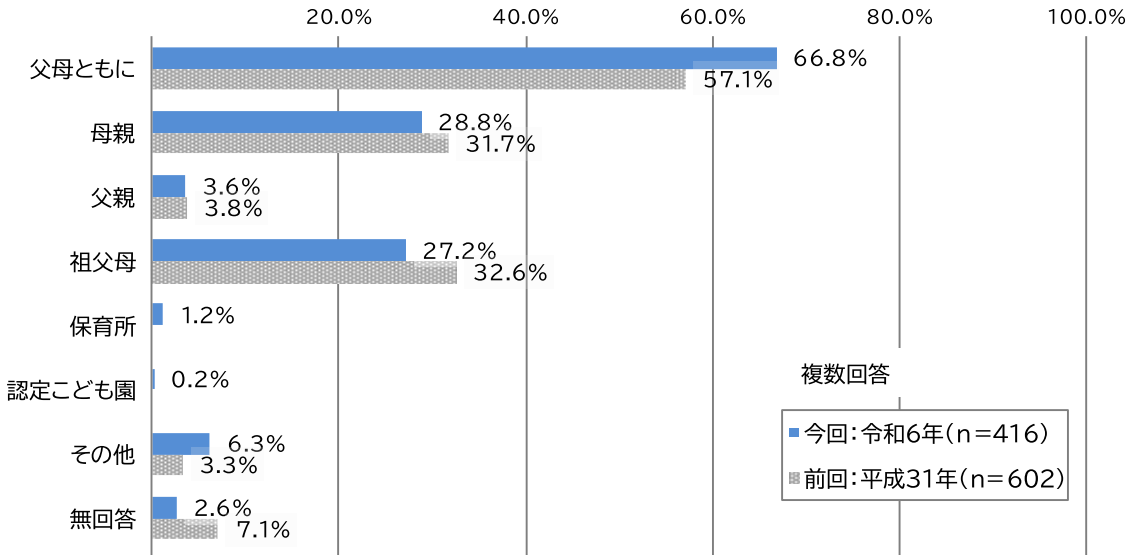
		(n)	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設	保健所・保健センター	保育士	認定こども園教諭	民生委員・児童委員	母子保健推進員	かかりつけの医師	市の子育て関連担当相談窓口	その他	無回答
	全 体	(376)	80.3	75.3	5.3	3.2	1.6	2.1	1.6	0.3	0.3	5.9	1.1	10.1	0.3
こども年齢別	6･7歳	(71)	88.7	77.5	7.0	5.6	2.8	5.6	5.6	-	-	9.9	1.4	2.8	-
	8歳	(73)	82.2	79.5	5.5	5.5	1.4	2.7	2.7	-	1.4	8.2	2.7	12.3	-
	9歳	(51)	78.4	76.5	2.0	-	2.0	2.0	-	-	-	9.8	-	15.7	-
	10歳	(62)	83.9	72.6	11.3	3.2	1.6	1.6	-	-	-	3.2	1.6	9.7	1.6
	11歳	(56)	76.8	64.3	-	3.6	-	-	-	-	-	1.8	-	8.9	-
	12歳	(58)	70.7	77.6	5.2	-	1.7	-	-	1.7	-	1.7	-	13.8	-

3.祖父母などに預かってもらっている状況

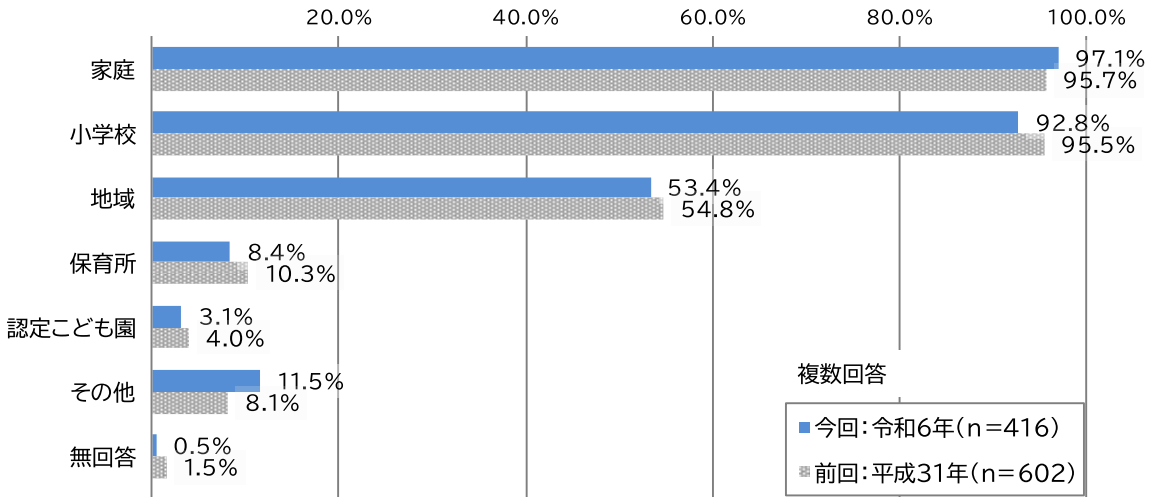
子育てに日常的に関わっている人は、「父母ともに」が66.8%と最も高く、次いで「母親」が28.8%、「祖父母」が27.2%となっています。前回と比較して、「父母ともに」は増加し、「母親」「祖父母」はやや減少しています。

子育てに影響する環境としては、「家庭」が97.1%と最も高く、次いで「小学校」が92.8%、「地域」が53.4%となり、前回と同様、「家庭」「小学校」「地域」が子育てにおいて重要な役割を果たしていることがうかがえます。

問9. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(どこ)ですか。
お子さんからみた関係であてはまるものすべてをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

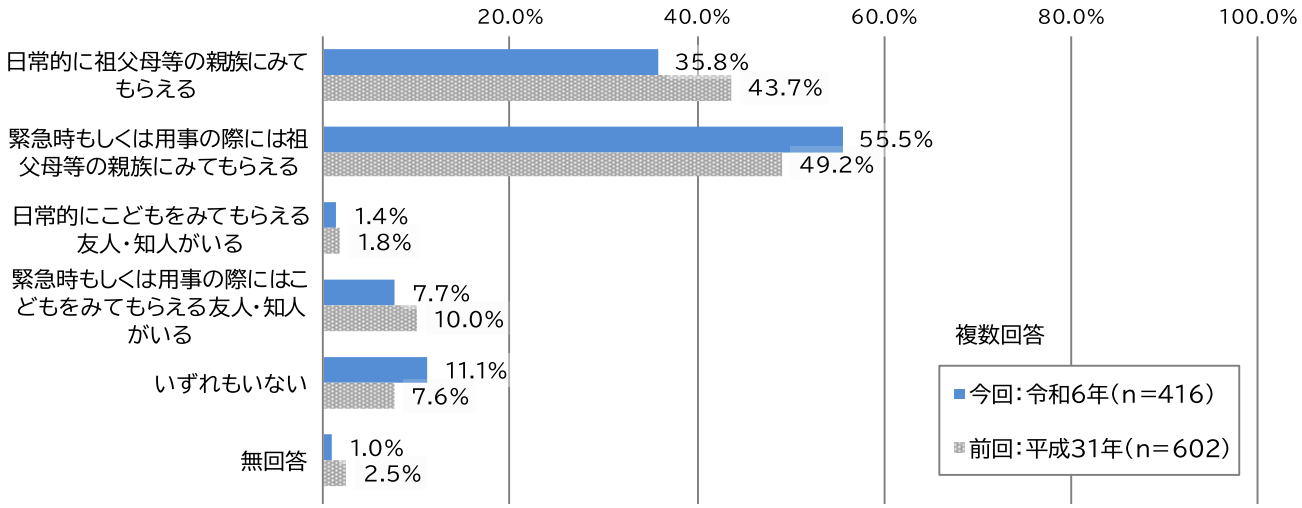


問10. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)



日頃こどもをみてもらえる親族・知人については、親族では、「緊急時もしくは用事の際」が55.5%、「日常的に」が35.8%となっています。前回と比較して、親族に日常時にみてもらえる環境をもつ保護者は減少しています。

問11. 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



問11. <保護者年代別>

横%

[比率の差]
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n=20以上のみ

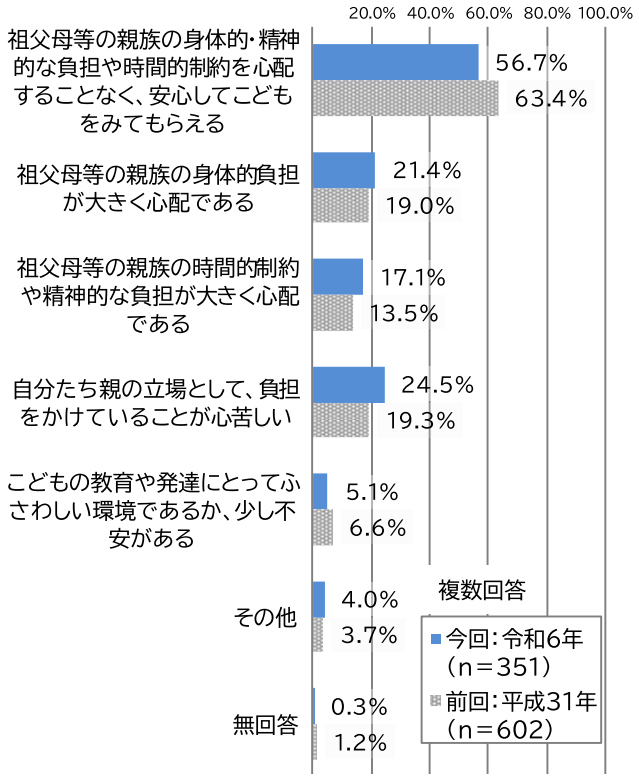
		(n)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもいない	無回答
全体		(416)	35.8	55.5	1.4	7.7	11.1	1.0
保護者年代別	20代以下	(5)	-	100.0	-	-	-	-
	30代	(113)	38.9	54.9	0.9	4.4	12.4	1.8
	40代以上	(297)	35.4	54.9	1.7	9.1	10.8	0.7

こどもを祖父母等の親族にみてもらっている状況については、前回と同様、「安心してみてもらえる」が半数を超える一方、「身体的負担が大きく心配」「時間的制約がある」「精神的負担が心配」とした懸念もそれぞれ2割程挙げられています。

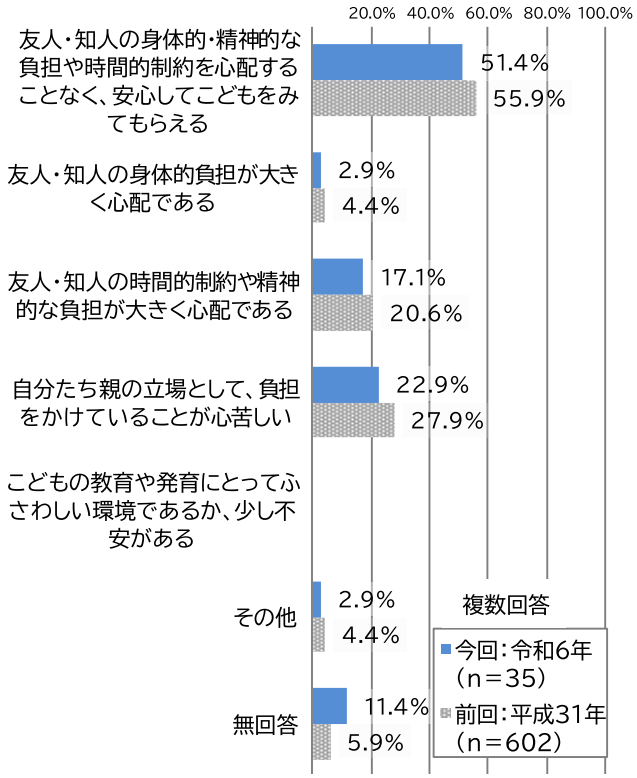
また、友人・知人にみてもらうことついては、「身体的負担が大きく心配」とした懸念は親族より低いものの、「時間的制約がある」「精神的負担が心配」とした懸念の高さは、親族と同様です。

問11-1. 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)
問11-2. 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

【祖父母等の親族に見てもらっている状況】



【友人・知人に見てもらっている状況】



4.保護者の就労状況について

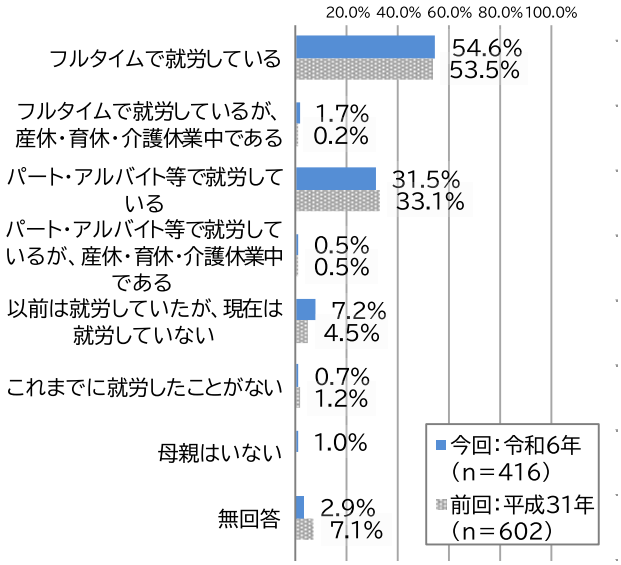
4-1.母親（父親）の就労形態

母親の就労形態は、「フルタイム」が54.6%、「パート・アルバイト」が31.5%となり、前回と比較して、就労形態に大きな変化はありません。

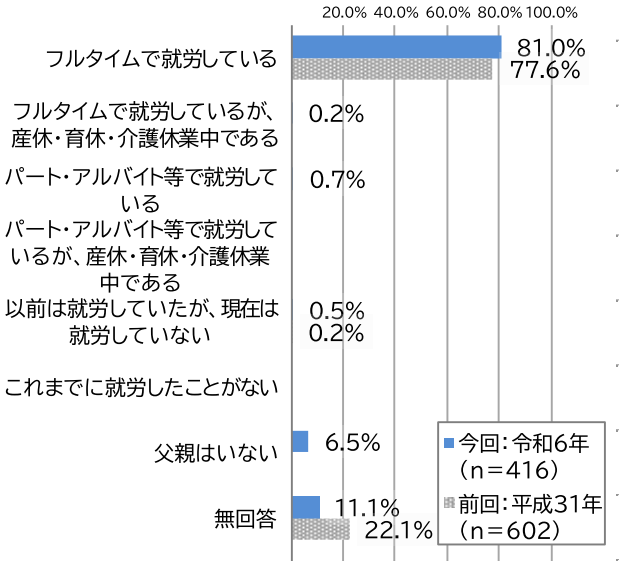
母親の全就労者からみた、就労状況の主流についても、1週間当たりの就労日数は「5日」、就労時間は「8～9時間」、出勤時刻は「7～8時台」、帰宅時刻は「17～18時台」となり、前回とほぼ同様の傾向となっています。

問12. 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。
（母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答）

《①母親》

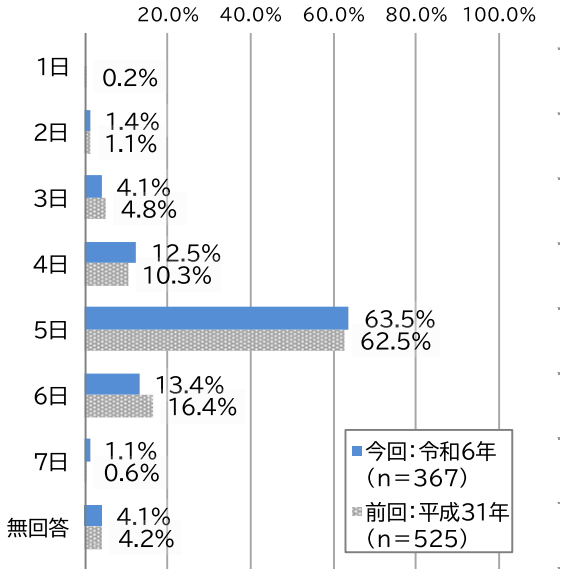


《②父親》

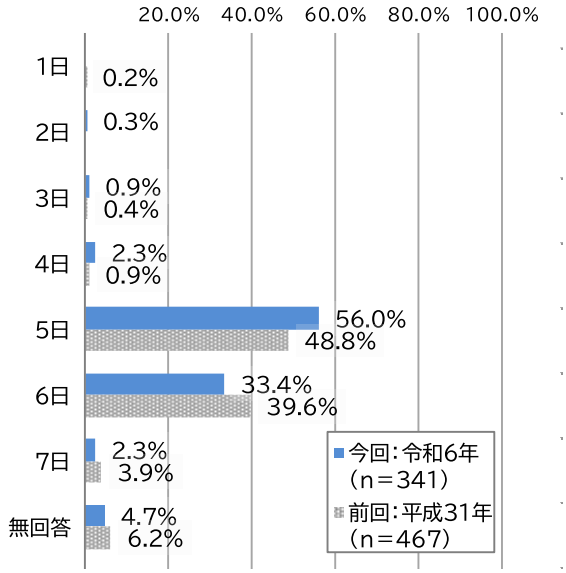


【就労者平均　1週間当たり就労日数】

《①母親》

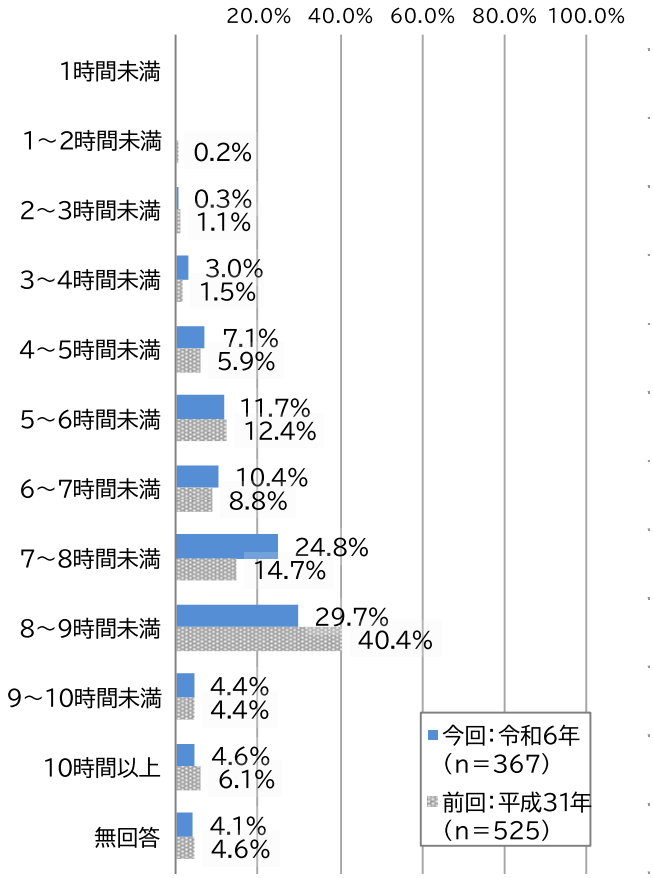


《②父親》

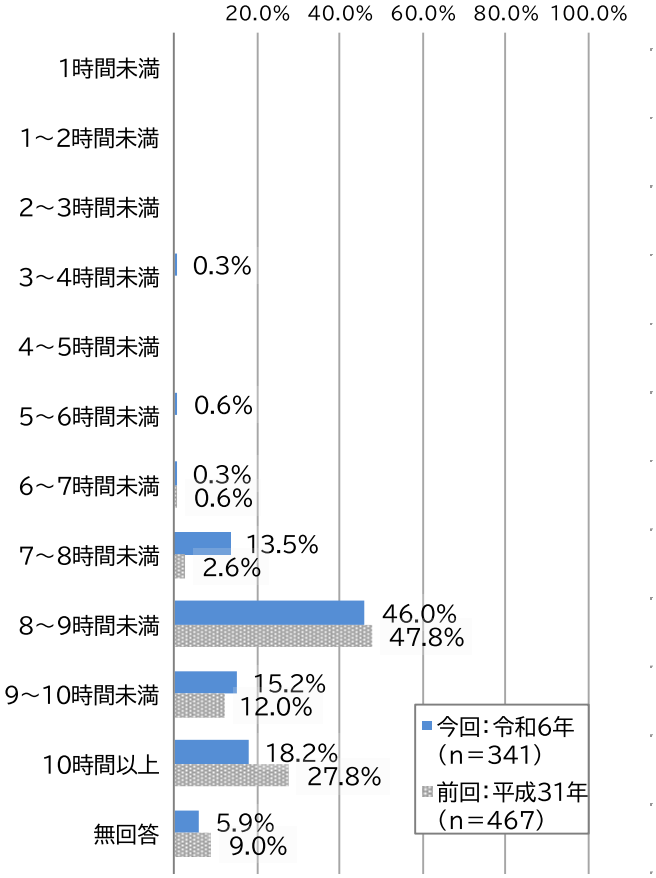


【全就労者平均　就労時間】

《①母親》

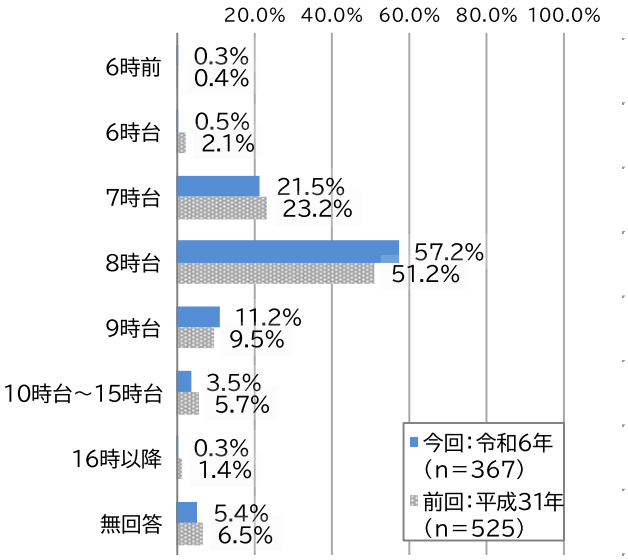


《②父親》

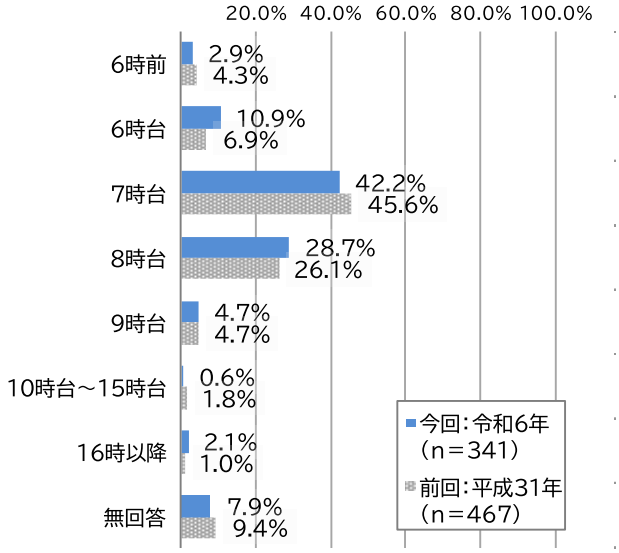


【全就労者平均　出勤時刻】

《①母親》

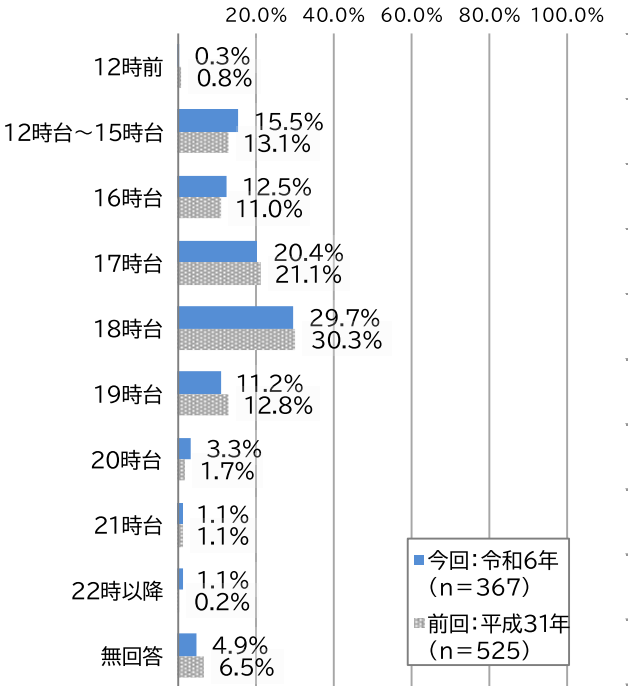


《②父親》

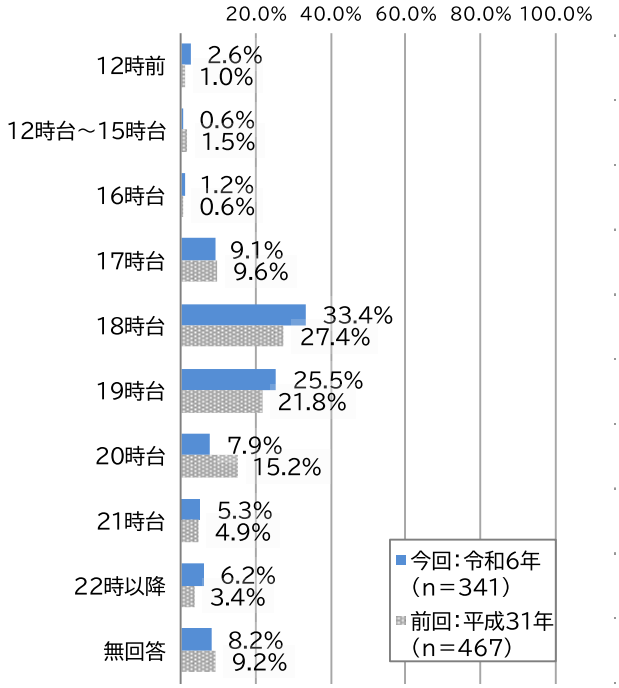


【全就労者平均　帰宅時刻】

《①母親》



《②父親》

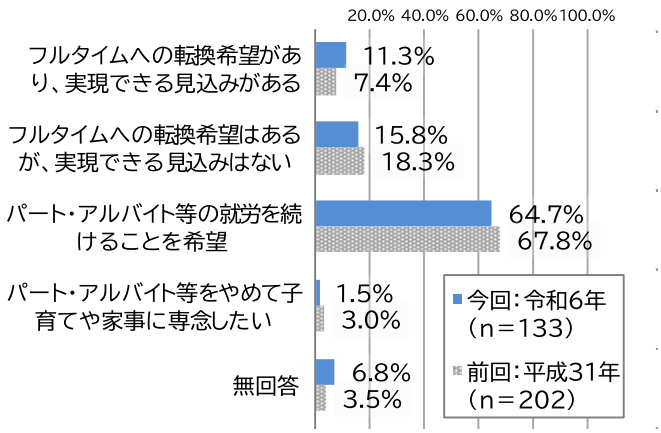


4-2.フルタイムへの転換希望

パート・アルバイトで就労している母親のうち、フルタイムへの転換希望者は27.1%であり、その内訳としては、「実現できる見込みがある」が11.3%、「実現の見込みはない」が15.8%となっています。前回と比較して、フルタイムへの転換希望者の割合は大きく変わりありませんが、「実現できる見込み」がやや増加しています。なお、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が64.7%となり、前回に引き続き、現状の就労形態を希望する人が多くを占める結果となっています。

問12で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。
問12-1. フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

《①母親》



《②父親》

※　回答が少ないため、掲載を割愛しています。

4-3.現在就労していない母親（父親）の就労意向

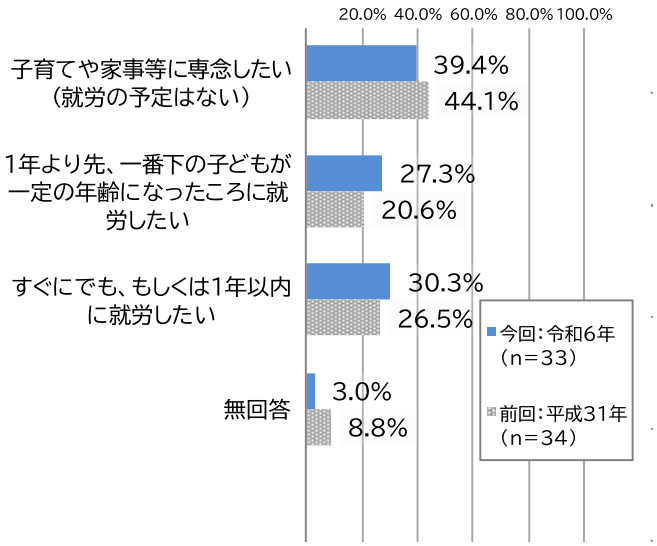
（1）就労希望

就労していない母親の就労意向をみると、「1年より先一番下のこどもが一定の年齢になったころ」「すぐにでも、もしくは1年以内」を合わせた就労意向のある人は57.6%となります。前回と比較して増加しており、就労意向の高まりがみられます。

「こどもが一定になったころに就労したい」とする人の就労時期については、末子が「6歳以上」になったころが主となり、平均は5.6歳となっています。

問12.で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。
問12-2.今後の就労希望はありますか。(1つに○)

《①母親》

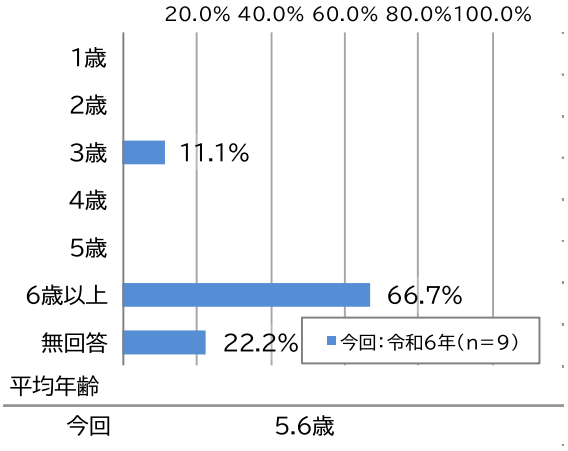


《②父親》

※　回答が少なく、掲載を割愛しています。

問12-2-1.一番下のこどもが何歳になったころ就労したいですか。年齢をお答えください。(1つに○)

《①母親》



《②父親》

※　回答が少なく、掲載を割愛しています。

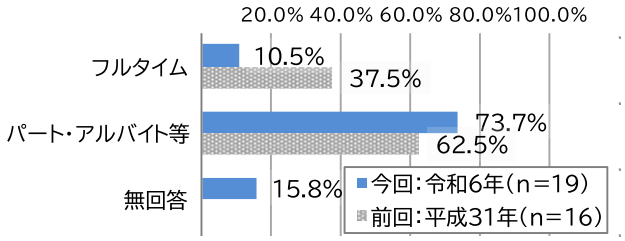
（2）希望する就労形態

希望する就労形態は、「フルタイム」は10.5%に留まり、前回と比較して、「フルタイム」への就労希望は減少し、「パート・アルバイト」が7割を超えています。

また、パート・アルバイトの希望就労日数は、「5日」が最も高く42.9%、１日あたりの就労時間は、５～６時間未満（50.0%）が最も高い結果となっています。

問12-2. で「2」または「3」に〇をした方にお伺いします。
問12-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。(1つに〇)

《①母親》

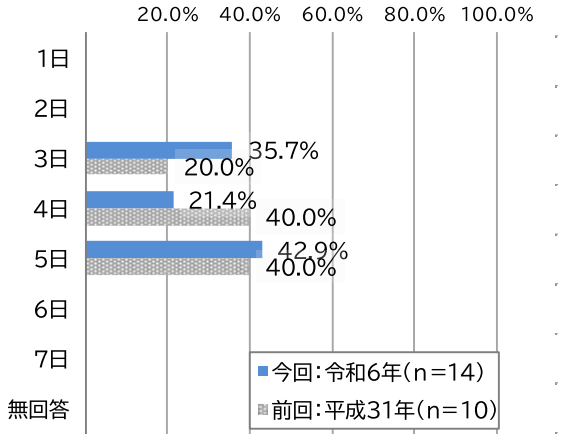


《②父親》

※　回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

問12-3-1. (パート・アルバイト等)希望する就労日数は1週あたり何日ですか。

《①母親》

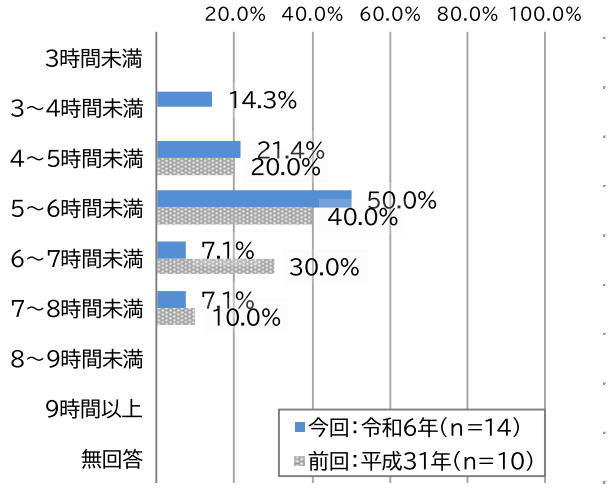


《②父親》

※　回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

問12-3-2. (パート・アルバイト等)希望する就労時間は1日あたり何時間ですか。(残業時間含む)

《①母親》



《②父親》

※　回答数が少ないため、掲載を割愛しています。

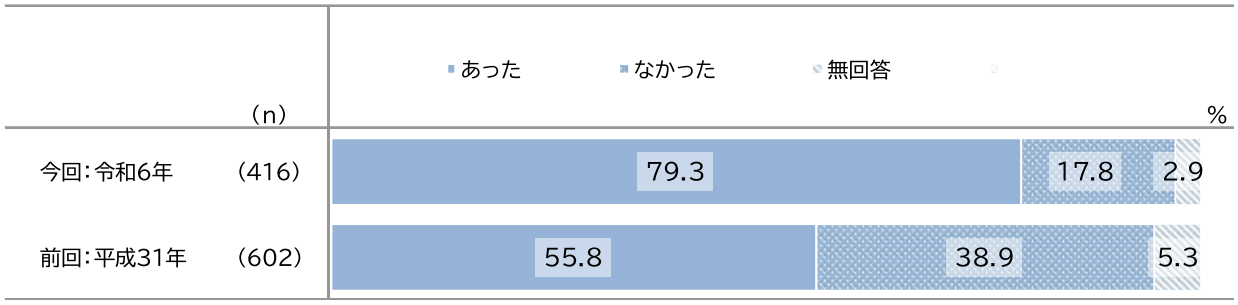
5.病児・病後児保育について

5-1.過去1年間に保育サービスを利用できなかったことの有無

この１年間にこどもが病気やけがで学校を休まなければならなかった経験については、「あった」が79.3%となり、前回と比較して増加していますが、これは新型コロナウィルス感染症が発生した影響も考えられます。

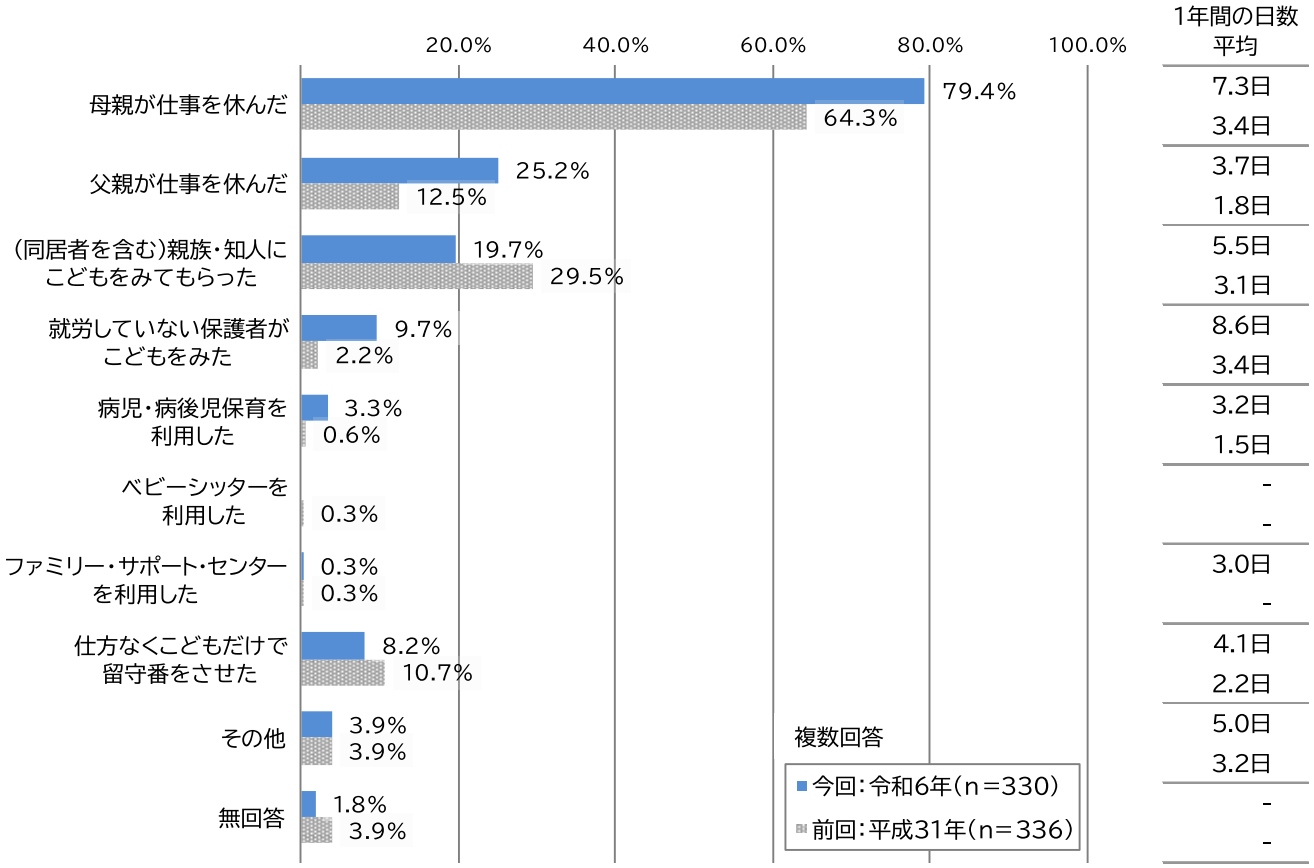
その対処方法としては、「母親が仕事を休んだ」が最も高く79.4%、平均日数は7.3日となり、前回と同様、母親が対処しているケースが主となりますが、「父親が仕事を休んだ」も増加しています。

問13. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○)



問13で「1」に○をした方にお伺いします。

問13-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。あてはまるものすべてを選び、それぞれの日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



5-2.病児・病後児保育の利用希望

こどもが病気やけがで仕事を休んだ人のうち、「病児・病後児保育」を利用したかった人は12.0%となり、前回と同様、病児・病後児保育の利用意向は1割程度となっています。

問13-1で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。
問13-2. その際、「病児・病後児保育施設等を利用したかった」と思われましたか。(1つに○)
また、施設を利用したいと思った日数をお答えください。

	(n)	利用したかった	利用したいとは思わなかった	無回答	利用したいと思った日数 平均
今回:令和6年	(267)	12.0	86.9		3.8日
前回:平成31年	(227)	11.0	85.5	3.5	4.1日

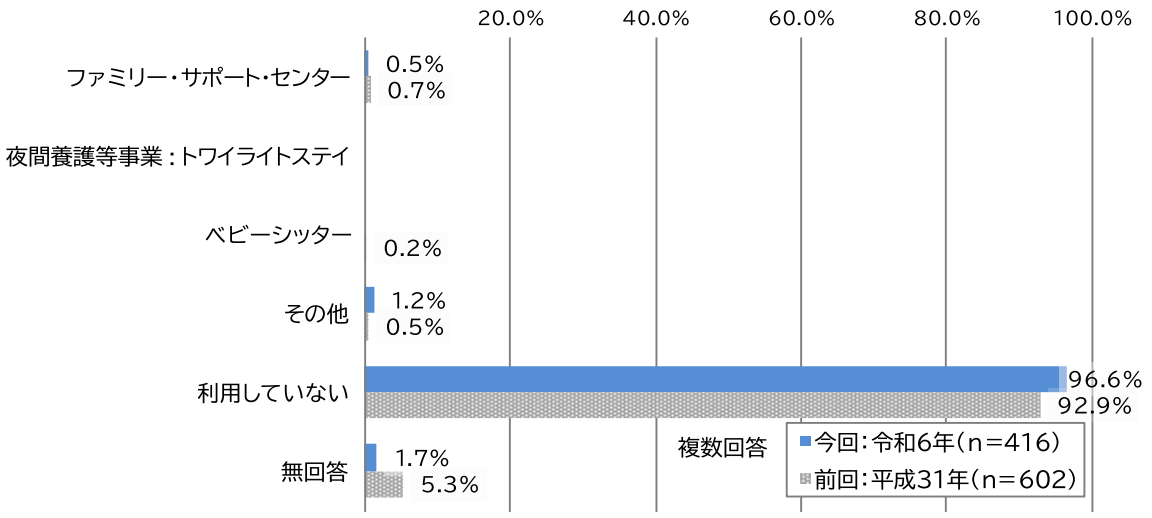
(注)2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

6.一時預かりについて

6-1. 過去1年間に家族以外に一時的に預けたこと

不定期に利用しているサービスについては、「利用していない」が96.6%となり、前回と同様、ほとんどの保護者が利用していない状況となっています。

問14. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)



問14. ＜母親の就労状況別＞

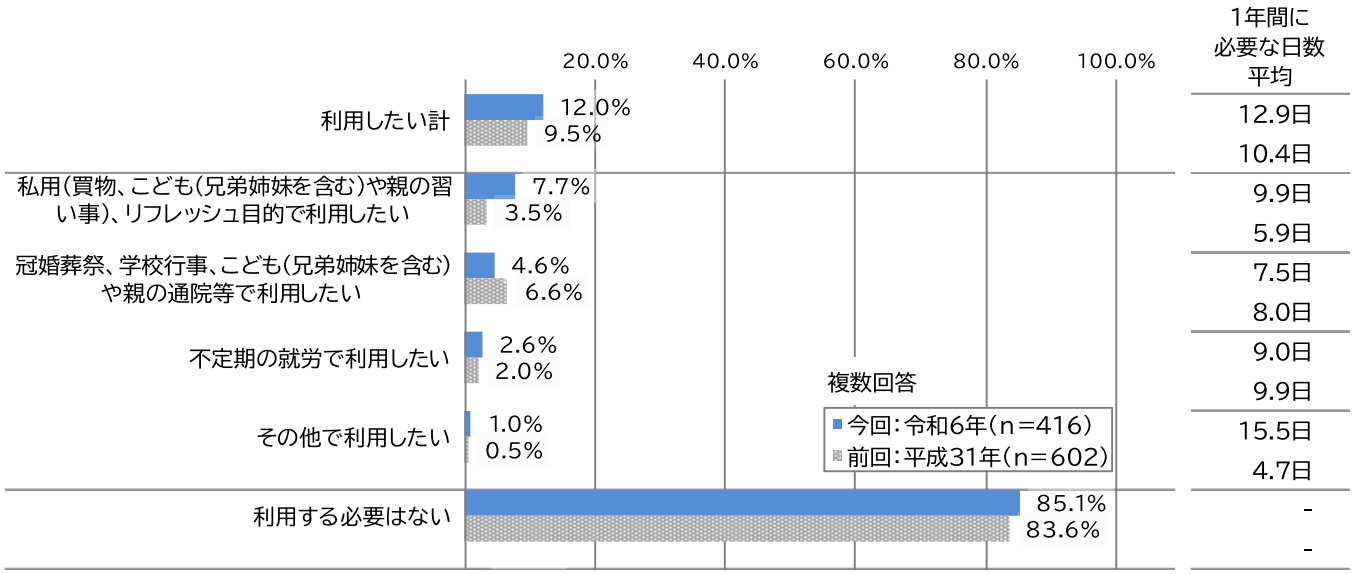
横%

[比率の差]
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

		(n)	ファミリー・サポート・センター	夜間養護等事業トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全 体		(416)	0.5	-	-	1.2	96.6	1.7
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(227)	0.9	-	-	0.9	96.5	1.8
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(7)	-	-	-	-	100.0	-
	パート・アルバイト等で就労している	(131)	-	-	-	0.8	98.5	0.8
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(2)	-	-	-	-	100.0	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(33)	-	-	-	6.1	90.9	3.0

私用、親の通院、不定期の就労等のため、こどもを家族以外の誰かに一時的に預けることができる事業について、「利用したい」が12.0%となり、前回よりやや増加しています。主な目的とその必要日数は、「私用（買物、こどもや親の習い事）、リフレッシュ目的」が最も高く7.7%で9.9日、「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」が4.6%で7.5日となり、前回と比較して、「私用、リフレッシュ目的」がやや増加しています。

問15. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい問21のようなサービスを利用する必要があると思いますか。該当する目的を選んでください。
あわせて、必要な日数もお答えください。



問15. ＜母親の就労状況別＞

横%		(n)	私用、リフレッシュ目的で利用したい	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等で利用したい	不定期の就労で利用したい	その他で利用したい	利用する必要はない	無回答
	全 体	(416)	7.7	4.6	2.6	1.0	85.1	2.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(227)	10.6	4.4	2.6	0.9	83.3	1.8
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(7)	-	-	-	14.3	71.4	14.3
	パート・アルバイト等で就労している	(131)	3.8	3.8	3.1	0.8	90.8	2.3
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(2)	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(33)	6.1	6.1	-	-	81.8	6.1

［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

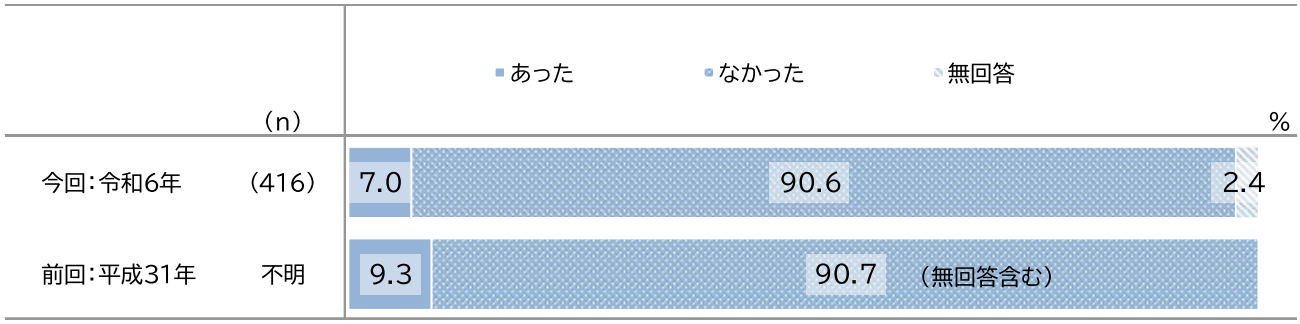
6-2. 宿泊を伴う一時預かりについて

この１年間に保護者の用事により、こどもを家族以外に泊まりがけで預けなければならなかった経験について、「あった」が7.0%となり、前回と大きく変わりありません。

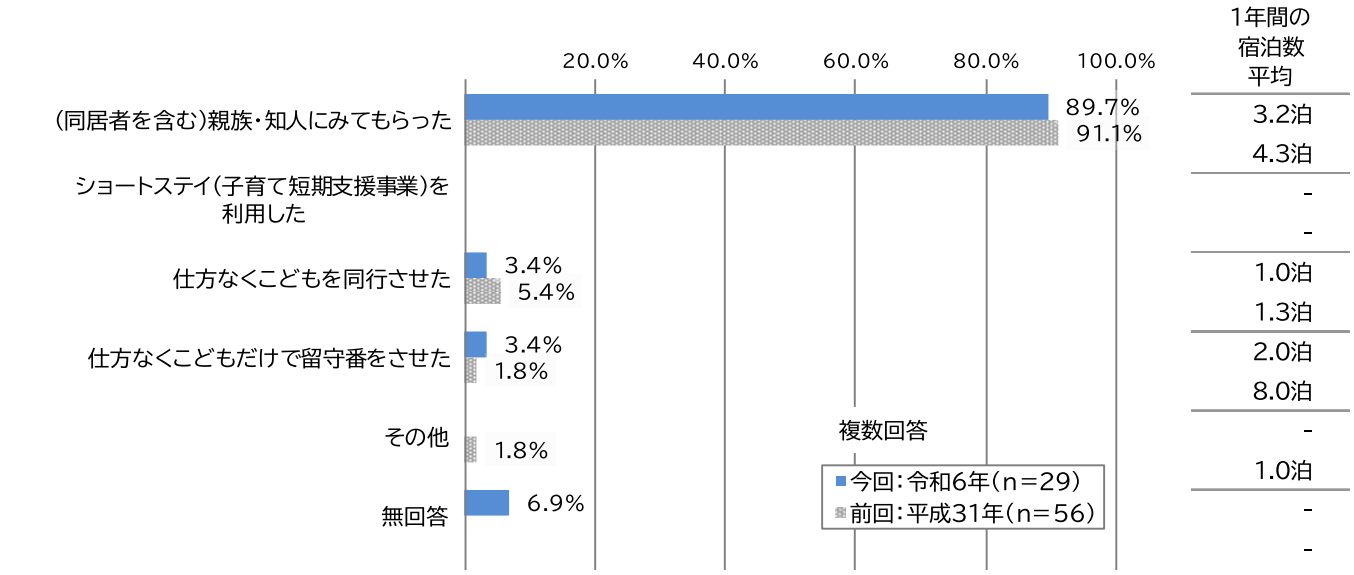
その対処方法としては、前回同様「親族・知人にみてもらった」が89.7%と大多数を占め、平均宿泊数は3.2泊となっています。

また、親族・知人に預けた場合の困難度は、「非常に」「どちらかというと」を合わせると30.8%ととなり、前回と比較して、困難度はやや緩和している傾向がうかがえます。

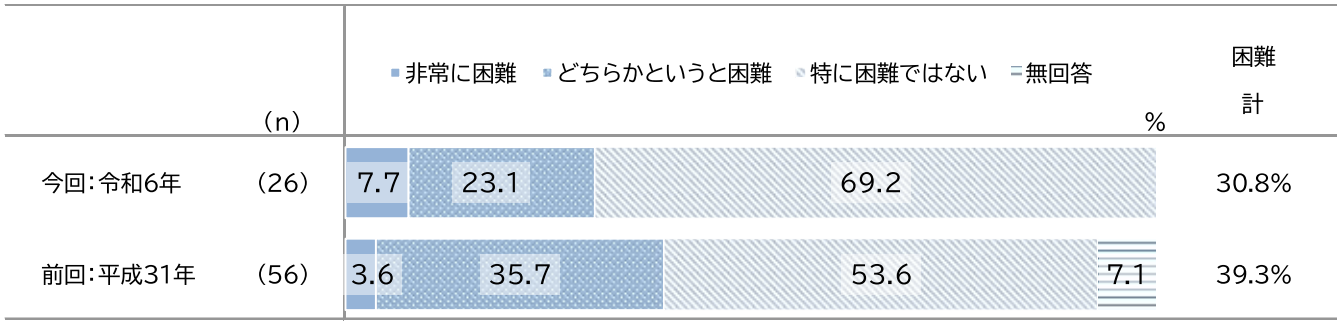
問16. この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか。（1つに○）
また、「あった」のはどのようなことですか。該当するものに○をつけ、この1年間の宿泊数もお答えください。



【あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと】



問16で「1あった①(同居者を含む)親族・知人に見てもらった」に○をした方にお伺いします。
問16-1. その場合の困難度はどの程度でしたか。（1つに○）



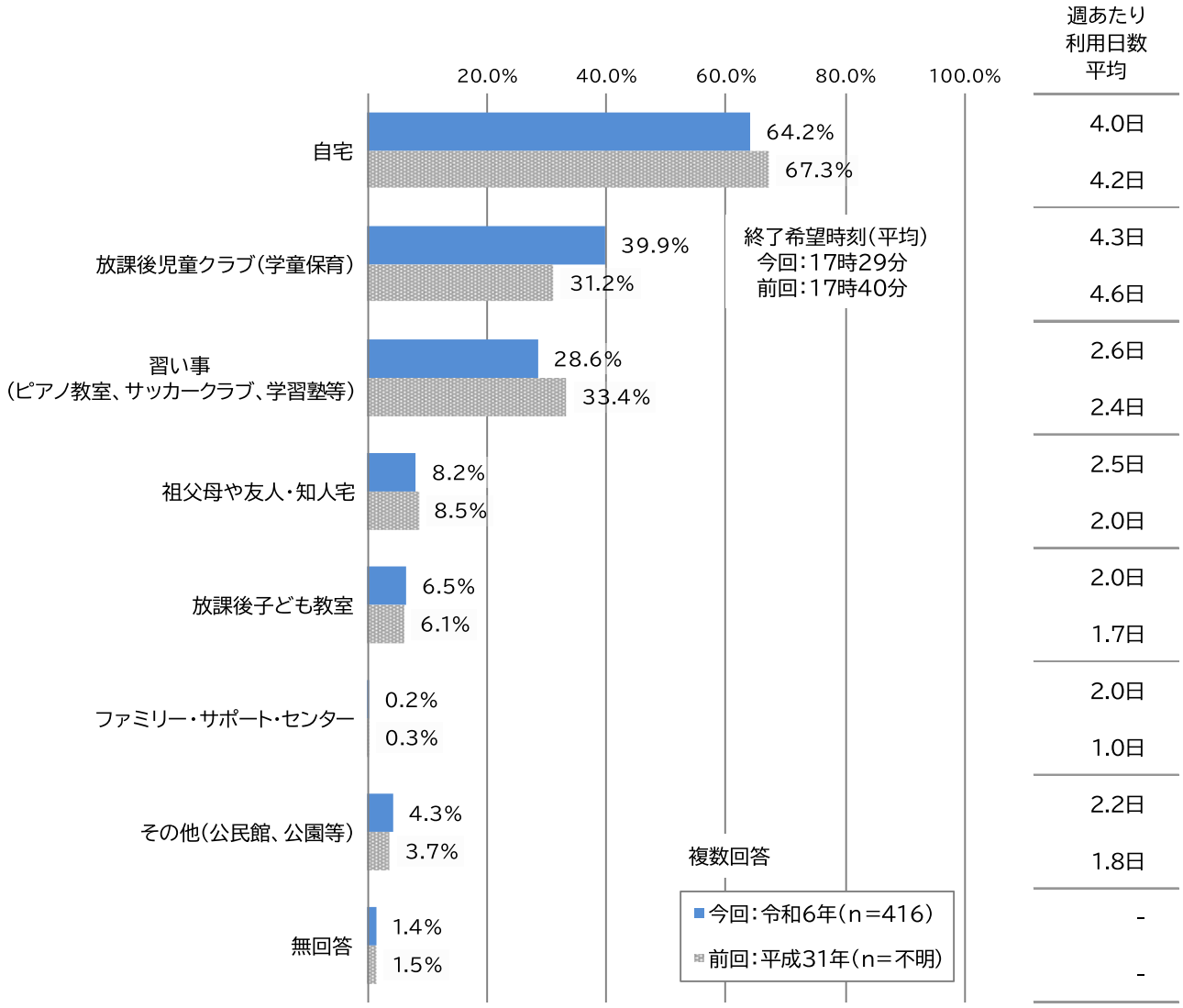
7.放課後児童クラブについて

7-1.放課後の過ごし方

放課後の居場所については、「自宅」が64.2%で最も高く、週あたり4.0日、次いで「放課後児童クラブ」が39.9%で週あたり4.3日、「習い事」が28.6%で週あたり2.6日となり、前回と比較して、「放課後児童クラブ」が増えており、ニーズが高まっています。

「放課後児童クラブ」はこどもの年齢別にみると、9歳以下（低学年）での利用が高く、また、母親の就労状況別にみると、フルタイム就労者での利用が高い傾向がみられます。

問17. あて名のお子さんは、小学校の放課後（平日の小学校終了後）を、どのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに〇） 併せて、週あたり日数もお答えください。



問17. <こどもの年齢別・母親の就労状況別>

横%

[比率の差]
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

		(n)	自宅	放課後児童クラブ（学童保育）	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	祖父母や友人・知人宅	放課後子ども教室	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園等）	無回答
	全 体	(416)	64.2	39.9	28.6	8.2	6.5	0.2	4.3	1.4
子どもの年齢別	6・7歳	(79)	41.8	65.8	24.1	6.3	7.6	-	2.5	1.3
	8歳	(78)	48.7	57.7	30.8	7.7	7.7	1.3	3.8	1.3
	9歳	(58)	62.1	51.7	25.9	15.5	15.5	-	10.3	-
	10歳	(70)	80.0	27.1	28.6	7.1	5.7	-	2.9	-
	11歳	(63)	77.8	22.2	30.2	6.3	-	-	6.3	1.6
	12歳	(62)	80.6	8.1	35.5	8.1	3.2	-	1.6	3.2
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(227)	54.6	52.4	28.2	10.6	7.0	0.4	3.5	0.9
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(7)	42.9	71.4	28.6	14.3	-	-	-	-
	パート・アルバイト等で就労している	(131)	74.0	28.2	29.0	4.6	3.1	-	5.3	1.5
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(2)	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(33)	97.0	3.0	30.3	6.1	15.2	-	6.1	-

7-2.平日・土曜日等の利用状況と日数等

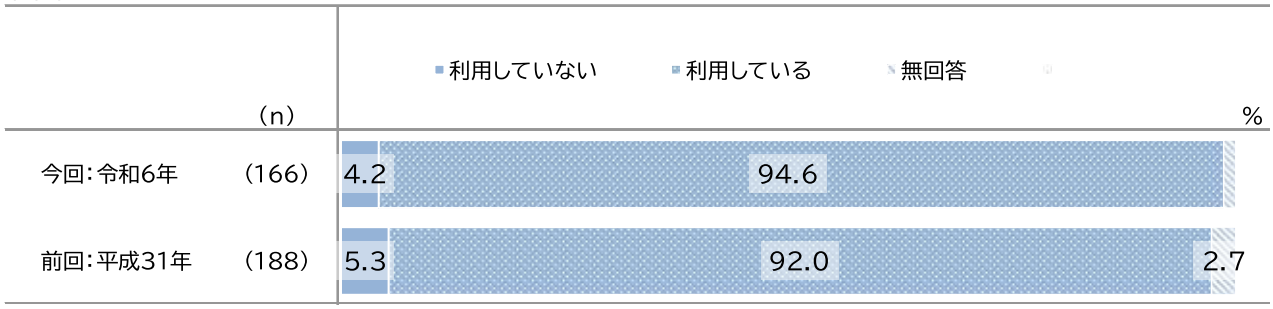
放課後児童クラブを利用しているこどものうち、平日の利用率は94.6%となり、前回と大きく変わりありません。週あたりの利用日数をみると、「５日」が最も高く58.6%となり、前回と比較して、すべての平日を利用しているこどもの割合は減少しています。

なお、利用時刻については、開始時刻が平均15時5分、終了時刻が17時23分となり、前回と大きく変わりありません。

問17で「5」に○をした方にお伺いします。

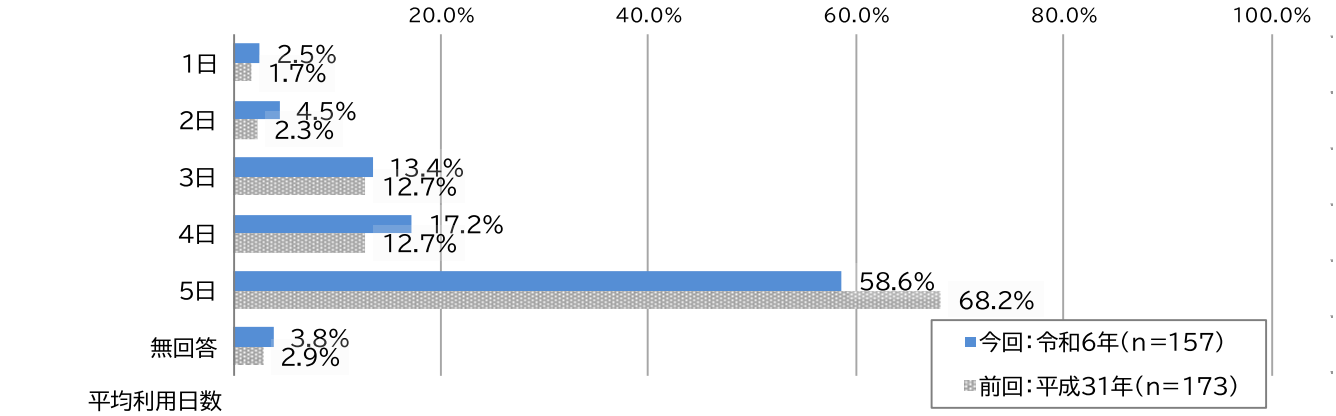
問17-1. 放課後児童クラブの平日と土曜日、夏休みや冬休み等の利用状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)利用している場合は、週(月)あたりの利用日数と平均的な利用時間帯もお答えください。

(1)平日



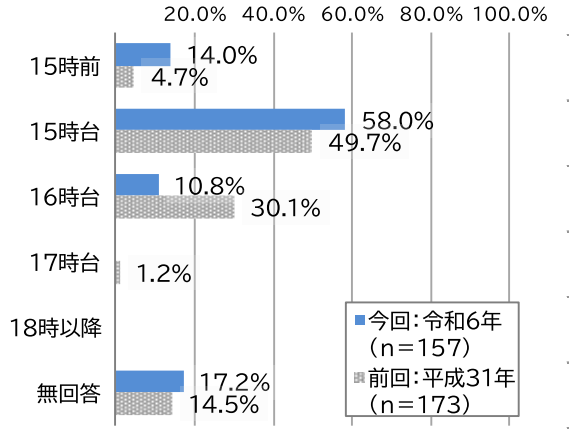
(注)2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

【週あたりの利用日数】



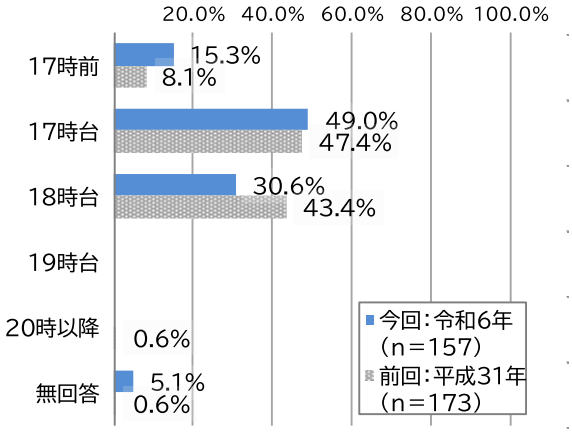
平均利用日数	
今回:令和6年	4.3日
前回:平成31年	4.5日

【開始時刻】



平均開始時刻	
今回：令和6年	15時05分
前回：平成31年	15時20分

【終了時刻】

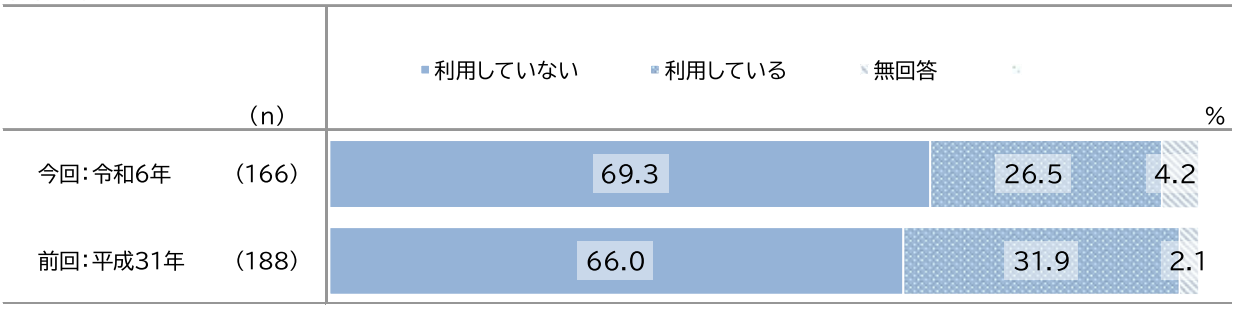


平均終了時刻	
今回：令和6年	17時23分
前回：平成31年	17時30分

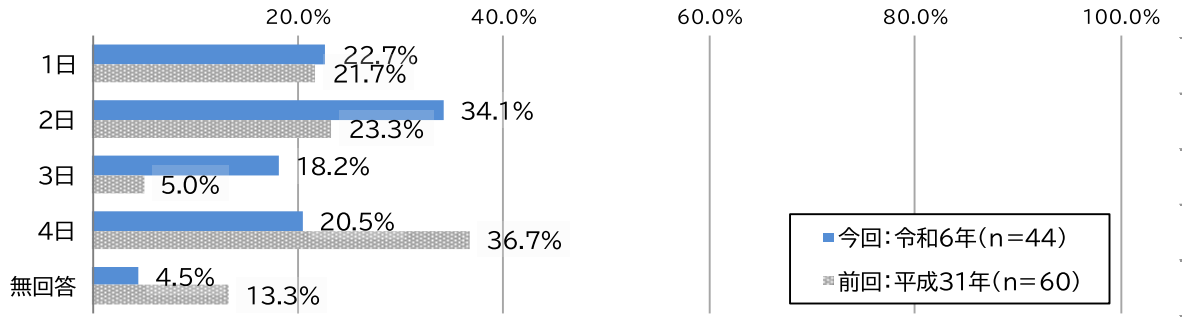
放課後児童クラブを利用しているこどものうち、土曜日の利用率は69.3%となり、前回と大きく変わりありません。月あたりの利用日数をみると、「２日」が最も高く34.1%となっています。

なお、利用時刻については、開始時刻が平均8時20分、終了時刻が16時36分となり、前回と大きく変わりありません。

(2)土曜日

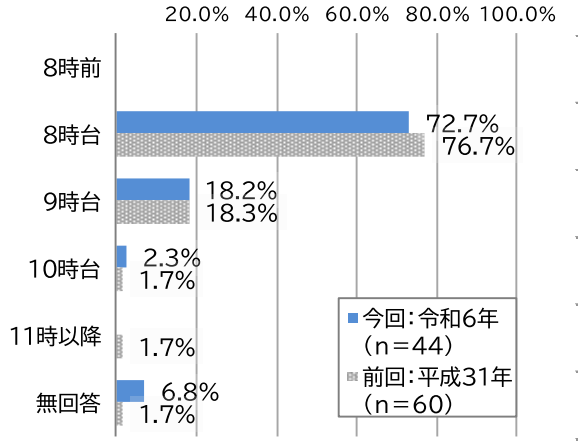


【月あたりの利用日数】



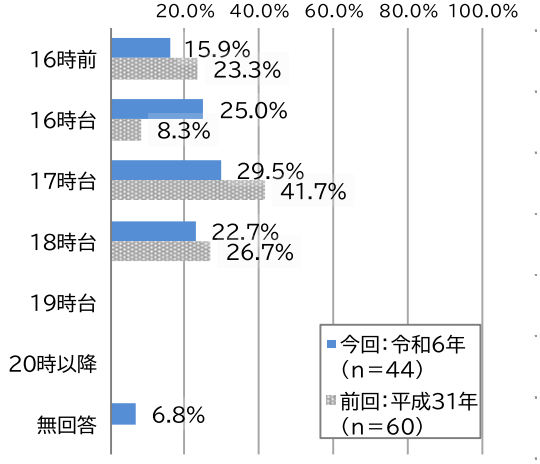
平均利用日数	
今回:令和6年	2.4日
前回:平成31年	2.7日

【開始時刻】



平均開始時刻	
今回:令和6年	8時20分
前回:平成31年	8時25分

【終了時刻】

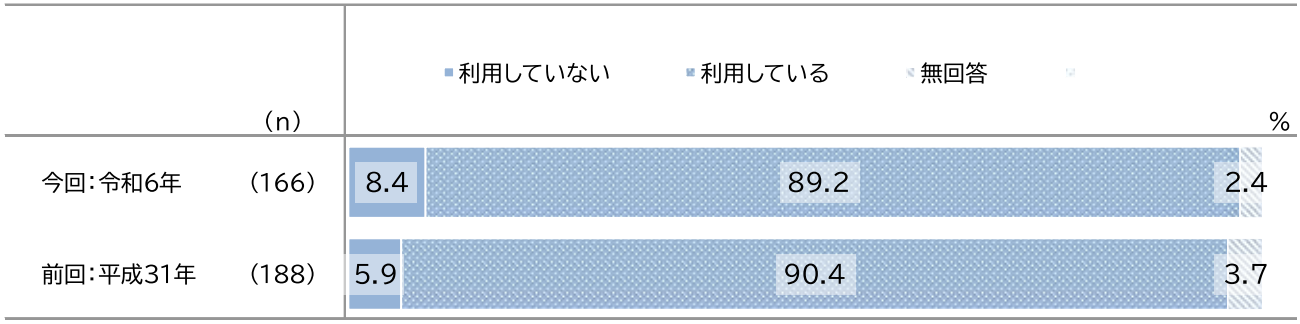


平均終了時刻	
今回:令和6年	16時36分
前回:平成31年	16時35分

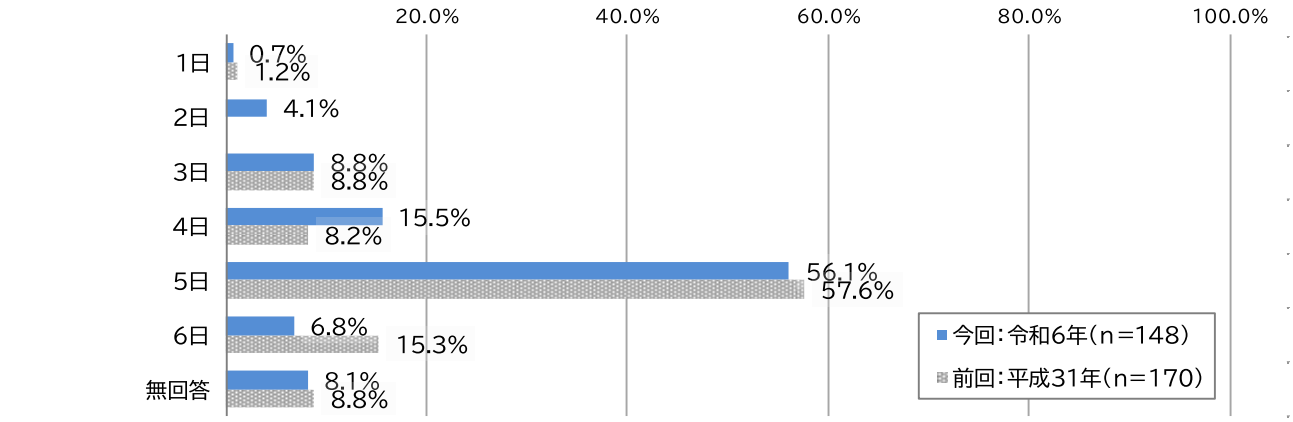
放課後児童クラブを利用しているこどものうち、夏休みや冬休み等長期休暇期間の利用率は89.2%となり、前回と大きく変わりありません。

また、週あたりの利用日数は「５日」が最も高く56.1%、利用時刻については、開始時刻が平均8時16分、終了時刻が17時3分となり、いずれも前回と大きく変わりありません。

(3)夏休みや冬休み等長期休暇期間

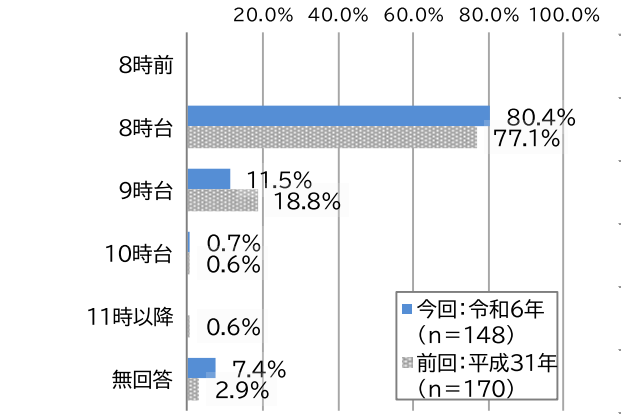


【週あたりの利用日数】



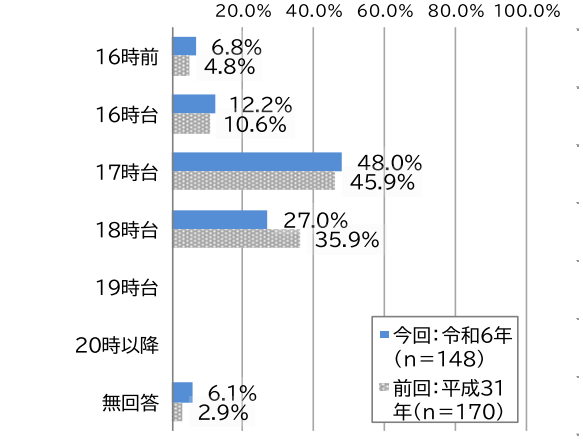
平均利用日数	
今回:令和6年	4.6日
前回:平成31年	4.8日

【開始時刻】



平均開始時刻	
今回:令和6年	8時16分
前回:平成31年	8時25分

【終了時刻】

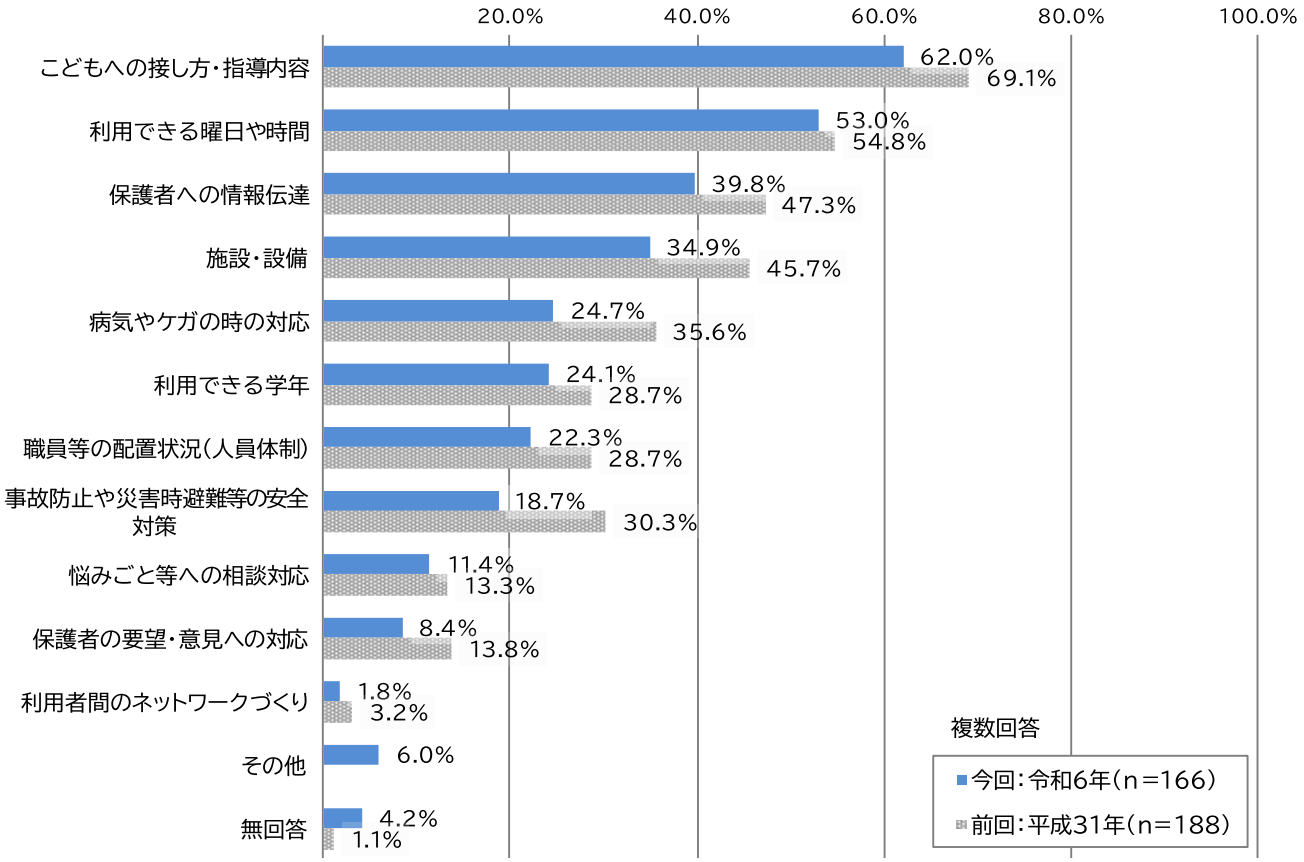


平均終了時刻	
今回:令和6年	17時03分
前回:平成31年	17時10分

7-3.放課後児童クラブの評価

放課後児童クラブに対する重視点については、「こどもへの接し方・指導内容」が62.0%で最も高く、次いで「利用できる曜日や時間」が53.0%となっています。前回に引き続き、回答が半数を超える項目はこの２項目のみとなり、特に重視されている要素であることがうかがえます。

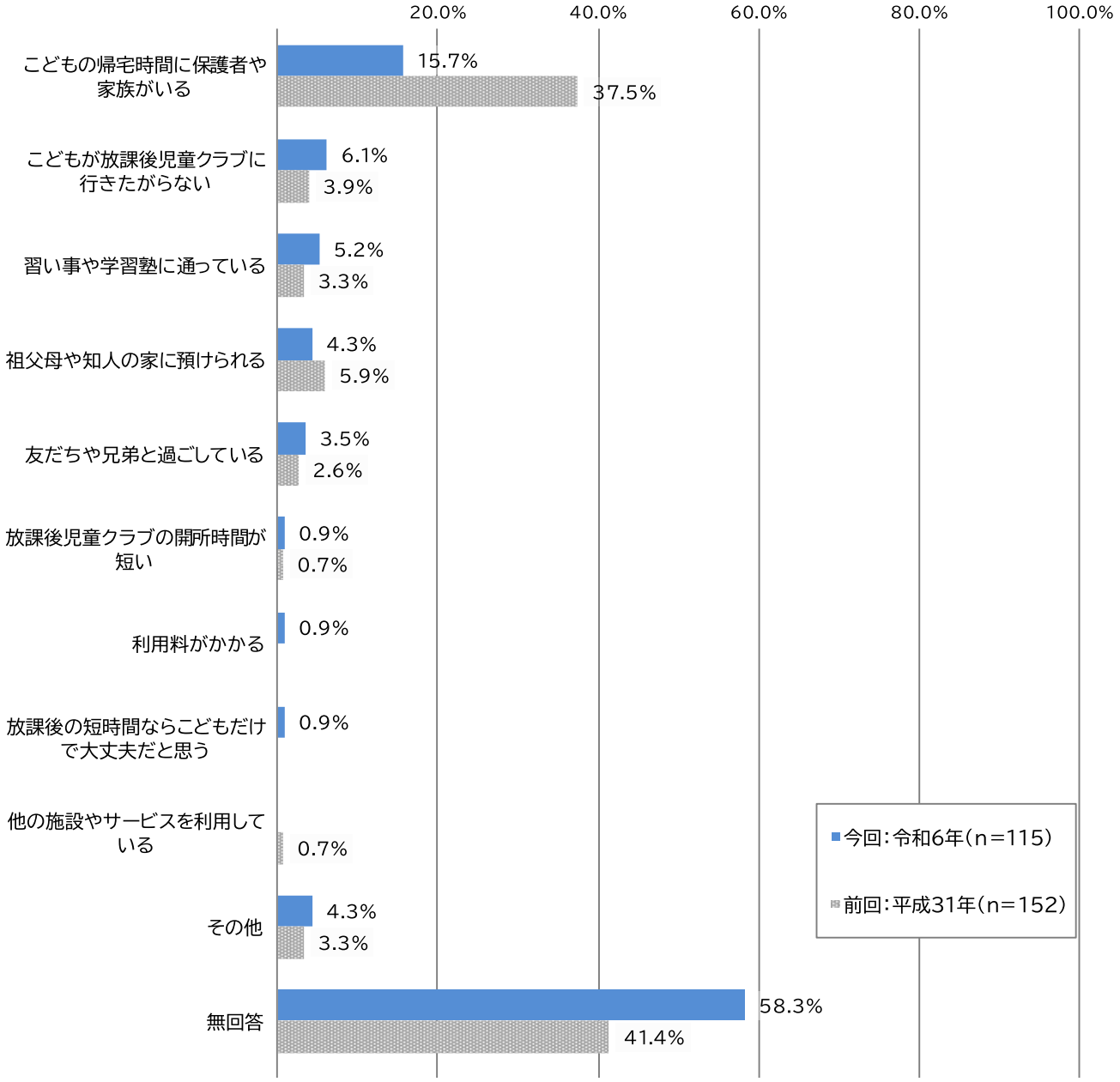
問17-2. 現在、通っている放課後児童クラブに対してどのような点を重視しますか。(あてはまるものすべてに〇)



7-4.利用していない理由

放課後児童クラブを利用していない理由については、「こどもの帰宅時間に保護者や家族がいる」が15.7%と最も高く、次いで「こどもが放課後児童クラブに行きたがらない」が6.1%、「習い事や学習塾に通っている」が5.2%となっています。

問17-3. 放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。(1つに○)



7-5.今後の利用意向

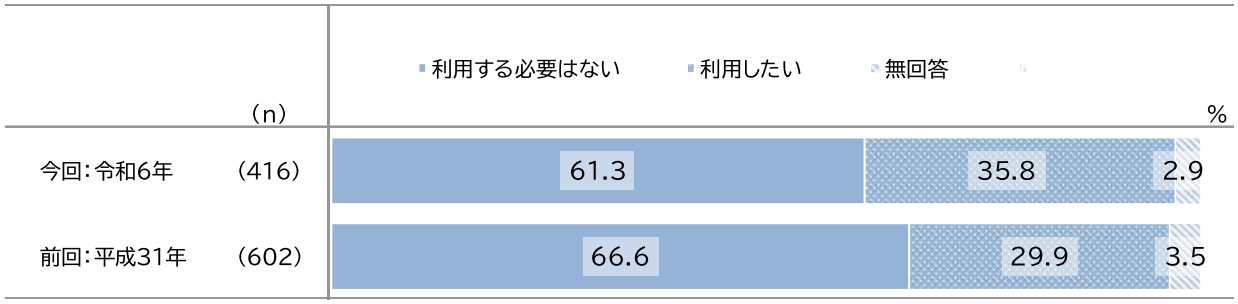
（放課後児童クラブの）平日の利用意向については、「利用したい」が35.8%となり、前回よりやや増加しています。母親の就労状況別にみると、フルタイム就労者の利用意向が非常に高い結果となっています。

週あたりの利用日数は、「５日」が71.1%と最も高く、平均4.5日となっています。

希望する利用時刻については、開始時刻が平均14時58分、終了時刻が17時35分となっています。

問18. あて名のお子さんについて、今後の放課後児童クラブの利用意向はありますか。
現在利用中の方もお答えください。（それぞれ1つに○）

(1)平日



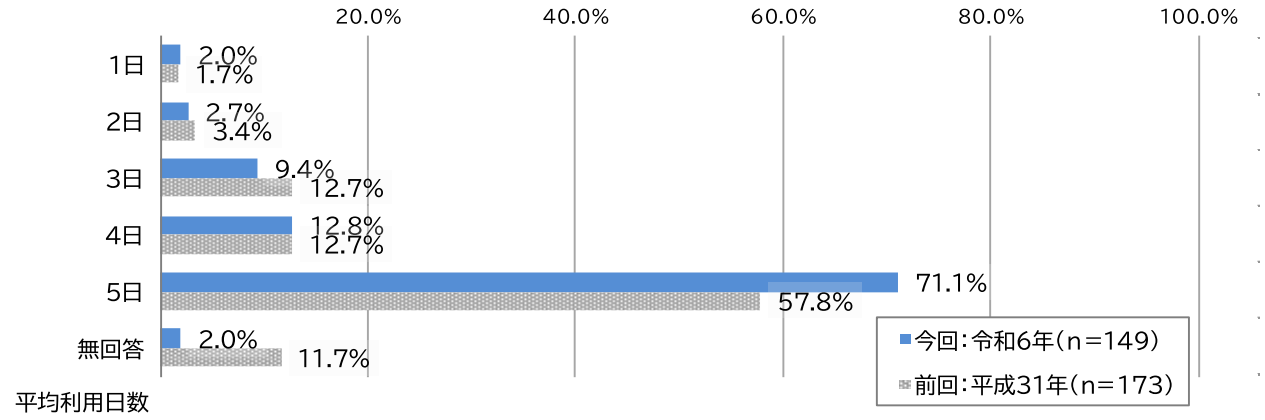
＜母親の就労状況別＞

横%

［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

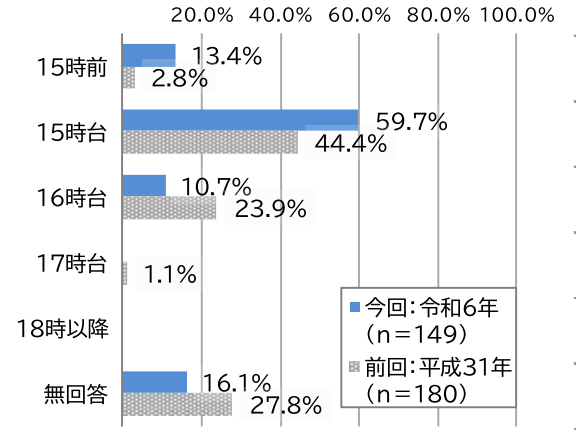
		(n)	利用する必要はない	利用したい	無回答
	全 体	(416)	61.3	35.8	2.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(227)	51.5	46.3	2.2
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(7)	42.9	57.1	-
	パート・アルバイト等で就労している	(131)	71.8	26.0	2.3
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(2)	100.0	-	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(33)	87.9	9.1	3.0

【週あたりの利用日数】



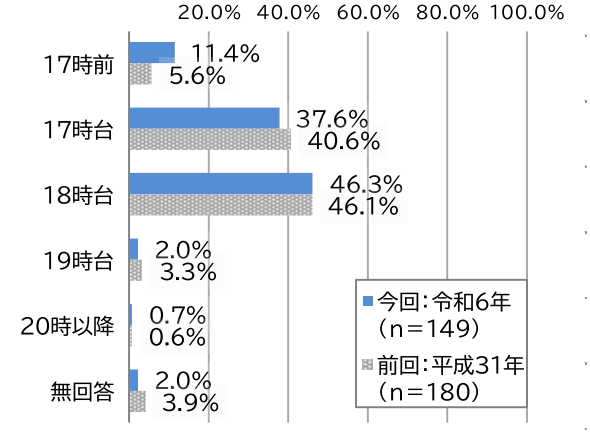
平均利用日数	
今回：令和6年	4.5日
前回：平成31年	4.4日

【開始時刻】



平均開始時刻	
今回：令和6年	14時58分
前回：平成31年	15時20分

【終了時刻】



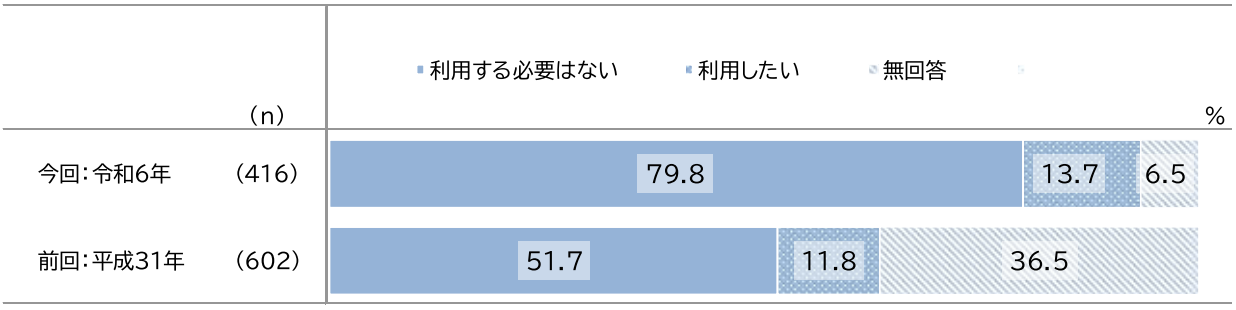
平均終了時刻	
今回：令和6年	17時35分
前回：平成31年	17時40分

（放課後児童クラブの）土曜日の利用意向については、「利用したい」が13.7%となり、前回と大きく変わりありません。

週あたりの利用日数は、「２日」が40.4%と最も高く、平均2.6日となっています。

希望する利用時刻については、開始時刻が平均8時13分、終了時刻が16時54分となっています。

(2)土曜日



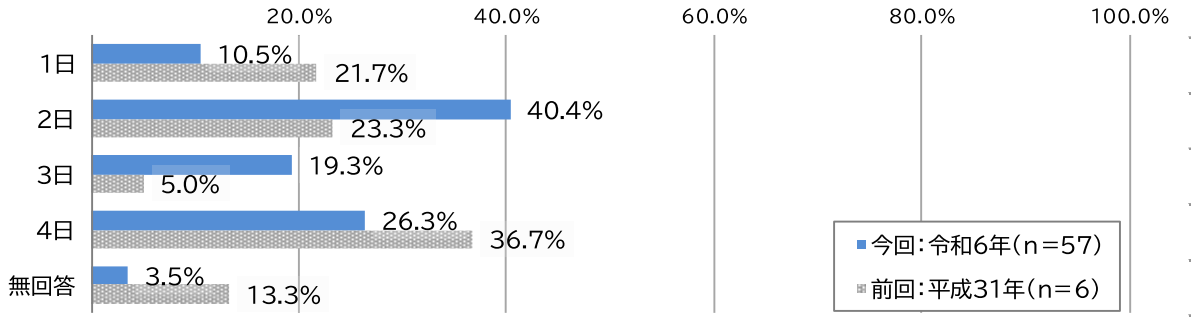
＜母親の就労状況別＞

横%

［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

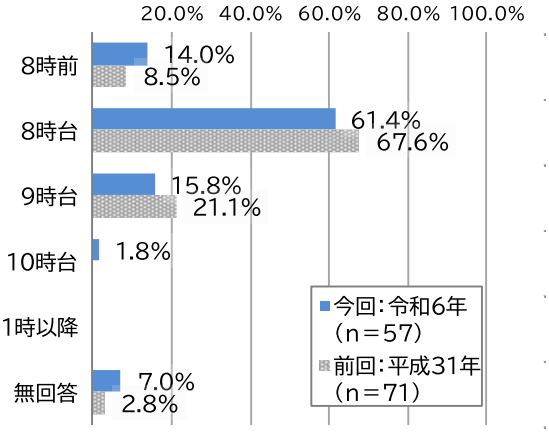
		(n)	利用する必要はない	利用したい	無回答
全 体		(416)	79.8	13.7	6.5
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(227)	78.4	15.9	5.7
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(7)	57.1	42.9	-
	パート・アルバイト等で就労している	(131)	83.2	10.7	6.1
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(2)	100.0	-	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(33)	87.9	6.1	6.1

【月あたりの利用日数】



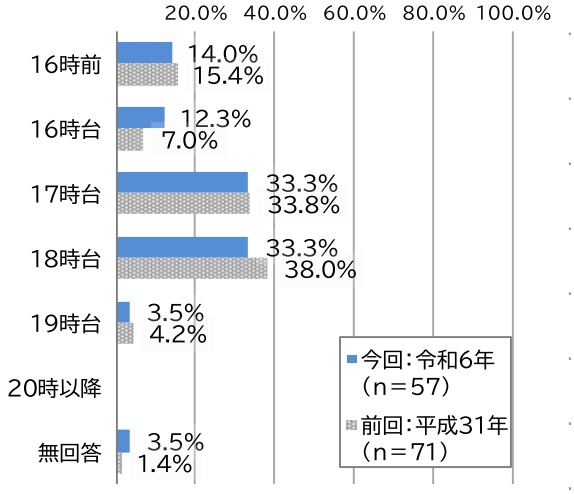
平均利用日数	
今回：令和6年	2.6日
前回：平成31年	2.7日

【開始時刻】



平均開始時刻	
今回：令和6年	8時13分
前回：平成31年	8時20分

【終了時刻】



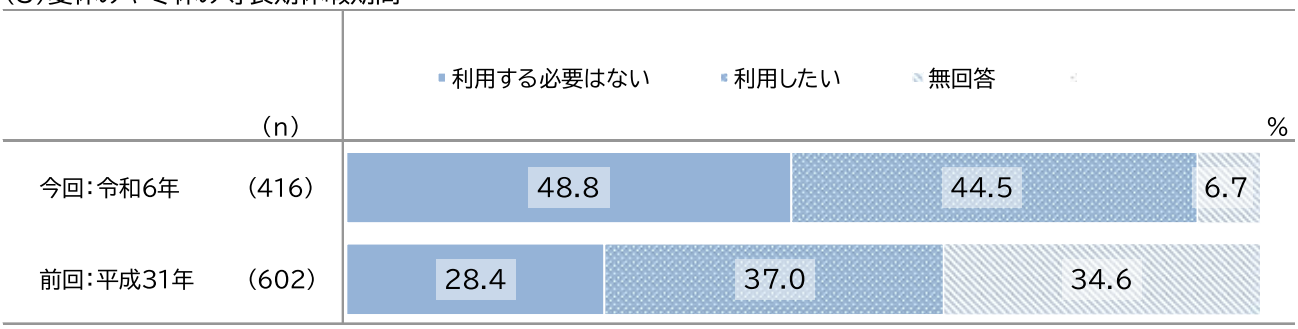
平均終了時刻	
今回：令和6年	16時54分
前回：平成31年	16時55分

（放課後児童クラブの）夏休みや冬休み等の長期休暇期間での利用意向については、「利用したい」が44.5%となり、前回よりやや増加しています。母親の就労状況別にみると、フルタイム就労者の利用意向が特に高い状況といえます。

週あたりの利用日数は、「５日」53.5%と最も高く、平均4.6日となっています。

希望する利用時刻については、開始時刻が平均8時13分、終了時刻が17時3分となっています。

(3)夏休みや冬休み等長期休暇期間



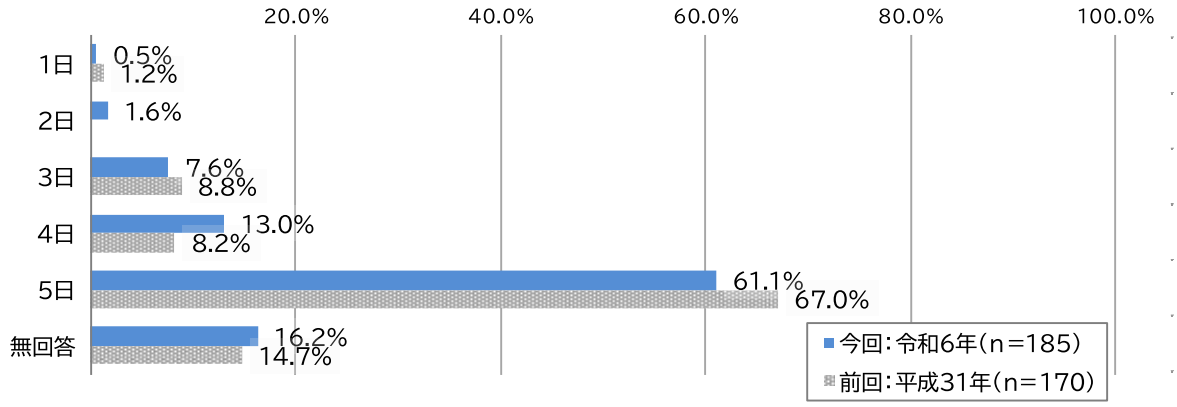
＜母親の就労状況別%＞

横%

[比率の差]
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

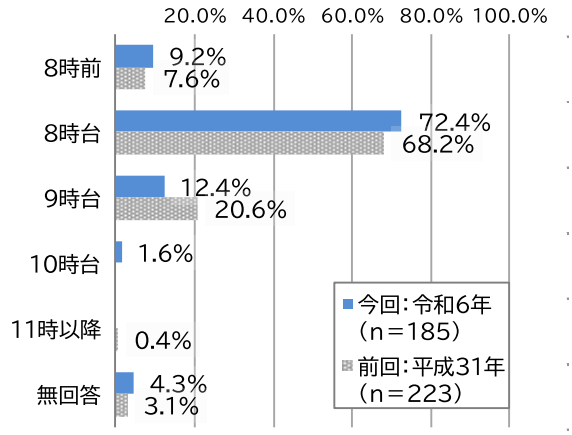
		(n)	利用する必要はない	利用したい	無回答
全 体		(416)	48.8	44.5	6.7
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(227)	40.5	53.7	5.7
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(7)	28.6	71.4	-
	パート・アルバイト等で就労している	(131)	56.5	37.4	6.1
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(2)	100.0	-	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(33)	72.7	21.2	6.1

【週あたりの利用日数】



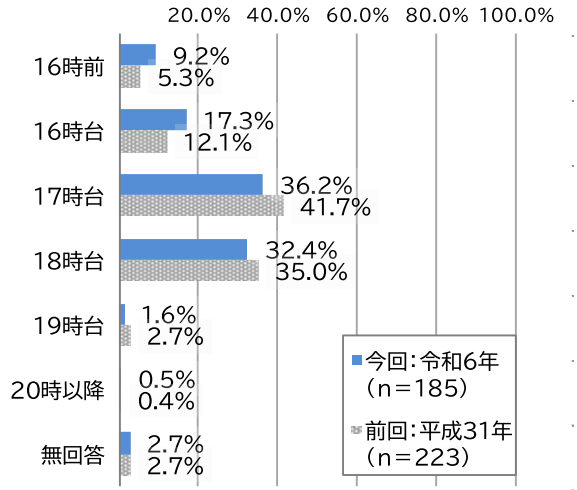
平均利用日数	
今回：令和6年	4.6日
前回：平成31年	4.6日

【開始時刻】



平均開始時刻	
今回：令和6年	8時13分
前回：平成31年	8時20分

【終了時刻】



平均終了時刻	
今回：令和6年	17時03分
前回：平成31年	17時15分

7-6．今後の４年生以上になったときの放課後の過ごし方

（小学校高学年の時における放課後児童クラブの）平日の利用意向は、「利用したい」が27.4%となり、前回よりやや増加しています。母親の就労状況別にみると利用意向が高いのはフルタイム就労者となっています。

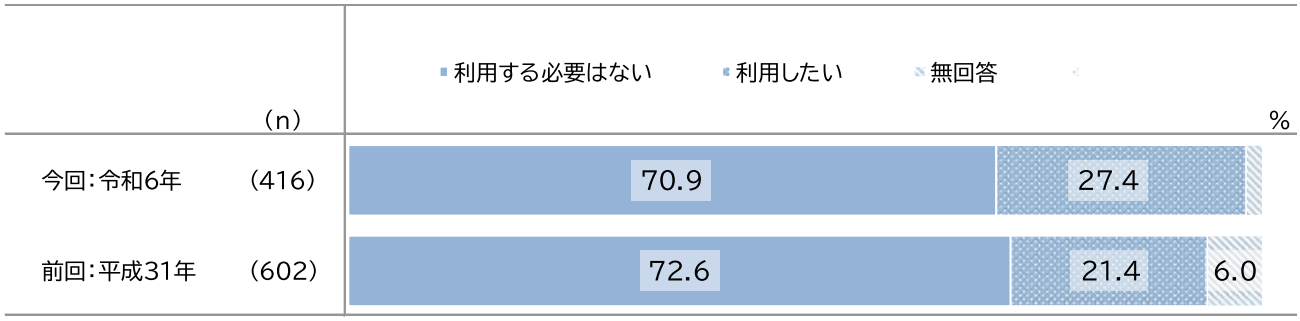
利用したい学年は、「６年生まで」が最も高く53.5%となっています。

週あたりの利用日数は、「５日」が最も高く64.0%となり、平均4.4日となっています。

希望する利用時刻については、開始時刻が平均15時27分、終了時刻が17時42分となっています。

問19. あて名のお子さんが小学校高学年（4年～6年生）になったとき、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
現在利用中の方もお答えください。（それぞれ1つに○）

(1)平日



（注）2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

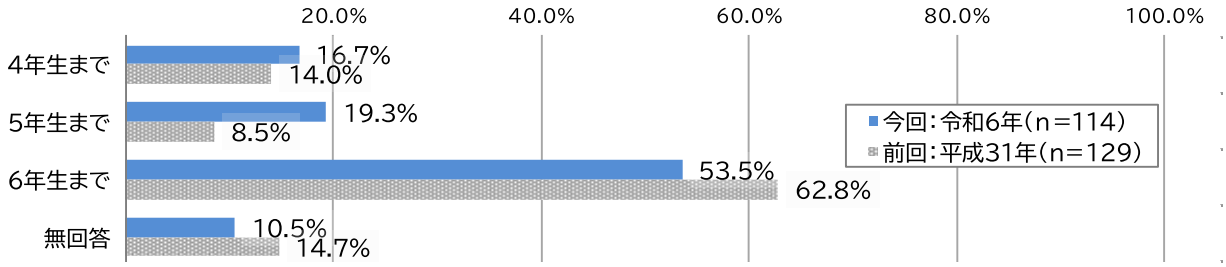
＜母親の就労状況別%＞

横%

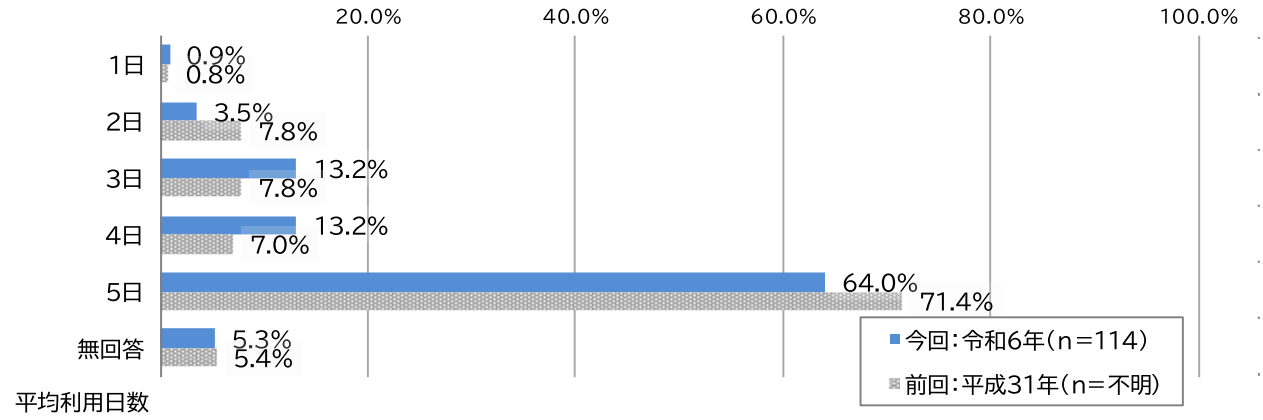
［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

		(n)	利用する必要はない	利用したい	無回答
	全 体	(416)	70.9	27.4	1.7
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(227)	62.6	37.0	0.4
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(7)	42.9	57.1	-
	パート・アルバイト等で就労している	(131)	82.4	15.3	2.3
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(2)	100.0	-	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(33)	90.9	6.1	3.0

【利用したい学年】

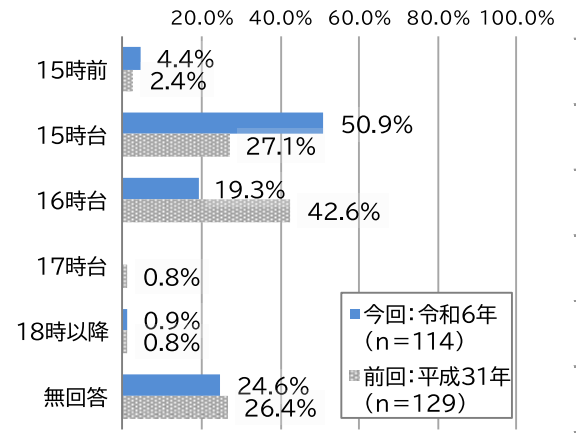


【週あたりの利用日数】



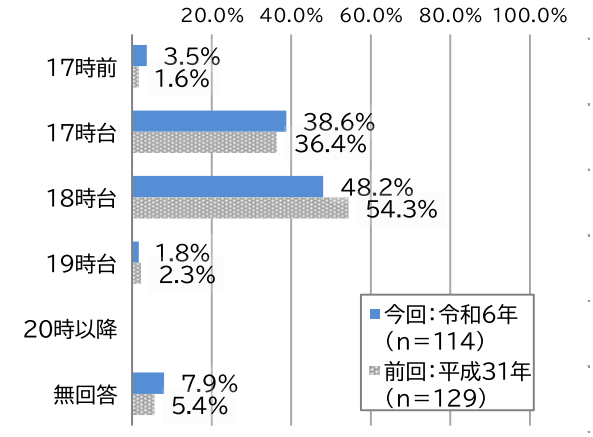
平均利用日数	
今回：令和6年	4.4日
前回：平成31年	4.5日

【開始時刻】



平均開始時刻	
今回：令和6年	15時27分
前回：平成31年	15時20分

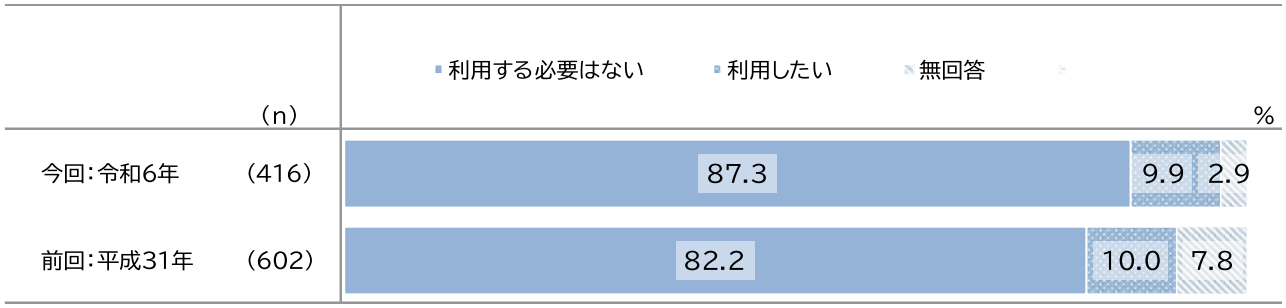
【終了時刻】



平均終了時刻	
今回：令和6年	17時42分
前回：平成31年	17時40分

（小学校高学年の時における放課後児童クラブの）土曜日の利用意向は、「利用したい」が9.9%となり、前回と大きく変わりありません。
利用したい学年は、「６年生まで」が最も高く63.4%となっています。
月あたりの利用日数は、「２日」が最も高く34.1%、平均2.7日となっています。
希望する利用時刻については、開始時刻が平均8時11分、終了時刻が17時6分となっています。

(2)土曜日



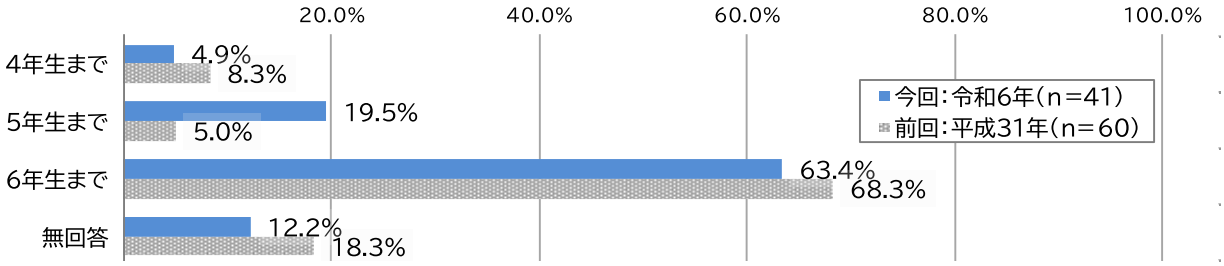
＜母親の就労状況別%＞

横%

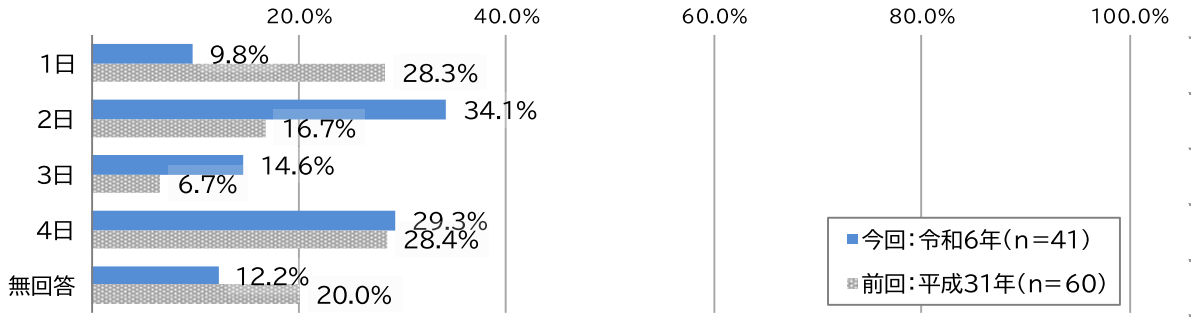
［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

		（n）	利用する必要はない	利用したい	無回答
	全 体	(416)	87.3	9.9	2.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	(227)	87.7	11.0	1.3
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(7)	57.1	42.9	-
	パート・アルバイト等で就労している	(131)	89.3	6.9	3.8
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	(2)	100.0	-	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	(33)	93.9	3.0	3.0

【利用したい学年】

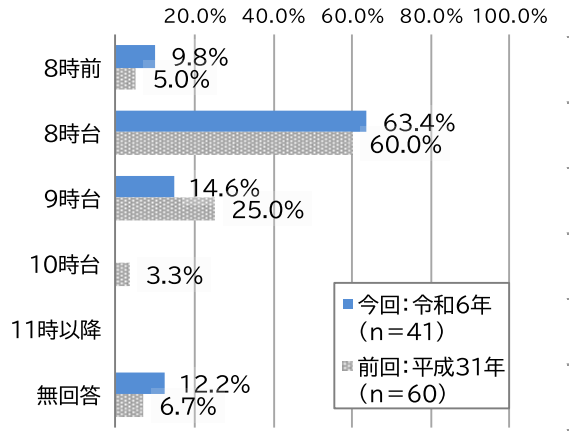


【月あたりの利用日数】



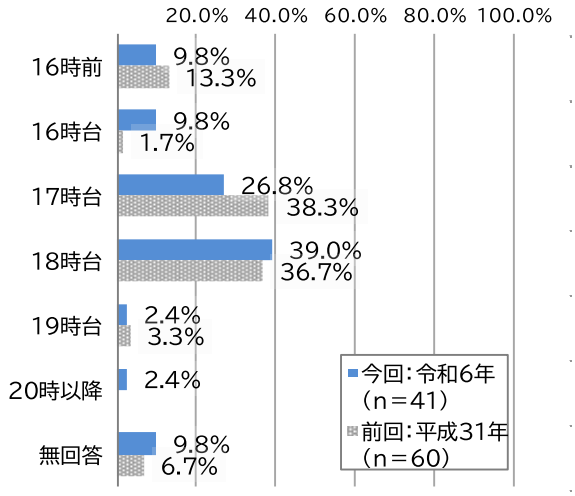
平均利用日数	
今回：令和6年	2.7日
前回：平成31年	2.4日

【開始時刻】



平均開始時刻	
今回：令和6年	8時11分
前回：平成31年	8時20分

【終了時刻】



平均終了時刻	
今回：令和6年	17時06分
前回：平成31年	16時55分

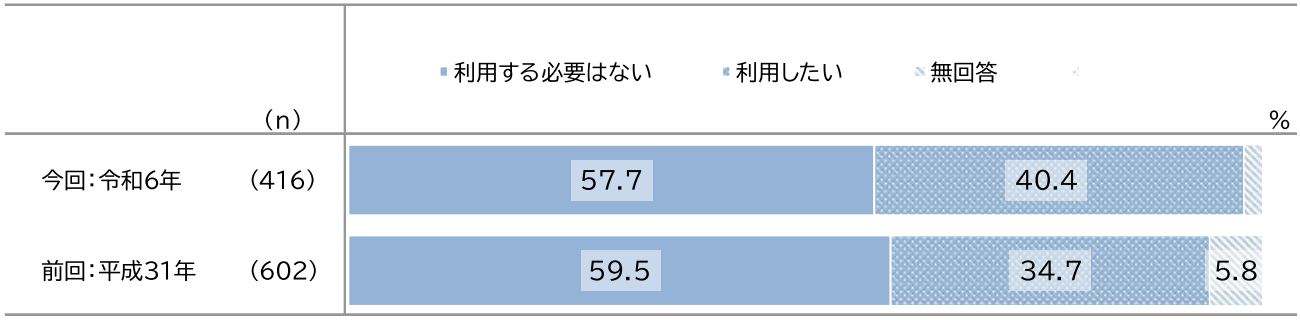
（小学校高学年の時における放課後児童クラブの）夏休みや冬休み等の長期休暇の利用意向は、「利用したい」が40.4%と前回よりやや増加しています。母親の就労状況別にみると利用意向が高いのはフルタイム就労者となっています。

利用したい学年は、「６年生まで」が最も高く60.7%となっています。

月あたりの利用日数は、「５日」が最も高く60.1%、平均4.6日となっています。

希望する利用時刻については、開始時刻が平均8時13分、終了時刻が16時56分となっています。

3)夏休みや冬休み等長期休暇期間



（注）2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

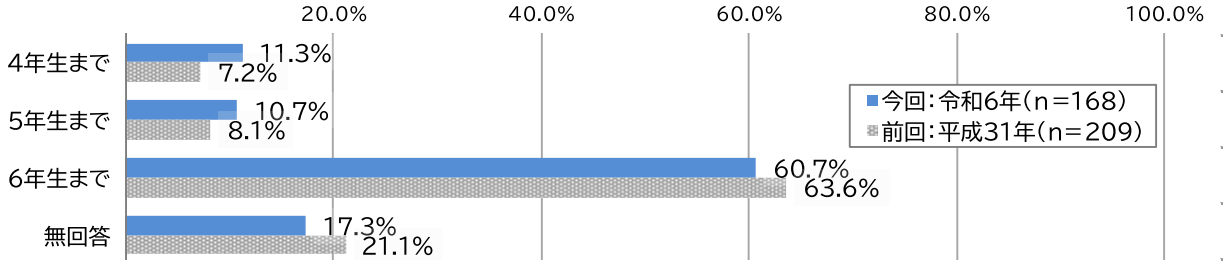
＜母親の就労状況別%＞

横%

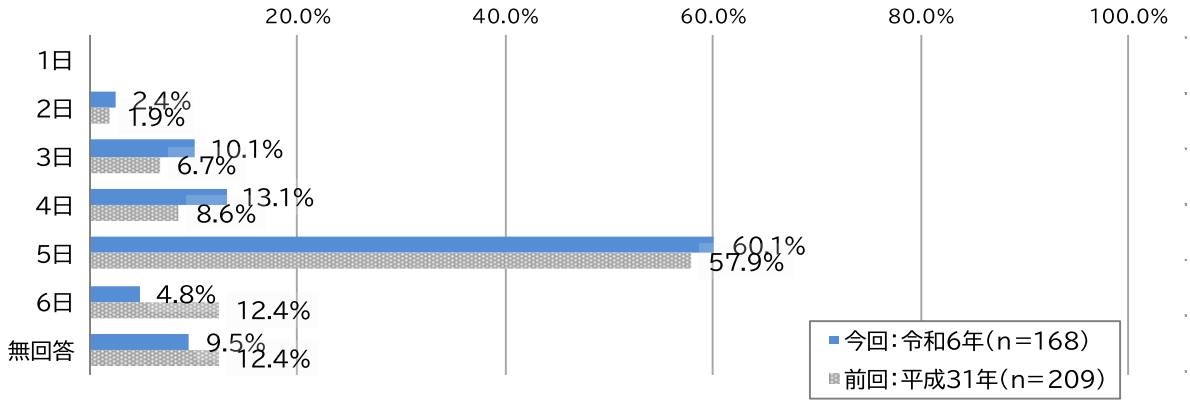
［比率の差］
全体+10ポイント
全体+5ポイント
※n＝20以上のみ

		（n）	利用する必要はない	利用したい	無回答
全 体		（416）	57.7	40.4	1.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労している	（227）	50.7	48.5	0.9
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	（7）	28.6	71.4	-
	パート・アルバイト等で就労している	（131）	64.9	33.6	1.5
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	（2）	100.0	-	-
	現在は就労していない、これまでに就労したことがない	（33）	78.8	18.2	3.0

【利用したい学年】

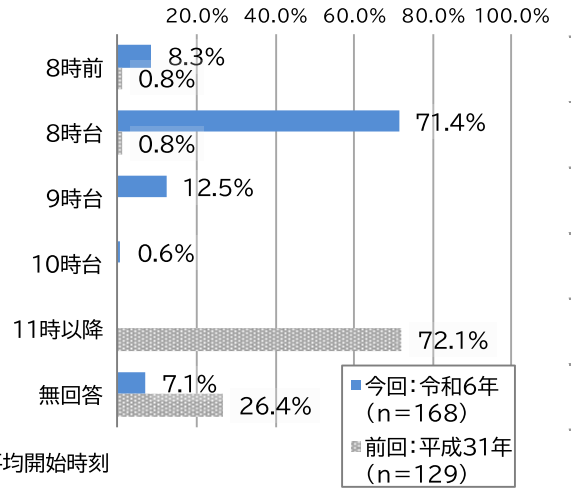


【週あたりの利用日数】



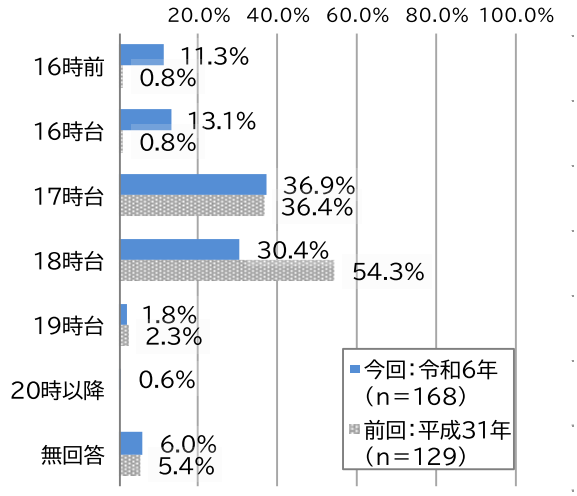
平均利用日数	
今回：令和6年	4.6日
前回：平成31年	4.8日

【開始時刻】



平均開始時刻	
今回：令和6年	8時13分
前回：平成31年	8時20分

【終了時刻】



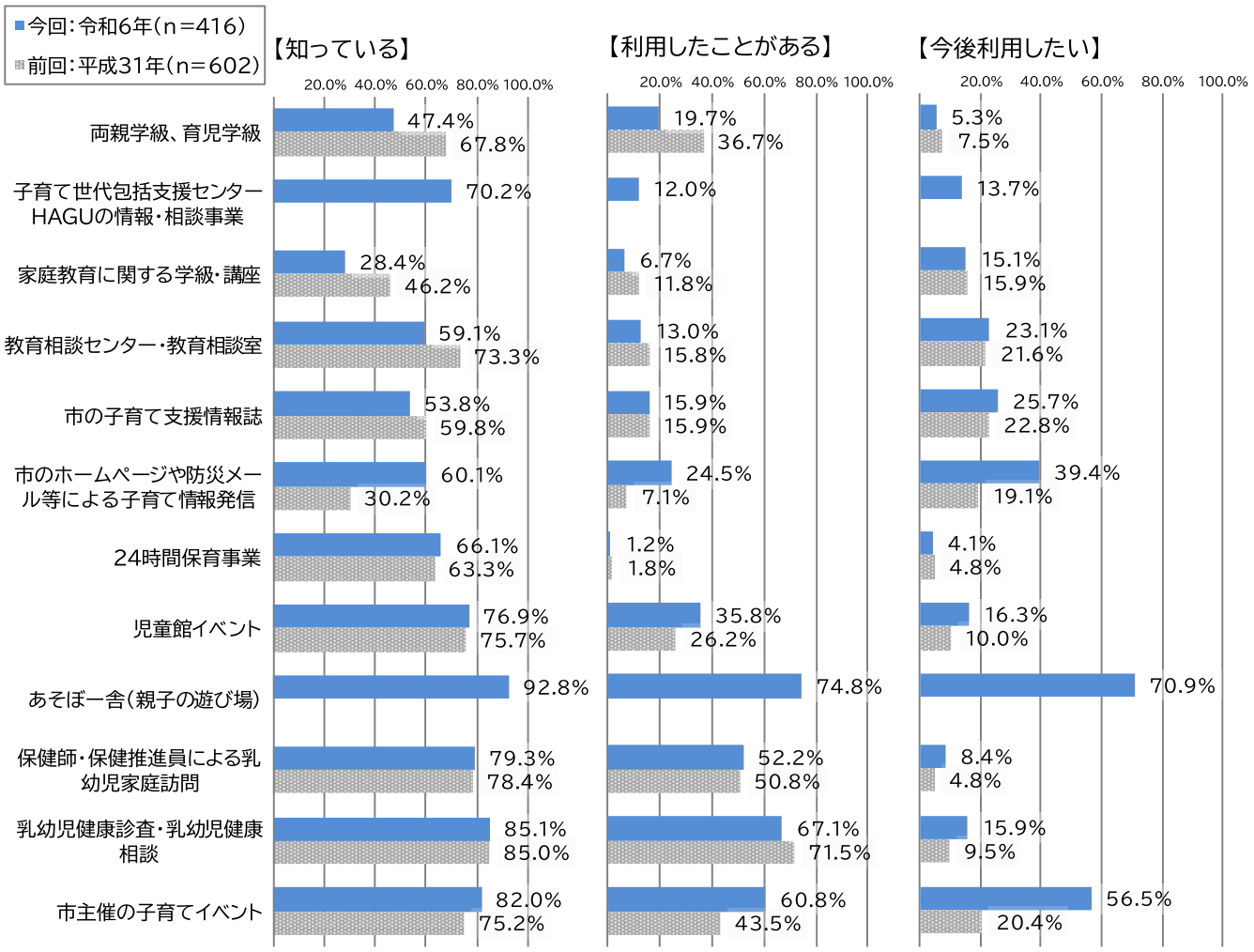
平均終了時刻	
今回：令和6年	16時56分
前回：平成31年	17時15分

8.子育て支援サービスの認知状況、利用状況

各事業の認知率について、その多くが半数を超えている状況となります。特に「あそぼー舎」は92.8%と高い認知率を示しており、利用経験、利用意向も7割を超える結果となっています。

前回と比較して、「両親学級、育児学級」「家庭教育に関する学級・講座」「教育相談センター・教育相談室」では認知や利用経験の低下が懸念される一方、「市のホームページや防災メールなどの情報発信」が認知や利用経験が大きく高まっており、新しい情報発信手段の取り組みが高く支持されていることがうかがえます。

問20. 下記の事業で知っているものやこれまでに利用したことがあるもの、今後利用したいともうものをお答えください。事業ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかをお答えください。(1つに○)



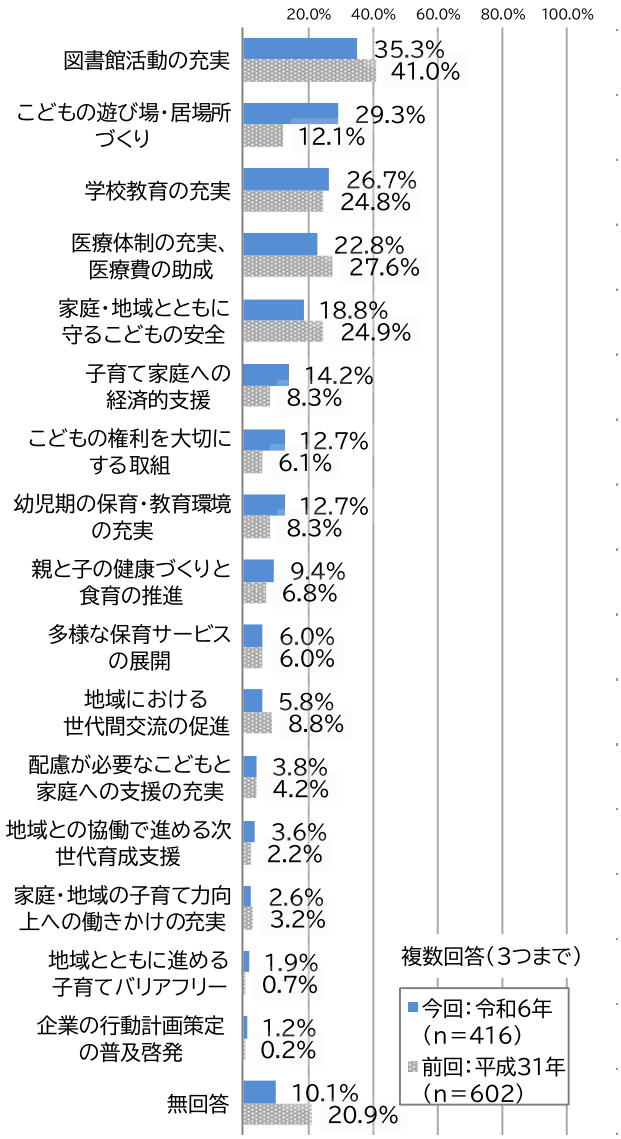
9.子育て支援策に対する満足度・重要度

子育て支援策に対する満足度は、「図書館活動の充実」が35.3%と最も高く、次いで「こどもの遊び場・居場所づくり」の29.3%、「学校教育の充実」26.7%となっています。

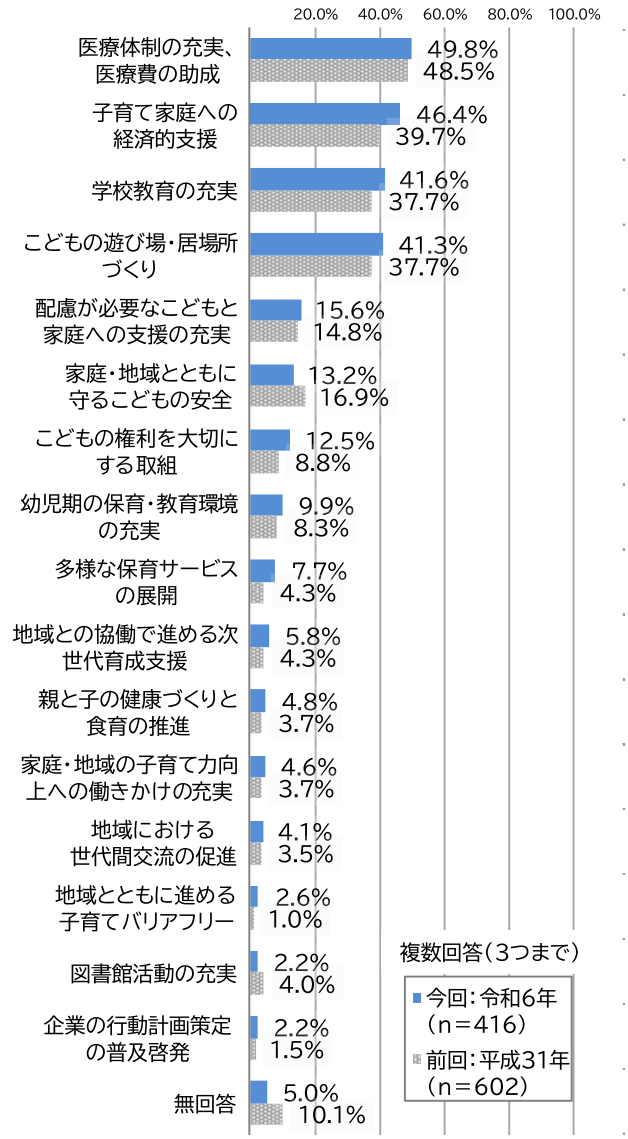
重要度をみると、「医療体制の充実、医療費の助成」が49.8%と最も高く、次いで「子育て家庭への経済的支援」の46.4%、「学校教育の充実」の41.6%となっています。

問21. 萩市の子育て支援策について、あなたの「満足度」が高いと思われる項目について、今後の「重要度」が高いと思われる項目について、3つを上限にお答えください。(それぞれ3つまで○)

【①満足度】



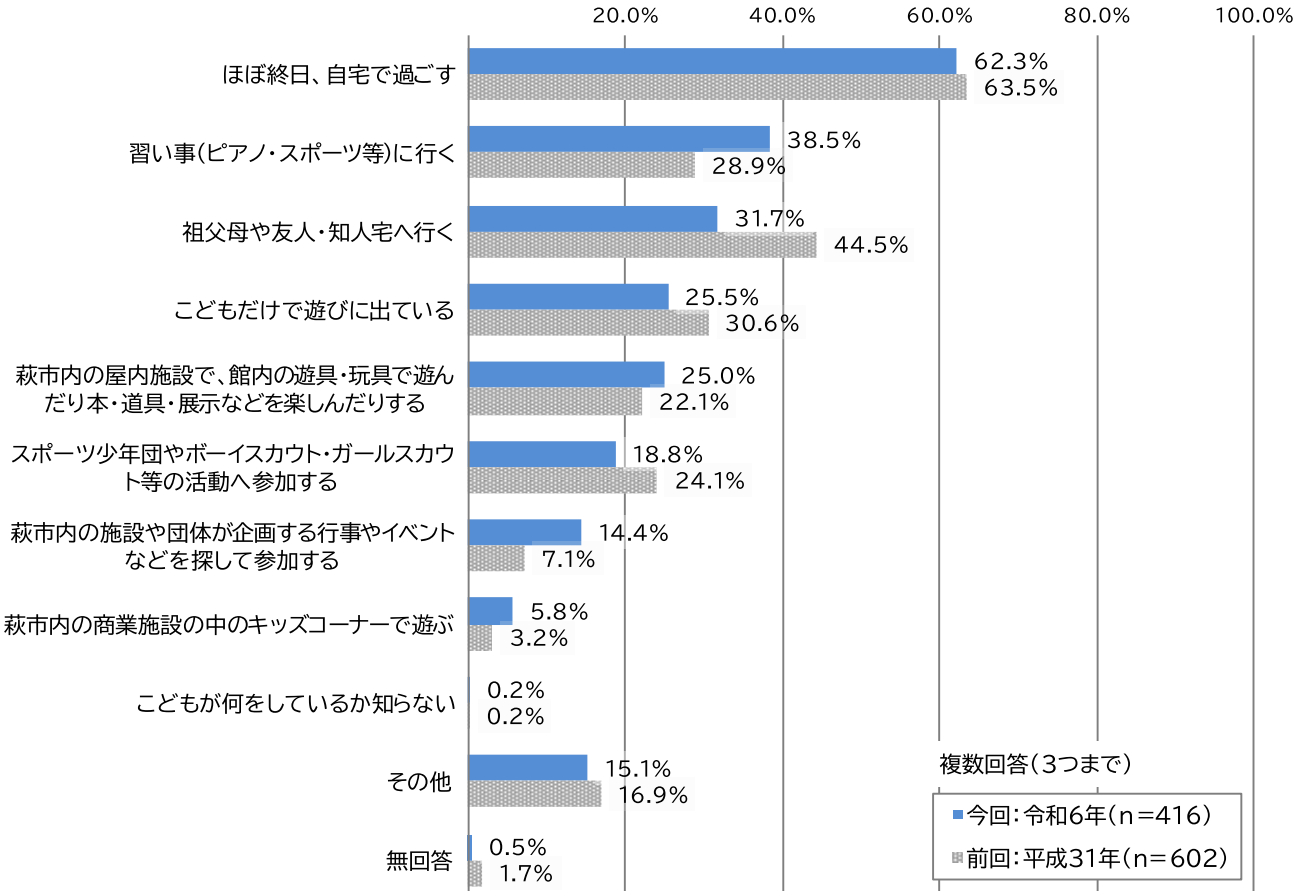
【②重要度】



１０.土日や休日の過ごし方

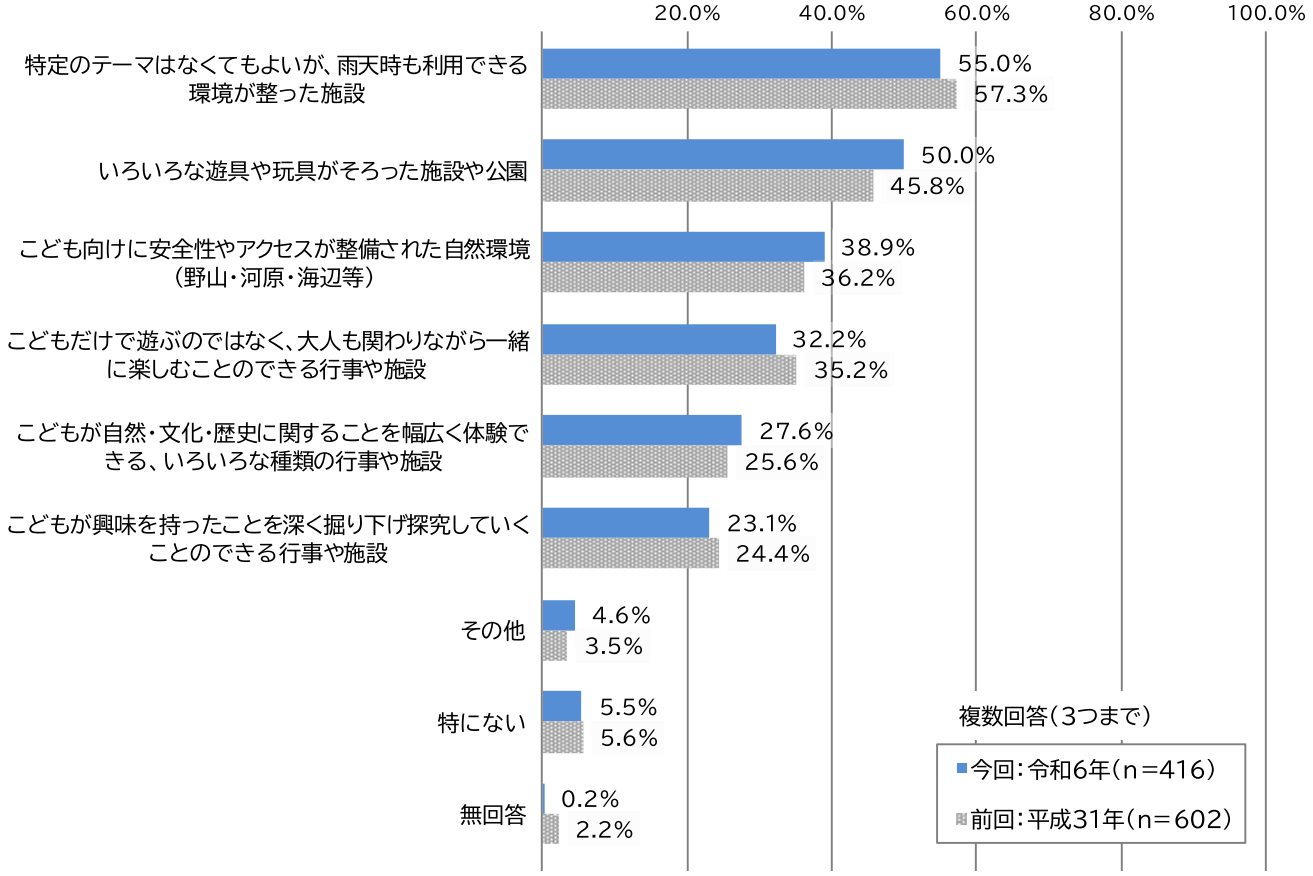
休日の過ごし方としては、「ほぼ終日、自宅で過ごす」が62.3%と最も高く、次いで「習い事に行く」が38.5%、「祖父母や友人・知人宅に行く」が31.7%となっています。
前回と比較して、「習い事に行く」が増加し、「祖父母や友人・知人宅に行く」が減少しています。

問22. あて名のお子さんは、どのように休日を過ごしていますか。（3つまで○）



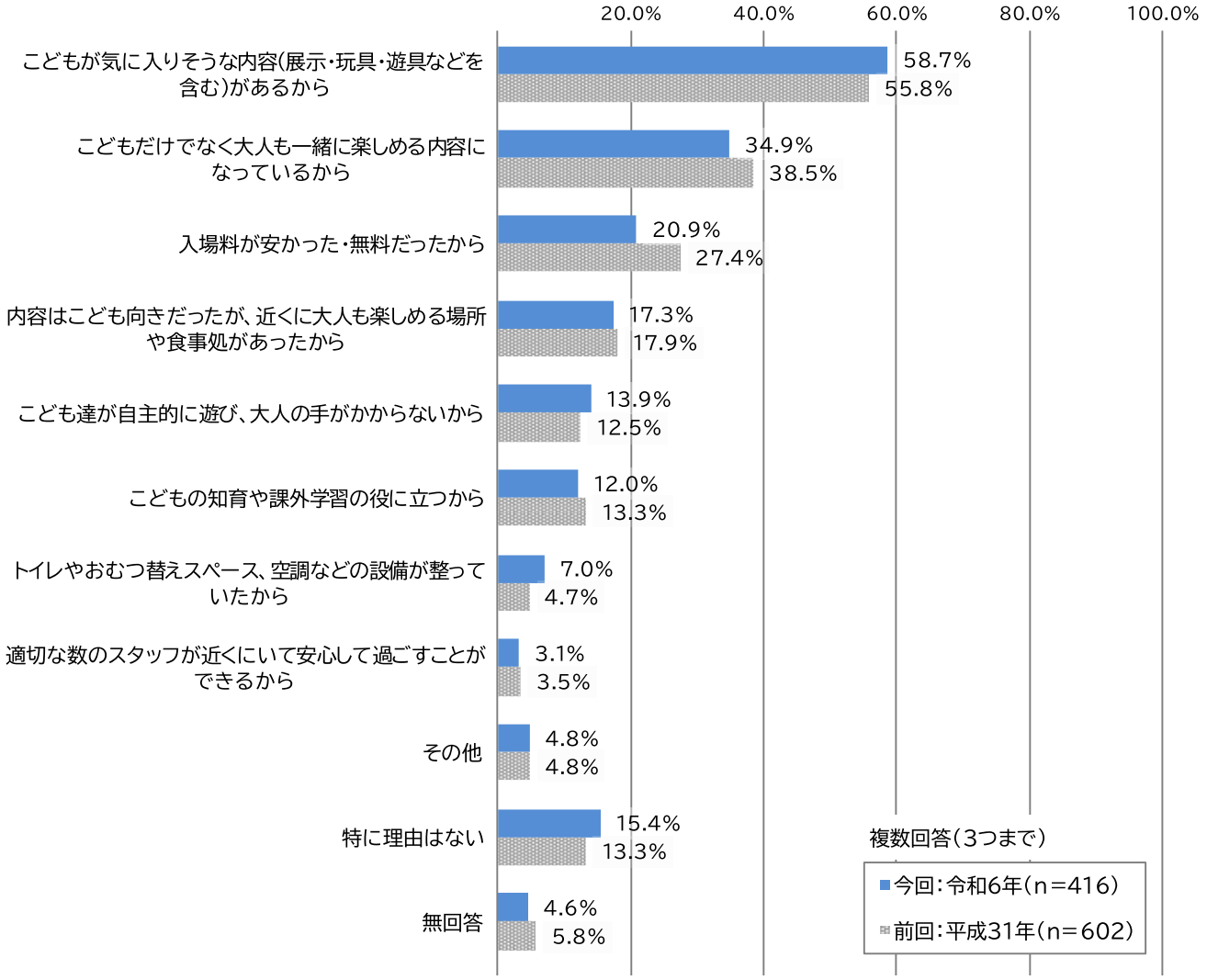
こどもと一緒に休日を過ごす際、萩市内にあればいいと思うものについては、前回と同様の傾向を示しており、「特定のテーマはなくてもよいが、雨天時も利用できる環境が整った施設」が55.0%で最も高く、次いで「いろいろな遊具や玩具がそろった施設や公園」が50.0%となっています。

問23. こどもと一緒に休日を過ごす際、萩市内にどのような場所があればいいと思いますか。(3つまで○)



萩市外の児童の遊び場がよく利用される理由については、「こどもが気に入りそうな内容があるから」が58.7%と最も高く、次いで「こどもだけでなく大人も一緒に楽しめる内容になっているから」が34.9%、「入場料が安かった・無料だったから」が20.9%となり、上位に挙がる理由は前回と同様となっています。

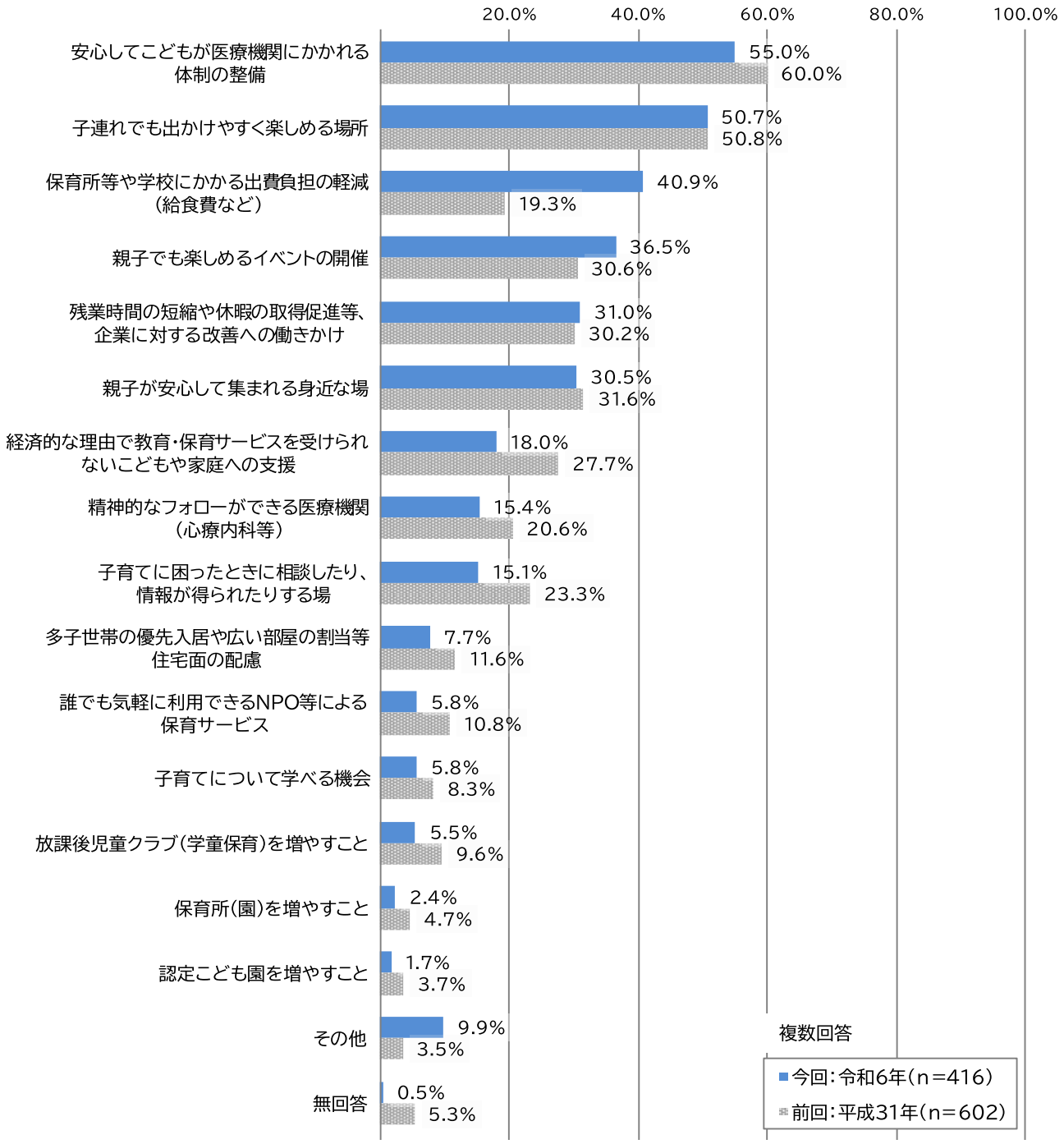
問24. 萩市外の児童の遊び場をよく利用される理由は何ですか。(3つまで○)



１１.子ども・子育て施策について

子育て施策として萩市に充実を図ってほしいこととしては、「安心してこどもが医療機関にかかれる体制の整備」が55.0%と最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」が50.7%、「保育所等や学校にかかる出費負担の軽減」が40.9%となっています。

問25. 萩市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。(あてはまるものすべてに〇)



萩市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

令和6（2024）年 9 月発行

[発行・編集]
萩市福祉部 子育て支援課

〒758-8555萩市大字江向510番地
TEL　0838（25）3259
受付時間：平日 8:30～17:15